



G120/G200ご利用者さま向け

サーバー移行ガイド

【Ver1.8】

「サーバー移行ガイド」

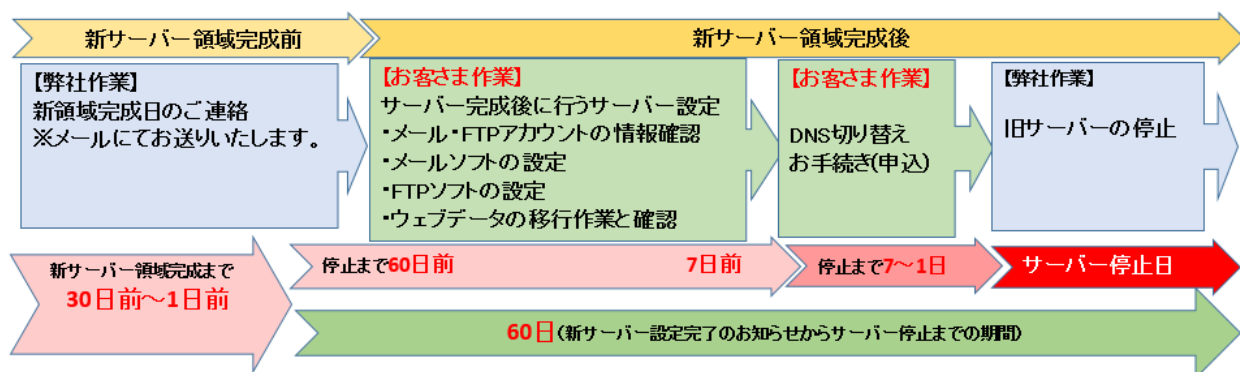
【サーバーの移行について】

高負荷を原因としたWebサーバーへの接続障害により、多大なご迷惑をおかけしておりますこと深くお詫び申し上げます。

新サーバーへの移行にあたっては、旧サーバー内のコンテンツや設定情報の移行作業が必要となります。移行作業は、可能な限り弊社にて行わせていただくよう準備を進めておりますが、やむを得ずお客さまへ一部作業をお願いしなければならない項目がございます。

大変お手数をおかけしてしまい誠に申し訳ございませんが、本ガイドをご参照のうえ移行作業を行ってくださいますようお願い申し上げます。

【サーバー移行の流れ】



この度のサーバー移行はお客さまごとに実施時期が異なります。新サーバー領域完成後、個別にメールにてサーバー情報をご案内いたしますので、内容をご確認のうえ、お客さま作業をお願いいたします。

なお、**新サーバーの領域作成後は、新サーバーにメールが届く可能性がある**ため、設定完了通知のメールが届きましたら**【メールソフトの設定】まではお早めにご対応ください**ますよう、お願いいたします。

※なお、新サーバーに届いているメールについては、[ウェブメール](#)でも受信の有無をご確認いただけます。

※新サーバーに領域作成された後に、新サーバーにメールが届く可能性については[こちら](#)をご参照ください。

また、新サーバー領域の完成から旧サーバー領域の停止までの期間は60日間となります。

ご迷惑をおかけいたしますが、期間内のご対応をお願いいたします。

【ご利用料金について】

ご利用料金につきましては、**従来の金額のまま変更ございません。(初期設定費用は発生いたしません。)**

また、新サーバーにて**ご利用いただけないオプション分の料金につきましては、減算させていただきます。**

【機能の違い】

◆OS・ソフトウェア・プログラム言語

No	項目	旧サーバー	新サーバー
1	サーバーOS	Windows 2003 R2 SP2	Linuxベース
2	WEBサーバー	IIS 6.0、7.5	Apache2.2
3	FTPサーバー	IIS 6.0、7.5	ProFTPD
4	SMTPサーバー	qmail1.03	Postfix
5	POPサーバー	Dovecot	Dovecot
6	IMAPサーバー	Dovecot	Dovecot
7	Perl	Perl-5.8.7	5.10.1
8	PHP	PHP-5.2.9	5.6.25 (CGI版)
9	ASP.NET	1.1/2.0	—
10	.NET Framework	3.5	—

◆MySQLデータベース

No	項目	旧サーバー	新サーバー
1	データベース名	お客さま任意で設定可能	サーバー側にて指定されます(名称変更不可)
2	データベース作成制限	なし	なし
3	データベースの容量制限	なし	あり(1個あたり最大10GB)
4	MySQLアカウント	1つ	1つ
5	バージョン	MySQL5.0	MySQL5.1
6	ポート番号	3306	DBサーバーにより異なります
7	文字コード	UTF8	EUC-JP
8	ストレージエンジン	MyISAM(InnoDB)	MyISAM、InnoDB
9	DB管理ツール	PHPMyAdmin	DBManager ※phpMyAdminは別途インストールが必要です

◆機能差異

No	項目	旧サーバー	新サーバー
1	htaccess制限	ISAPI Rewrite の環境下でのみ 利用可能	AllowOverride AuthConfig Limit Indexes 認証関連、インデックス、アクセス制御の設定を許可
2	SSLホスト名	任意	任意
3	バックアップ	なし	なし
4	パスワードルール	英数記号8文字以上	A-Z、a-z、0-9 で、6文字以上32文字までで 必ず大文字、小文字、数字を混在させる
5	アカウント階層	管理者 ユーザー	契約者 ドメイン管理者 サイト管理者 ユーザー

【本ガイドについて】

本ガイドは内容が多岐にわたるため、PDFで表示させる際に、「しおり」を表示いただくとご覧になりたい項目にすぐに移動することができます。

GoogleChromeの場合



Firefoxの場合



InternetExplorerの場合



【移行が完了したお客さま用のガイドについて】

移行先のサーバーは、iCLUSTA シリーズがベースとなっておりますため、移行が完了して通常の運用につきましては、下記のガイドをご参照くださいますようお願いいたします。

■ [GMO クラウド iCLUSTA シリーズ サポートサイト](#)

【旧サーバーの各データ移行状況】

恐れ入りますが、仕様の違い等により、弊社にてあらかじめ移行している情報とお客さまにて新たに設定いただく情報がございます。

※未移行(お客さま作業)となっている箇所は、お客さまご利用用途により、作業されるかご判断ください。

重要度につきましては、次ページの目次に掲載しておりますのご参照ください。

項目	未移行(お客さま作業)／弊社移行済み	ページ
各ユーザーのアカウント名とパスワードを確認する	移行済 ※要パスワード確認	10
新サーバーでメールを利用する	メールデータ未移行※要 POP 受信でメールソフトに受信 メールアカウント移行済 ※要パスワード確認	13
新サーバー用メールアドレスの転送設定を確認する	移行済	25
迷惑メールフィルターを設定する	未移行(お客さま作業)	28
自動返信メールの設定をする	未移行(お客さま作業)	29
ウェブメールを利用する	アドレス帳・メールデータ未移行	30
メーリングリストを設定する	未移行(お客さま作業) ※Reply-To の指定ができない仕様となります	32
新サーバーでデータベース(MySQL)を利用する	未移行(お客さま作業)	37
新サーバーで phpMyAdmin を使う(インストール方法)	未移行(お客さま作業)	44
ウェブコンテンツのデータを移行する	移行済 要差分確認	50
FTP アカウント名や FTP サーバー情報を確認する	移行済 ※要パスワード確認	56
.htaccess の記述の変更点	要確認 ※仕様が異なるため利用制限あり	62
新サーバーで SSL 証明書を使用する	移行済	65
共用 SSL 証明書を利用する	要再設定 ※共用 SSL サーバー名変更	65
独自 SSL 証明書を利用する	移行済 ※他社 SSL ご利用の場合、要オプション申込み(無料)	66
ホームページにアクセス解析を設定する	未移行(お客さま作業)	67
ホームページにアクセス制限を設定する	未移行(お客さま作業)	70
ホームページにカスタムエラーページを設定する	未移行(お客さま作業)	74
MovableType などの各種アプリケーションを利用する	未移行(お客さま作業)	78
MovableType を移行する	未移行(お客さま作業)	78
EC-CUBE を移行する	未移行(お客さま作業)	94
WordPress を移行する	未移行(お客さま作業)	100
新サーバーでデータのバックアップを取得する	未移行(お客さま作業) ※自動バックアップ機能がないため定期的に取り得が必要	107

【有償の作業代行について】

有償の作業代行につきましては、下記のサイトよりお見積もりのご依頼をお願いいたします。

[\[移行サポートのお見積もりについて\]](#)

サーバー移行ガイド 目次 兼 チェックリスト

◎すべてのお客さまにて必須の項目となるため、必ずご確認、ご対応ください。

○大多数のお客さまがご利用の項目のため、必ずご確認のうえ、必要に応じてご対応ください。

△ご利用の有無がお客さまにより異なる項目のため、確認のうえ、必要に応じてご対応ください。

チェック	重要度	番号	チェック項目	ページ
	◎	1	移行先(新サーバー環境)にログインする	6
	◎	1-1	新サーバーの管理画面にログインする	6
	◎	1-2	新サーバーの IP アドレスなどの情報を確認する	7
	○	1-3	マルチドメイン/サブドメインを利用している場合の対応方法を確認する	9
	◎	2	移行されたユーザー情報を確認する	10
	◎	2-1	各ユーザーのアカウント名とパスワードの確認や変更をする	10
	△	2-2	全ユーザーのパスワードを一括で確認(GSV ファイルに出力)する	11
	△	2-3	新サーバーに新たなユーザーを追加する	11
	△	2-4	不要なユーザーを削除する	12
	○	3	新サーバーでメールを利用する	13
	○	3-1	メールソフトの設定に必要な情報を確認する	15
	○	3-1-1	メールアカウント名やメールサーバー情報を確認する	15
	○	3-1-2	メールアカウント名の確認とパスワード情報の確認や変更をする	16
	◎	3-1-3	内部配送されているか確認する	17
	○	3-2	メールソフトへ新サーバー用のメールアカウントを追加する	19
	△	3-2-1	Microsoft Outlook 2013 に新サーバー用のメールアカウントを設定する(POP 接続版)	19
	△	3-2-2	Microsoft Outlook 2013 に新サーバー用のメールアカウントを設定する(IMAP 接続版)	22
	△	3-3	新サーバー用メールアドレスの転送設定を確認する	25
	△	3-3-1	新サーバー用メールアドレスの転送設定の確認や変更をする	25
	△	3-3-2	迷惑メールフィルターを設定する	28
	△	3-4	自動返信メールの設定をする	30
	△	3-5	ウェブメールを利用する	30
	△	3-6	メーリングリストを設定する	32
	○	4	新サーバーでデータベース(MySQL)を利用する	37
	○	4-1	新サーバーへデータベースを移行する	37
	○	4-2	移行されたデータベース情報が config ファイルへ反映されているか確認する	41
	△	4-3	新サーバーで新たにデータベースを追加する	42
	△	4-3-1	アカウントマネージャーからデータベースオプションを申込み	42
	△	4-3-2	移行したデータベースの確認と設定をする	43
	△	4-4	新サーバーで phpMyAdmin を使う(インストール方法)	44
	△	4-5	新機能: データベース管理ツール[DBManager]を使用する	49
	○	5	ウェブコンテンツのデータを移行する	50
	○	5-1	[ウェブコンテンツ移行ツール]を使用してデータを移行する	53
	○	5-1-1	移行されたコンテンツを[ファイルマネージャ画面]で確認する	55
	○	5-2	FTP ソフトの設定に必要な情報を確認する	56
	○	5-2-1	FTP アカウント名や FTP サーバー情報を確認する	56
	○	5-2-2	FTP アカウントのパスワード情報の確認や変更をする	57
	△	5-3	新機能: FTP over SSL のご紹介	58
	○	5-4	FTP ソフトに新サーバー用の FTP アカウントを設定する	58

	△	5-4-1	FFFTP に新サーバー用の FTP アカウントを設定する	58
	△	5-4-2	FileZilla に新サーバー用の FTP アカウントを設定する[FTPoverSSL 機能有り]	60
	△	5-5	.htaccess の記述の変更点	62
	○	5-6	DNS 切り替え前にホームページの表示や動作を確認する	63
	○	5-6-1	新機能: [プレビューサーバー機能]を使用してホームページを確認する	63
	○	5-6-2	動的サイトのホームページを確認する(hosts ファイルの設定をする)	63
	○	5-7	新サーバーで SSL 証明書を使用する	65
	○	5-7-1	共用 SSL 証明書を利用する	65
	○	5-7-2	独自 SSL 証明書を利用する	66
	△	5-8	ホームページにアクセス解析を設定する	67
	△	5-9	ホームページにアクセス制限を設定する	70
	△	5-10	ホームページにカスタムエラーページを設定する	74
	△	5-11	新サーバーで利用できるスクリプトを確認する	75
	△	5-11-1	新機能: perl モジュール検索機能を利用する	75
	△	5-11-2	新機能: perl 文法チェック機能を利用する	76
	△	5-12	シングル URL を設定する	77
	○	6	MovableType などの各種アプリケーションを利用する	78
	○	6-1	新サーバーで利用できるアプリケーションを確認する	78
	○	6-2	MovableType を移行する	78
	○	6-2-1	自動インストール版の MovableType を移行する[初めにこちらをお試しください]	79
	○	6-2-2	手動インストール版の MovableType を移行する[初めにこちらをお試しください]	82
	△	6-3	レポジトリファイルを使用して MovableType を移行する	85
	○	6-4	EC-CUBE を移行する	94
	○	6-4-1	自動インストール版の EC-CUBE を移行する	94
	○	6-4-2	手動インストール版の EC-CUBE を移行する	100
	○	6-5	WordPress を移行する	100
	○	6-5-1	WordPress のバージョンアップをする	100
	△	7	新サーバーの管理画面の機能を使用する	106
	△	7-1	新機能: ウェブとメールのディスク使用量を確認する	106
	△	7-2	ファイルマネージャ機能を利用する	107
	△	7-3	新機能: コマンド検索を利用する	110
	△	7-4	新機能: コマンドスケジューラ機能を利用する	111
	○	7-5	新サーバーでデータのバックアップを取得する	112
	◎	8	新サーバーの準備が完了したので接続先を切り替える(DNS 切り替え)	113
	○	8-1	DNS の切り替え(弊社 DNS ご利用希望のお客さま)	113
	○	8-2	DNS の切り替え(他社 DNS ご利用希望のお客さま)	115
	△	8-3	現在ご利用の DNS サーバーを確認する	116
	○	8-4	TXT レコードを追加する	117
		8-5	DNS の切り替え完了後のお問い合わせ先	118
		9	スペック一覧表	119

1. 【必須】移行先（新サーバー環境）の確認方法について

1-1. 【必須】サーバー管理画面のURL およびログイン方法

新サーバーの準備が完了いたしましたら、メールにて新サーバーのログイン情報等を下記の件名にてご案内いたします。

件名:【GMOクラウド】【ドメイン名】新サーバー設定完了のお知らせ

新サーバーの管理画面にログインできるかをご確認ください。

新サーバーログイン URL: <https://www.iclуста.com/>

ログインIDには「契約者アカウント名」または契約者アカウントで作成した「ユーザー名」を入力してください。

ログインが完了すると、TOP 画面が表示されます。

移行時には主に、「契約者アカウント」を使用しての手順をご案内いたします。

各ユーザーに割り当てられる権限については下記の通りとなります。

一般ユーザー	メールアドレスのみ必要なユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。
サイト管理者	サイトの管理権限を付与するユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 [管理するウェブサイト]で対象サイトを選択すると、サイトのドキュメントルート(www.ドメイン名/)に対してFTPでアクセスすることができます。 FTPアクセス権限を付与しつつ、メールアドレスを利用しない設定も可能です。
ドメイン管理者	ドメイン名内の全サイトのドキュメントルートに対してFTPでアクセスすることができます。 また自分の管理するドメイン名において、サイト管理者および一般ユーザーを作成することができます。

1-2. **【必須】** 新サーバー情報の確認方法

サーバーの IP アドレス情報（メールサーバー、FTP サーバーなど）やサーバー名の情報は、下記の手順にてご確認いただけます。

- 1.[ユーザー管理]内の[ユーザー切り替え]をクリックし、確認したいユーザーにチェックを入れて [切り替え]ボタンをクリックします。
- 2.[個別ユーザー管理]内の[ユーザー情報]をクリックすると、サーバー情報が表示されます。

■w0 で始まるドメイン管理者権限のユーザーの場合

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface. On the left, the 'ユーザー管理' (User Management) menu is expanded to 'ユーザー切り替え' (Switch User). A table lists users: w0 (Domain Administrator), manual (Site Administrator), and user4 (General User). The 'w0' user is selected. On the right, the '個別ユーザー管理' (Individual User Management) page for 'w0' is shown, displaying various server information.

基本情報	
① ユーザー名	w0
② コメント	
③ ユーザー権限	ドメイン管理者

ウェブ情報	
⑬ DocumentRoot(絶対パス)	/home/.../www.ドメイン名
⑭ FTPアカウント	w0 @ドメイン名
⑮ パスワード	お客様のログインパスワード
⑯ FTPサーバー	ftp.ドメイン名 (211.)
⑰ ウェブサーバー IPアドレス	211.
⑱ 共用SSL URL	https:// 共用SSLサーバー名 /www.ドメイン名

■サイト管理者権限で、[メール利用する]ユーザーの場合

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface. The 'manual' user is selected in the user list. The '個別ユーザー管理' page for 'manual' is shown, displaying email-related information in addition to the general server information.

基本情報	
① ユーザー名	manual
② コメント	
③ ユーザー権限	サイト管理者 管理するウェブサイト: www.ドメイン名

メール情報	
④ メールアドレス	manual@ドメイン名
⑤ POPアカウント	manual@ドメイン名
⑥ パスワード	お客様のログインパスワード
⑦ POPサーバー	pop.ドメイン名 (211.)
⑧ IMAPサーバー	imap.ドメイン名 (211.)
⑨ SMTPサーバー	smtp.ドメイン名 (211.)
⑩ メールボックス使用量	0.0 MB
⑪ メール数(受信済/未受信)	0 / 0
⑫ ウェブメールのURL (Roundcube)	https://roundcube.ウェブメールサーバー名

ウェブ情報	
⑬ DocumentRoot(絶対パス)	/home/.../www.ドメイン名
⑭ FTPアカウント	manual@ドメイン名
⑮ パスワード	お客様のログインパスワード
⑯ FTPサーバー	ftp.ドメイン名 (211.)
⑰ ウェブサーバー IPアドレス	211.
⑱ 共用SSL URL	https:// 共用SSLサーバー名 /www.ドメイン名

■一般ユーザーの場合

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface. The 'user4' user is selected in the user list. The '個別ユーザー管理' page for 'user4' is shown, displaying general server information.

基本情報	
① ユーザー名	user4
② コメント	
③ ユーザー権限	一般ユーザー

メール情報	
④ メールアドレス	user4@ドメイン名
⑤ POPアカウント	user4@ドメイン名
⑥ パスワード	お客様のログインパスワード
⑦ POPサーバー	pop.ドメイン名 (211.)
⑧ IMAPサーバー	imap.ドメイン名 (211.)
⑨ SMTPサーバー	smtp.ドメイン名 (211.)
⑩ メールボックス使用量	0.0 MB
⑪ メール数(受信済/未受信)	0 / 0
⑫ ウェブメールのURL (Roundcube)	https://roundcube.ウェブメールサーバー名

基本情報		
1	ユーザー名	現在ログインされているユーザー名です。
2	コメント	ユーザー登録時にコメント欄に記載している場合、表示されます。 ※ユーザー編集画面にてコメントの変更・削除が可能です。
3	ユーザー権限	ユーザーに割り当てられた権限で、ドメイン管理者・サイト管理者・一般ユーザーのいずれかが表示されます。 サイト管理者・一般ユーザーで、「管理するウェブサイト」を登録している場合、URL が表示されます。

※下記の画面は、「メールを利用しない」設定になっているユーザーには表示されていません。

eメール情報		
4	eメールアドレス	ユーザーに割り当てられたメールアドレスです。
5	POP アカウント	ユーザーに割り当てられたアカウントで、メールソフトに設定する際の、「ID 欄」や「アカウント名欄」に設定します。
6	パスワード	ユーザーに割り当てられたパスワードでメールソフトに設定する際にも使用します。
7	POP サーバー	ユーザーに割り当てられた POP サーバー名で、メールソフトには POP サーバー名か IP アドレス(211.で始まる括弧内の数字)のいずれかを設定します。
8	IMAP サーバー	ユーザーに割り当てられた IMAP サーバー名で、メールソフトには IMAP サーバー名か IP アドレス(211.で始まる括弧内の数字)のいずれかを設定します。
9	SMTP サーバー	ユーザーに割り当てられた SMTP サーバー名で、メールソフトには SMTP サーバー名か IP アドレス(211.で始まる括弧内の数字)のいずれかを設定します。
10	メールボックス使用量	ユーザーが使用しているディスク使用量となります。
11	eメール数(受信済/未受信)	受信済/未受信 のメール数が表示されます。
12	ウェブメールの URL	ウェブメールを利用する際のログイン URL が表示されます。 左上のメニューの[個別ユーザー管理]の[ウェブメール]からもログインできます。

ウェブ情報		
13	DocumentRoot(絶対パス)	割り当てられた DocumentRoot が表示されます。
14	FTP アカウント	ユーザーに割り当てられたアカウントで、FTP ソフトに設定する際の「ID 欄」「アカウント欄」に設定します。
15	パスワード	ユーザーに割り当てられたパスワードで FTP ソフトに設定する際にも使用します。
16	FTP サーバー	割り当てられた FTP サーバーで、FTP ソフトには FTP サーバー名か IP アドレス(211.で始まる括弧内の数字)のいずれかを設定します。
17	ウェブサーバー IP アドレス	割り当てられたウェブサーバー IP アドレスが表示されていますが、 共用サーバーのため、IP アドレスではウェブサイトへのアクセスはできません。
18	共用 SSL URL	割り当てられた共用 SSL URL を確認することができます。 ご利用のドメイン名の前に、共用 SSL サーバー名が入ります。

下記の項目の情報はメールソフトの設定や FTP ソフトの設定に必要なため、印刷されるか控えておいてください。

メールソフトの設定に必要な情報

確認項目	お客様の情報メモ欄
POP アカウント	
パスワード	
POP サーバー	
IMAP サーバー	
SMTP サーバー	

FTP ソフトの設定に必要な情報

確認項目	お客様の情報メモ欄
FTP アカウント	
パスワード	
FTP サーバー	

1-3.マルチドメイン/サブドメイン をご利用の場合

マルチドメインおよびサブドメインをご利用の場合も**基本的にはメインドメインの移行の流れと相違はございませんが**、いくつかの注意事項がございますので、下記の項目に該当する場合には、別途作業をお願いいたします。

なお、新サーバーの管理画面では、ドメイン名ごとに画面が異なるため、サーバー設定完了通知に記載されている、**契約者アカウント**でログインのうえ、右上の[ドメイン切替]ボタンにて対象のドメイン名に切り替えを行ってください。



■サーバー移行日の3日前から移行日の間に新たにマルチドメインおよびサブドメインを追加された場合

別途新サーバー側に新たに追加したドメイン名の登録が必要となりますため、お手数ですが新サーバーの設定完了通知が届きましたら、[アカウントマネージャー](#)からマルチドメインのお申込みを行っていただき、登録が完了しましたら、下記の設定をお願いいたします。

- ・メールアカウントを追加した場合：[ユーザーの新規作成方法](#) の項目をご確認ください
- ・データベースを追加した場合：[データベース\(MySQL\)のデータ移行について](#) の項目をご確認ください
- ・ウェブコンテンツを追加した場合：[ウェブコンテンツの移行について](#) の項目をご確認ください。

■DNSの切り替えについて

メインドメインおよびサブドメインの**すべての移行準備が整ってから、DNSの切り替え**を行ってください。なお、複数のサブドメインをご利用されていて、準備ができたサブドメインから順次DNSの切り替えをご希望の場合には、お手数ですが、[Windows サービス サーバー移行特設窓口](#)までお問い合わせください。

2. 【必須】ユーザー情報の移行について

2-1. 【必須】各ユーザーの情報確認および権限・パスワードの変更方法

サーバー移行時に、各ユーザー情報(メールアカウントおよびFTPアカウント)は移行されており、**新たなパスワードが割り当てられた状態で移行**されています。

また、サーバー自体も変更されているため、**サーバー名・IPアドレスも変更**されます。

なお、旧サーバーにてログインIDとメールアカウントおよびFTPアカウントが異なっていた場合には、新サーバーでは**メールアカウントおよびFTPアカウントがログインID**となりますので、ご確認をお願いいたします。

旧サーバーでのログイン名とメールアドレスのご確認方法

[CONTROL PANEL](#) にログイン後、[メール]から対象のメールアドレスの表示名欄をクリックすると設定情報がご確認いただけます。



新サーバーでのパスワードの確認・変更や、サーバー管理画面へのログイン権限の確認・変更

[PlanManager](#) にログイン後、[ユーザー編集]画面にてご確認いただき、お控えくださいますよう、お願いいたします。

1. [ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー編集]をクリックし、確認したいユーザーを選択して[編集]ボタンをクリックします。



2. [パスワード]項目にパスワードが表示されますので、パスワードを控えた後は[戻る]ボタンで終了されるか、ご変更される場合には、新しいパスワードを入力後に[設定の保存]ボタンをクリックします。



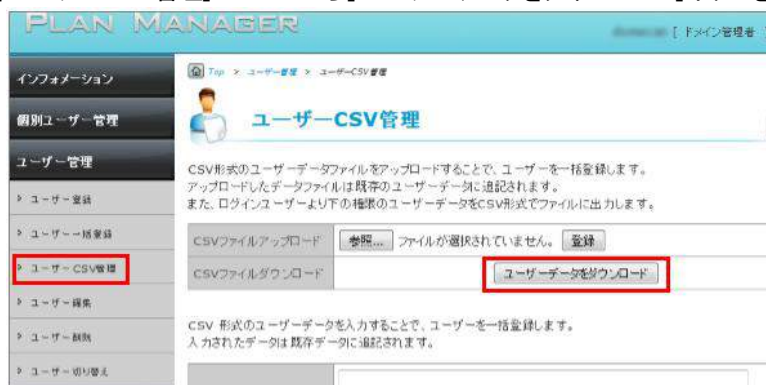
また、上記の画面にて、ユーザー権限の変更も可能です。

※[ドメイン管理者]は1ユーザーのみの割り当てとなるため、他のユーザーに[ドメイン管理者]権限を割り当てたい場合には、先に現在の[ドメイン管理者]権限のユーザーを[サイト管理者]または[一般ユーザー]の権限に変更してから、ドメイン管理者権限を別のユーザーに割り当ててください。

2-2.全ユーザーのパスワードを CSV ファイルに出力する方法

各ユーザーのパスワードを CSV ファイルに出力して確認する方法もございます。

[ユーザー-CSV 管理]メニューから[ユーザーデータをダウンロード]ボタンをクリックして、ローカル環境に保存してください。



2-3.ユーザーの新規作成方法

移行されたユーザー以外に、新規でユーザーを追加したい場合には、[ユーザー登録]画面にて追加いただけます。

PlanManager にログイン後、[ユーザー管理]メニューの[ユーザー登録]をクリックし、各項目を入力・チェックを入れた後に[設定の保存]ボタンをクリックしてください。



1	ユーザー名	PlanManager へログインするユーザー名になります。 ・メールアドレスを作成する場合:作成されるメールアドレスは“ユーザー名@ドメイン名”となります。 ・FTP アカウントを作成する場合:作成される FTP アカウント名は“ユーザー名@ドメイン名”となります。 使用できる文字は a-z、0-9、ドット(.)、ハイフン(-)、アンダーバー(_) で、最大 32 文字までです。 ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。
2	コメント	作成するユーザーに対してコメントを付けられます。コメントは省略可能です。 コメントにはユーザーの管理をする際に分かりやすいよう氏名・所属・利用目的等を入力することをお勧めします。
3	パスワード	使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 で、6 文字以上 32 文字までです。 セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。 なお、メールや FTP などのパスワードが必要なサービスを利用する場合も、このログインパスワードを使用します。 パスワードが何も入力されていない時、[自動生成ボタン]をクリックすると 8 文字のパスワードが自動発行されます。
4	[ユーザー権限] 一般ユーザー	メールアドレスのみ必要なユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 なお、[所属するウェブサイト]で対象ドメイン名を選択すると、ウェブ領域にそのユーザー専用のディレクトリーが作成されて、そのディレクトリーに対してのみ FTP でアクセスすることができます。
5	[ユーザー権限] サイト管理者	サイトの管理権限を付与するユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 [管理するウェブサイト]で対象サイトを選択すると、サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。
6	[ユーザー権限] ドメイン管理者	ドメイン名内の全サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。 また自分の管理するドメイン名において、サイト管理者および一般ユーザーを作成することができます。
7	eメールアドレス	ユーザー名をメールアドレスとして使用することが可能です。メールアドレスを作成するか選択してください。

なお、ユーザー権限が[一般ユーザー]のみの場合で、複数のユーザーを登録したい場合には、[ユーザー一括登録]画面にて各ユーザー名とパスワードを入力(または[パスワード自动生成]ボタンから作成)し、[設定を保存]ボタンをクリックして登録可能です。

設定内容

ユーザー権限	一般ユーザー
eメールアドレス	<input checked="" type="radio"/> 作成する <input type="radio"/> 作成しない
所属するウェブサイト	ウェブサイトを利用しない

パスワード自动生成

ユーザー名	パスワード	コメント
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="text"/>

リセット 設定の保存

2-4.ユーザーの削除方法

移行されたユーザーの中に不要なユーザーがある場合には、[ユーザー削除]画面にて削除いただけます。

PlanManager にログイン後、[ユーザー管理]メニューの[ユーザー削除]をクリックし、削除したいユーザーにチェックを入れて[チェックしたものを削除]ボタンをクリックしてください。

総数 7 件
[1]

すべてにチェック

削除	ユーザー名	ユーザー権限	コメント
<input type="checkbox"/>	domecan	ドメイン管理者	共用
<input type="checkbox"/>	ftp_user1	サイト管理者	HP担当者用
<input type="checkbox"/>	admin	一般ユーザー	検証用
<input type="checkbox"/>	adminadmin	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	adminadmin0	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	manual	一般ユーザー	検証用
<input checked="" type="checkbox"/>	test1	一般ユーザー	テスト

リセット チェックしたものを削除

確認画面が表示されますので、ご確認のうえ[削除]ボタンをクリックすると、削除が完了します。

以下のユーザーを削除します。よろしいですか？

※削除するユーザーのeメールアドレスやサーバー上のeメールがすべて削除されます。
またウェブサイトを利用しているユーザーに関しては、ウェブサーバー上のホームディレクトリ以下がすべて削除されます。

戻る

ユーザー名	ユーザー権限	コメント
test1	一般ユーザー	テスト

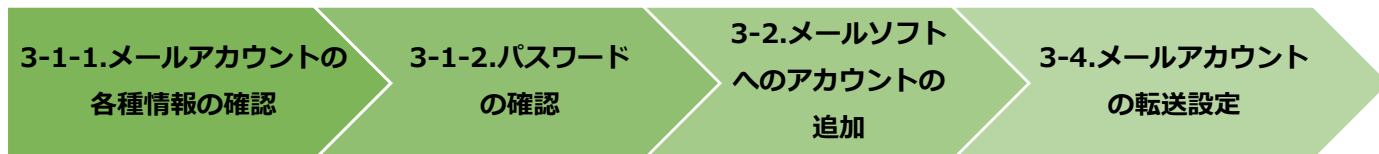
ユーザー削除

ユーザーを削除しました。

OK

3. 【必須】 メールアカウントの移行について

メールアカウントは弊社にて移行済みですが、**メールサーバー情報およびパスワードを変更**させていただいているため、お手数ですが [PlanManager](#) にログインのうえ **各種情報の確認とメールソフトへアカウントの追加の設定**をお願いいたします。



ユーザーの移行の区分は下記の通りとなります。

旧サーバーにて、[CONTROL PANEL](#) にログイン後、[ユーザー]メニューをクリックすると、ユーザーの一覧が表示され、[有効なサービス]欄に、利用の種別が掲載されています。



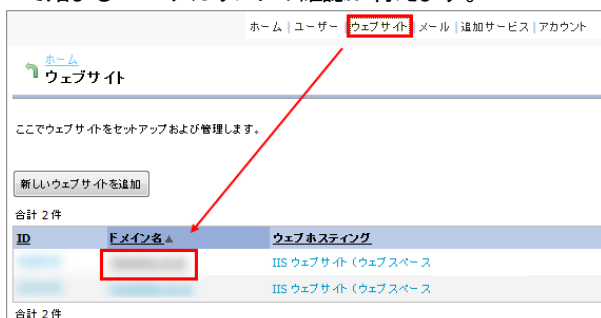
※ウェブホスティングをご利用されておらず、**メールのみのご利用の場合**、新サーバーでのユーザー権限は、**一般ユーザー**で作成されております。必要に応じて**ドメイン管理者にご変更**いただくか、**新たにドメイン管理者権限のユーザーを作成**されるか、ご検討ください。

旧サーバー

新サーバー

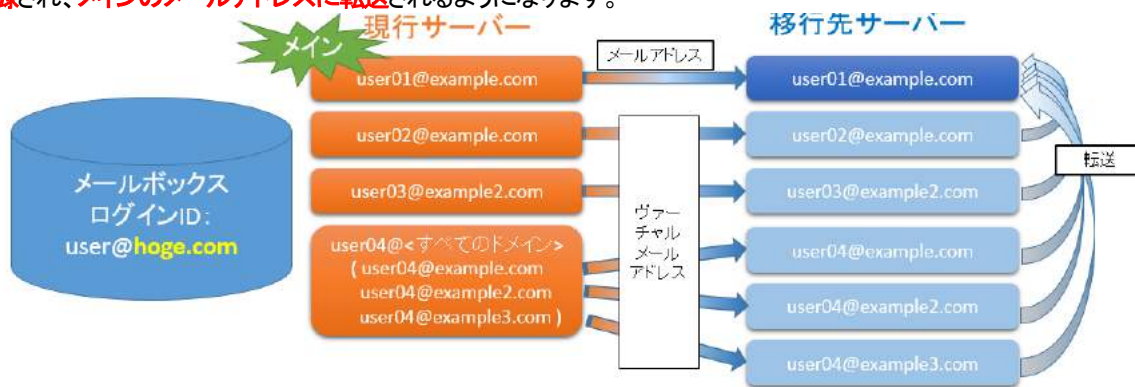
ユーザー[有効なサービス]	FTP	メール	ユーザー権限	FTP	メール
W0で始まるユーザー	○	-	ドメイン管理者	○	×
メール, IIS ウェブサイト管理	○	○	サイト管理者	○	○
IIS ウェブサイト管理	○	×	サイト管理者	○	×
メール	×	○	一般ユーザー	×	○
なし	×	×	移行無し		

また、旧サーバーで使用している FTP アカウント [**w0で始まるユーザー**]の確認方法は、[CONTROL PANEL](#) にログイン後、上部メニューの[ウェブサイト]から対象のドメイン名をクリックし、[ウェブサイトの設定]メニューをクリックすると w0で始まる FTP アカウントの確認が行えます。





新サーバーでは1メールアドレスにつき1メールボックスとなるため、旧サーバーで1つのメールボックスに複数のメールアドレスを紐付けてご利用されている場合には、**メインのメールアドレス以外をヴァーチャルメールアドレスとして登録され、メインのメールアドレスに転送されるようになります。**



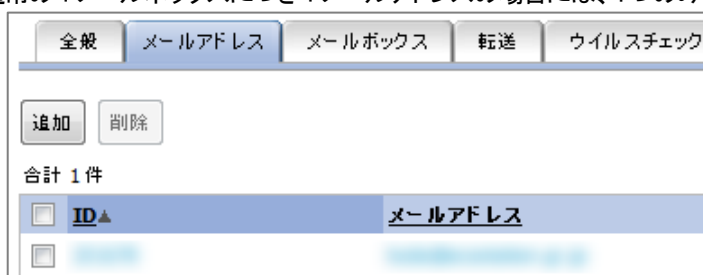
上記の対象か否かの確認は、下記の手順にてご確認いただけます。

[CONTROL PANEL](#) にログイン後、上部メニューの[メール]から対象アカウントをクリックし、[メールアドレス]タブをクリックすると、登録されているメールアドレスが表示されます。

一番上のメールアドレスが新メインのメールアドレスとなり、2番目以降はヴァーチャルメールアドレスに登録されます。



通常の1メールボックスにつき1メールアドレスの場合には、1つのみ表示されています。



3-1. **【必須】** メールアカウントの各種情報の確認方法

3-1-1. **【必須】** メールサーバー情報の確認方法

[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、対象ユーザーを選択して[切り替え]ボタンをクリックします。



[個別ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー情報]にてメールアカウント名およびメールサーバーの IP アドレスの確認を行えます。
※サーバー情報は pop.ドメイン名、imap.ドメイン名、smtpドメイン名 など全ユーザー共通です。

ユーザー情報

現在ログインしているユーザーの 情報です。

基本情報	
ユーザー名	info
ログイン	サイト管理者
ユーザー権限	サイト管理者

eメール情報	
eメールアドレス	info@www.example.com
POPアカウント	① info@www.example.com
パスワード	お客様のログインパスワード
POPサーバー	② pop.www.example.com (211.111.111.111)
IMAPサーバー	② imap.www.example.com (211.111.111.111)
SMTPサーバー	③ smtp.www.example.com (211.111.111.111)
メールボックス使用量	0.0 MB
eメール数 (受信済/未受信)	0 / 0
ウェブメールのURL (Roundcube)	https://roundcube.www.example.com.net/

	確認項目	注意点など	お客さまご記入欄
1	POP アカウント	メールアドレスと同じです。	
	パスワード	[3-1-2. パスワード情報の確認および変更方法] の項目でご確認いただけます。	
2	POP サーバーまたは IMAP サーバー	211. で始まる IP アドレスを控えてください。	
3	SMTP サーバー	211. で始まる IP アドレスを控えてください。	

3-1-2.【必須】メールアカウントのパスワード情報の確認および変更方法

メールソフトに設定時に、メールサーバー情報のほかに、各ユーザー（メールアカウント）のパスワード情報が必要です。
[PlanManager](#)にてパスワードの確認、ならびに、全ユーザーのパスワードを Excel にてダウンロードが行えます。

[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー編集]をクリック後、確認したいユーザーを選択して[編集]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface. On the left is a navigation menu with 'ユーザー管理' (User Management) selected. The main area shows 'ユーザー管理' with options like 'ユーザー登録' (User Registration) and 'ユーザー一括登録' (Batch User Registration). An arrow points to the 'ユーザー編集' (User Edit) screen. This screen displays instructions for editing a user and a table of users. The 'info' user is selected, and the '編集' (Edit) button is highlighted with a red box.

ユーザー名	ユーザー権限	コメント	編集
admin	サイト管理者		編集
ftpuser	サイト管理者	FTP用	編集
info	サイト管理者	サイト管理者	編集

[パスワード]項目にパスワードが表示されます。パスワードを控えた後は[戻る]ボタンで終了します。

※パスワードを変更する場合には、新しいパスワードを入力後に[設定の保存]ボタンをクリックします。

※パスワードに使用できる文字は **A-Z、a-z、0-9** となります。

6文字以上32文字以下で大文字、小文字、数字を混在させて設定してください。

The screenshot shows the 'ユーザー編集' (User Edit) form. The 'パスワード' (Password) field is highlighted with a red box. The form includes fields for 'ユーザー名' (Username), 'コメント' (Comment), 'パスワード', 'ユーザー権限' (User Role), and 'メールアドレス' (Email Address). The 'パスワード' field is currently empty, and the 'ユーザー権限' is set to 'サイト管理者' (Site Administrator).

全ユーザーのパスワードを一括して CSV ファイルにダウンロードする場合は、[ユーザー管理]メニュー内の [ユーザー CSV 管理] をクリックして、ダウンロード先を指定してください。

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface with the 'ユーザーCSV管理' (User CSV Management) screen selected. The screen provides instructions on how to export user data to a CSV file. The 'ユーザーデータをダウンロード' (Download User Data) button is highlighted with a red box. The interface includes a 'CSVファイルアップロード' (CSV File Upload) section and a 'CSVファイルダウンロード' (CSV File Download) section.

3-1-3. 【必須】内部配送されているメールの確認方法

旧サーバーと新サーバーのご利用状況によっては、内部配送が発生するケースがございます。

■事例 1:新サーバーで内部配送が発生する場合

お客さま宛にメールを送信したメールアドレスのドメインが iCLUSTA シリーズをご利用されていて、かつウィルスチェックサービスをご利用の場合、サーバー設定完了通知が届いた時点でお客さまの新サーバーのメールボックスにメールが配送されます。

メールソフトのアカウント設定において、新サーバーの情報で新たにメールアカウントを作成していただくことで受信が可能です。メールソフト設定前の場合、ウェブメールへアクセスいただくことでもメールの受信をご確認いただけます。

・サーバー管理者さまが一括で確認する場合

IPlanManager に契約者アカウントでログインし、[メールコントロール]メニュー内の[メールボックス使用量確認]をクリックします。メールアカウントの一覧が表示され、[未受信]欄および[使用状況欄]に数値が入っている場合には内部配送されたメールが届いていることになります。

The screenshot shows the 'メールボックス使用量確認' page in PLAN MANAGER. It includes a summary section with a progress bar showing '0%' usage and a table of users. The table has columns for 'ユーザー名', 'コメント', 'メール数', '未受信', '受信済', '使用状況', and '受信済メール削除'.

ユーザー名	コメント	メール数	未受信	受信済	使用状況	受信済メール削除
user04		0	0	0	0.0 MB	削除
manual		1	0	0	0.1 MB	削除

・各ユーザーさまに直接ご確認いただく場合

PlanManager にログインし、[個別ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー情報]を開きます。

[メールボックス使用量]および[eメール 受信済/未受信]に数値が入っていた場合には内部配送されたメールが届いています。左側メニューの[ウェブメール]にアクセスいただくと、メールをご確認いただけます。

The screenshot shows the 'ユーザー情報' page for user 'manual'. It displays various user details in a table format. The 'メールボックス使用量' and 'eメール数 (受信済/未受信)' fields are highlighted with red boxes.

ユーザー名	manual
コメント	
ユーザー種別	一般ユーザー
eメール情報	
eメールアドレス	manual@xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com
POPアカウント	manual@xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com
パスワード	お客さまのログインパスワード
POPサーバー	pop.xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com (211.xxxxxxxxxxx)
IMAPサーバー	imap.xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com (211.xxxxxxxxxxx)
SMTPサーバー	smtp.xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com (211.xxxxxxxxxxx)
メールボックス使用量	0.1 MB
eメール数 (受信済/未受信)	0 / 1
ウェブメールのURL (Roundcube)	https://roundcube.xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.com/

■事例 2: 旧サーバーで内部配送が発生していた場合

新サーバーへの移行作業が完了し、DNS 切り替えが完了した後も、旧サーバー内の同領域に收容されているドメイン間(※)のメール配送につきましては、旧サーバーの停止日(新サーバー提供開始日より 60 日後)まで旧サーバーのメールボックスへとメールが配送されます。

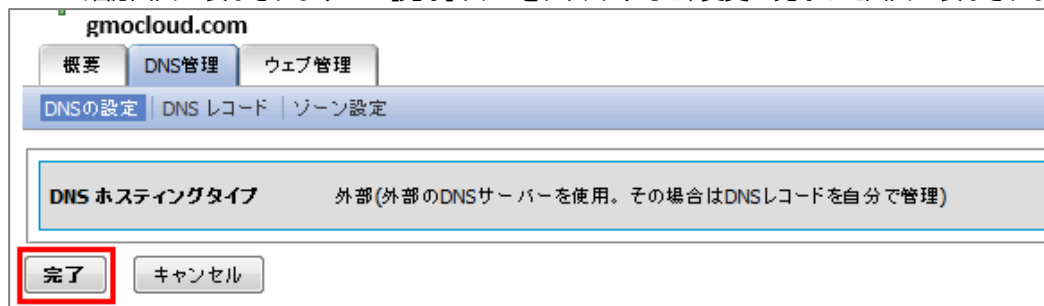
※同一契約内のサブドメイン同士など

そのため、お手数ではございますが、**DNS 切り替え後に下記のご対応をお願いいたします。**

STEP1 [CONTROL PANEL](#) にログインし、[ウェブサイト]に進み、対象ドメイン名をクリックし、[DNS 管理]タブに進み、[外部 DNS ホスティングに変更する]ボタンをクリックします。



STEP2 確認画面が表示されますので[完了]ボタンをクリックすると、変更が完了した画面が表示されます。



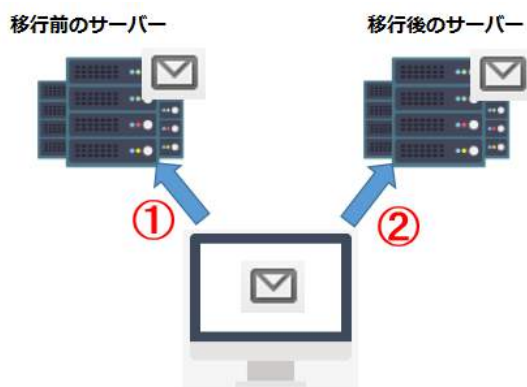
メールソフト内の旧サーバーで利用されていたメールアカウント設定にて受信可能ですので、**旧サーバーのアカウント設定は削除しないようお願いいたします。**

3-2. **【必須】** メールソフトへのアカウントの追加方法

※現在ご利用のメールアカウントの設定変更ではなく、**アカウントの追加を行ってください。**
 現在の設定を変更した場合、**移行前のサーバーに届いたメールの受信ができなくなるため**となります。

また、旧サーバーにて **IMAP 接続にてメールをご利用のお客さまは、旧サーバーが停止される前までに、旧サーバー側のメールアカウントにて POP 接続を行ってメールソフトに全すべての受信しておいてください。**

下記の図例は、現在利用しているメールソフトの設定が①、これから設定するメールソフトの設定が②となります。
 DNS 切り替え前は①のサーバーにメールを受信しにいきますが、DNS 切り替え後は[プロバゲーション]が発生し、
 すぐに②に切り替わるのではなく、①②どちらにメールが届くか不明な状態となるため、どちらのサーバーにメールが届いても受信できるように設定を行います。



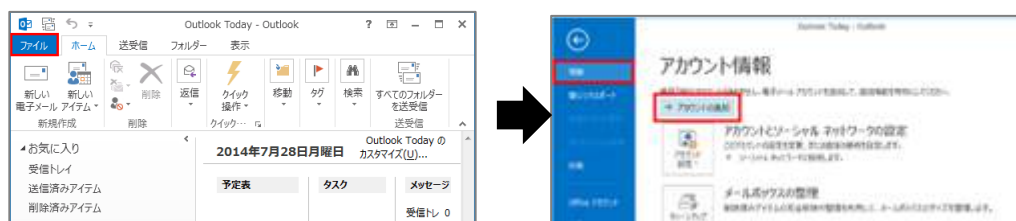
3-2-1 Microsoft Outlook 2013 の設定 [POP 接続の場合]

※受信方式を **POP 接続** / **IMAP 接続** のいずれかご選択ください。

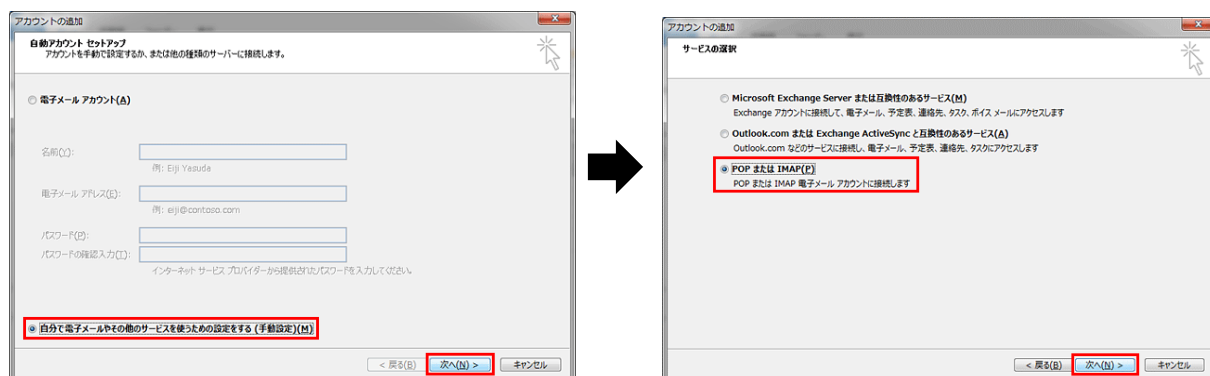
※**Outlook 2013 以外**の設定方法につきましては、**お手数ですがメーカーの設定**をご参照ください。

※**Mac**の**メール設定**については、**こちら**をご参照ください。

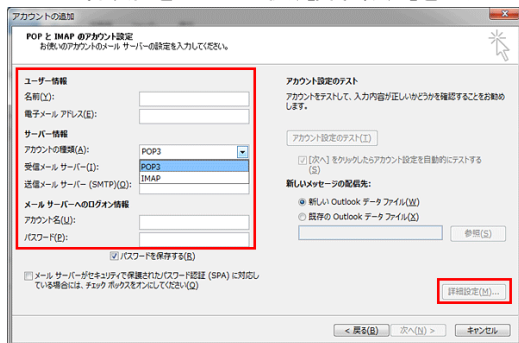
STEP1 左上の[ファイル]をクリックし、[情報]の中から[アカウントの追加]をクリックします。



STEP2 [自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)]にチェックを入れて[次へ]をクリックし、[POP または IMAP(P)]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

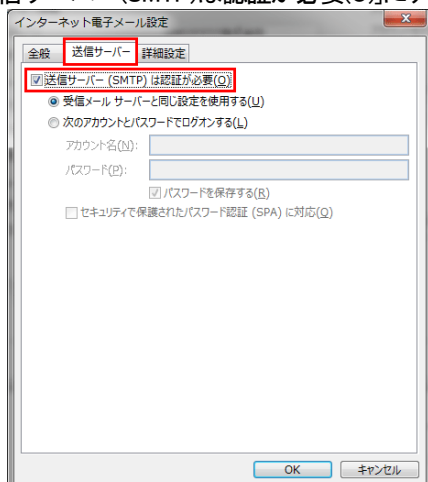


STEP3 各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。



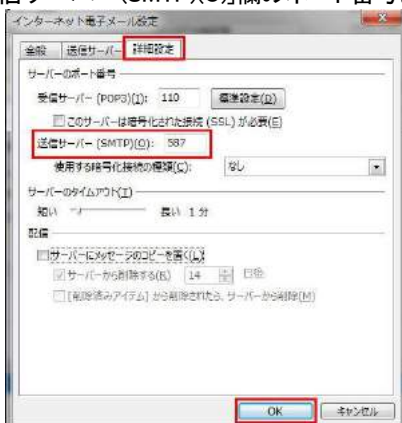
名前	お名前や企業名などを記入(日本語入力可)。受信者側に表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレスを入力
アカウントの種類(A)	POP3
受信メールサーバー(I)	PlanManager 内で確認した POP サーバーの IP アドレス
送信メールサーバー(SMTP)(O)	PlanManager 内で確認した SMTP サーバーの IP アドレス
アカウント名(U)	メールアドレスを入力 (@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記)
パスワード(P)	PlanManager 内で確認したユーザーのパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます

STEP4 新たに[インターネット電子メール設定]の画面が出てくるので[送信サーバー]タブをクリックし、[送信サーバー(SMTP)は認証が必要(O)]にチェックを入れて[詳細設定]タブへ移動します。



STEP5 サブミッションポート(OP25B)の設定をします。

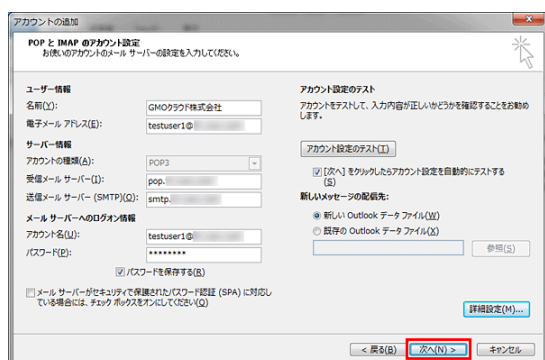
[送信サーバー(SMTP)(O)]欄のポート番号を"25"を"587"に変更し、[OK]をクリックします。



	POP 設定の場合	TLS を使用する場合	SSL を使用する場合
受信サーバー(POP3)(I)	110(規定値)	110/995	995
このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)	チェックなし	チェック無/チェック有	チェックあり
送信サーバー(SMTP)(O)	587	587	465
使用する暗号化接続の種類(C)	なし	TLS	SSL
サーバーのタイムアウト(T)	規定値は[1 分]で設定されているので任意で変更		
サーバーにメッセージのコピーを置く(L)	チェックを入れると受信後もサーバーに残り、ウェブメールでの確認や、他の PC での受信も可能となりますがサーバー容量が上限に達して受信できなくなる場合がございます。		
サーバーから削除する(R)[]日後	上記にチェックがある場合、サーバーから削除する日数を指定できます。		
[削除済みアイテム]から削除されたら、サーバーから削除(M)	こちらにチェックが入っていないと受信メールを削除した後もサーバー内に残り続けて容量を圧迫しますので、コピーを置くにチェックを入れた場合には、こちらにもチェックを入れることを推奨いたします。		

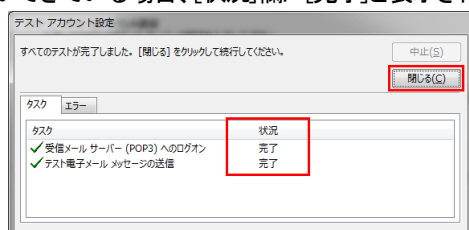
※POP over SSL の設定は[こちら](#)、/SMTP over SSL の設定は[こちら](#)をご参照ください。なお、POP over SSL/ SMTP over SSL の設定をすることにより、ソフトウェアによっては警告表示がでます。ご注意ください。

STEP6 [アカウントの追加]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。

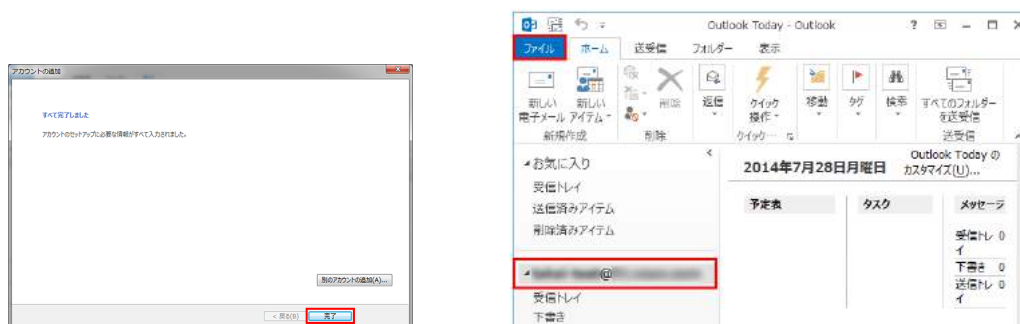


STEP8:テストアカウント設定

設定ができている場合、[状況]欄に[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。



STEP9:設定の完了 [完了]をクリックします。設定したメールアドレスが作成されていることを確認できます。

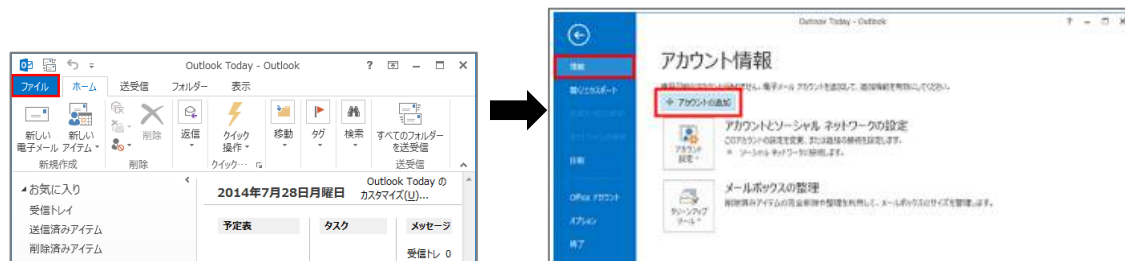


3-2-2 Microsoft Outlook 2013 の設定 [IMAP 接続の場合]

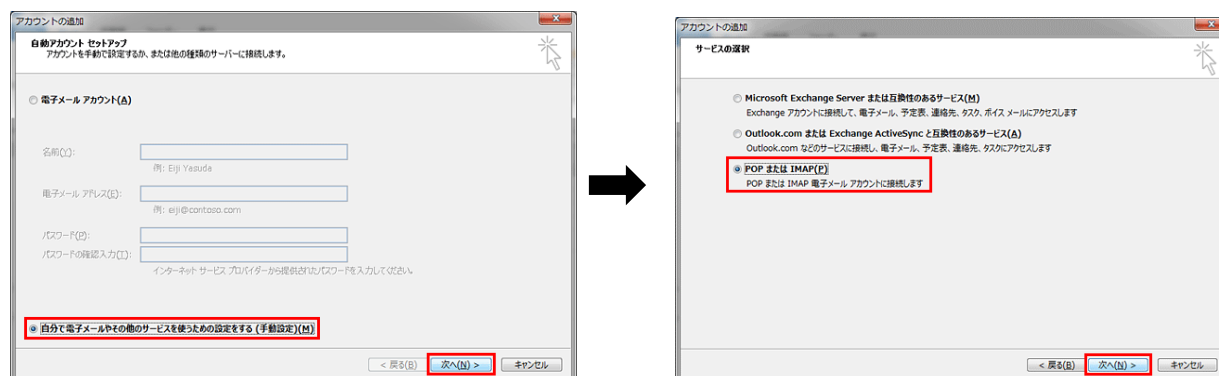
※受信方式を [POP 接続](#) / [IMAP 接続](#) のいずれかご指定ください。

※Outlook 2013 以外の設定方法につきましては、お手数ですが[メーラーの設定](#)をご参照ください。

STEP1 左上の[ファイル]をクリックし、[情報]の中から[アカウントの追加]をクリックします。



STEP2 [自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)]にチェックを入れて[次へ]をクリックし、[POP または IMAP(P)]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

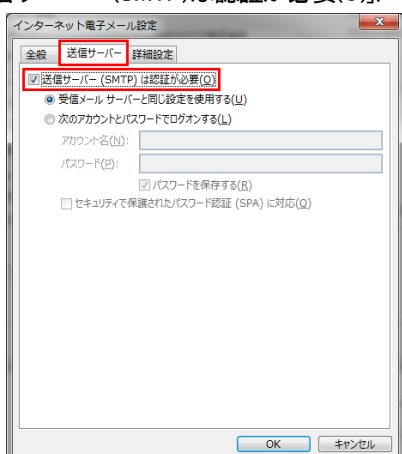


STEP3 各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。

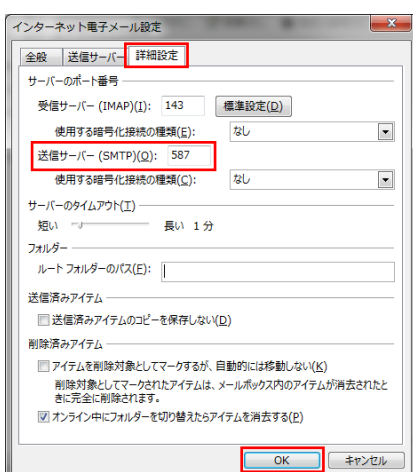


名前	お名前や企業名などを記入(日本語入力可)。受信者側に表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレスを入力
アカウントの種類(A)	IMAP
受信メールサーバー(I)	PlanManager 内で確認した IMAP サーバーの IP アドレス
送信メールサーバー(SMTP)(O)	PlanManager 内で確認した SMTP サーバーの IP アドレス
アカウント名(U)	メールアドレスを入力(@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記)
パスワード(P)	PlanManager 内で確認したユーザーのパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます

STEP4 新たに[インターネット電子メール設定]の画面が出てくるので[送信サーバー]タブをクリックし、[送信サーバー(SMTP)は認証が必要(O)]にチェックを入れて[詳細設定]タブへ移動します。



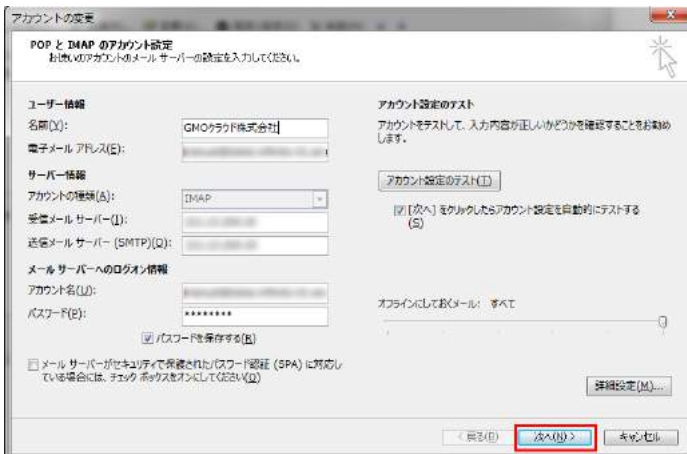
STEP5 サブミッションポート(OP25B)の設定をします。
[送信サーバー(SMTP)(O)]欄のポート番号を"25"を"587"に変更し、[OK]をクリックします。



	IMAP 設定の場合	TLS を使用する場合	SSL を使用する場合
受信サーバー(IMAP)(I)	143 (規定値)	143/993	993
このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)	チェックなし	チェック無/チェック有	チェックあり
送信サーバー(SMTP)(O)	587	587	465
使用する暗号化接続の種類(C)	なし	TLS	SSL
サーバーのタイムアウト(T)	規定値は[1分]で設定されているので任意で変更		
送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)	初期値ではチェックは入っていません。 ※チェックを入れると送信したメールが保存されなくなりますのでご注意ください。		
アイテムを削除対象としてマークするが、自動的に移動しない(K)	初期値ではチェックは入っていません。 チェックを入れると削除対象アイテムは自動的に削除されず、 手動でアイテムを消去した時に削除されます。		
オンライン中にフォルダーを切り替えたアイテムを消去する(P)	初期値ではチェックが入っています。		

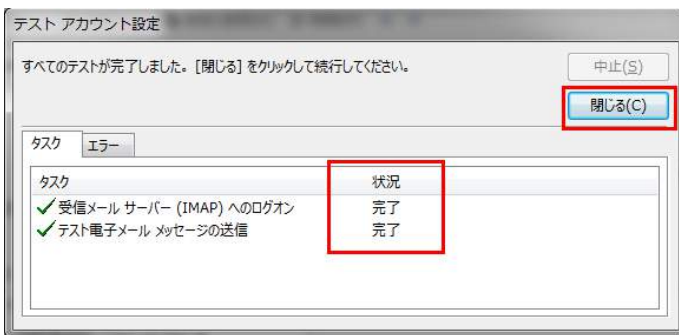
※IMAP over SSL の設定は[こちら](#)をご参照ください。なお、IMAP over SSL/ SMTP over SSL の設定をすることにより、ソフトウェアによっては警告表示が
できます。ご注意ください。

STEP6 [アカウントの追加]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。

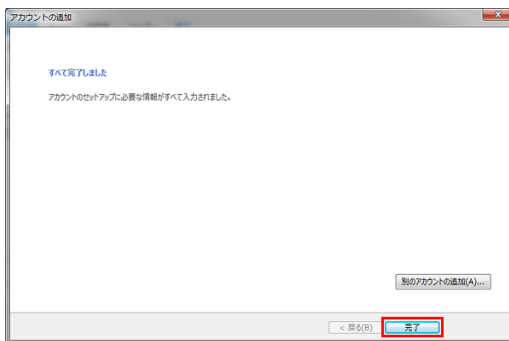


STEP7:テストアカウント設定

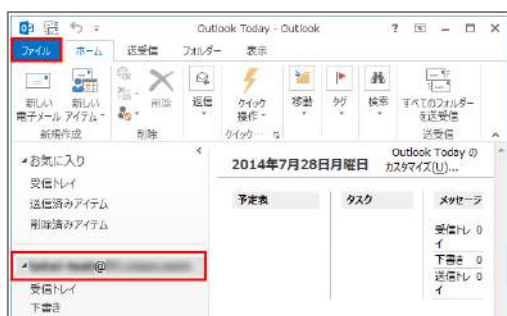
設定ができている場合、[状況]欄が[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。



STEP8:設定の完了 [完了]をクリックします。



設定したメールアドレスが作成されていることが確認できます。



3-3. メールフィルターの設定方法

現在ご利用のサーバーに設定している、メールの転送設定の情報は新サーバーへ引継がれております。

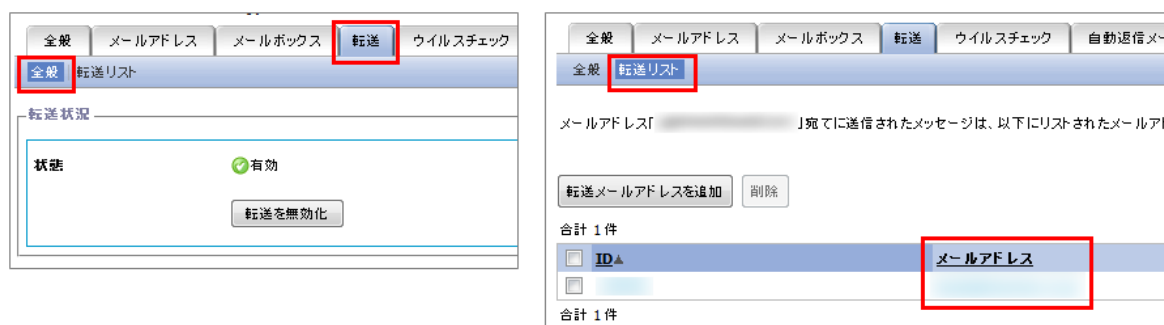
3-3-1.メールアカウントの転送設定方法

移行前のメール転送設定の確認方法

[CONTROL PANEL](#) にログインし、上部の[メール]をクリックするとメールアドレスの一覧が表示され、右側の[転送]欄にメールアドレスの記載がある場合には、メールの転送設定がある状態となっています。



表示名部分をクリックし、[転送]タブをクリックすると、[全般]タブ内には、有効化／無効化の設定変更があります。また、[転送リスト]タブ内に転送先のメールアドレス一覧が表示されています。



なお、転送状態が[無効]となっている場合でも、転送リスト内の転送先メールアドレス情報が新サーバーに移行されるため、お手数ではございますが、転送設定が不要な場合には、新サーバーの管理画面([PlanManager](#))にて転送先メールアドレスを削除くださいますよう、お願いいたします。

移行後のメール転送設定の確認方法

メールフィルター機能は、お客様のメールアドレスへ送信されるメールに対して、設定された条件によって自動的に削除、エラーメールを返信、指定されたメールアドレスへ転送等の処理を行うフィルターを設定します。

迷惑メールフィルターの登録やメール自動返信の登録がある場合、メールフィルターの適用順序が以下のように変更されます。

- ①迷惑メールフィルター
- ②動作が“自動削除する”、“エラーメールを返す”のメールフィルター
- ③メール自動返信メール

自動返信が設定されている場合、メールフィルタールールの動作が[自動削除する]、[エラーメールを返す]に設定されているルールを適用後、メール自動返信処理が行われます。

各メールアカウントの使用者が個々に設定確認を行う場合

1. [PlanManager](#) にログイン後、[個別ユーザー管理]内の[メールフィルター設定]からプロフィール名の右側の[詳細設定]ボタンをクリックすると設定の確認が行えます。

※旧サーバーの転送リスト内の転送先メールアドレス情報が登録されている場合、新サーバーに移行されるため、お手数ではございますが、転送設定が不要な場合には、[削除]ボタンにて転送設定を削除くださいますよう、お願いいたします。



内容を変更する場合や、新規に追加する場合には、各項目に入力のうえ、[設定の保存]をクリックします。



- ①プロフィール名は、設定の名称を入力します。
- ②届いたメールのすべてを転送させる場合には「すべてのeメール」にチェックを入れます。
- ③[eメールを転送する]にチェックを入れて、転送先のメールアドレスを入力します。
- ④受信したメールアドレスと転送先の両方にメールを配送させる場合には、「eメールをメールボックスに残す」にチェックを入れます。
チェックを入れていない場合、転送先メールアドレスにのみメールが配送されます。
- ⑤上記の設定を確認し[設定の保存]ボタンをクリックします。

管理者が各メールアカウントの転送設定の確認する場合

1. [PlanManager](#) にログイン後、[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、表示させたいユーザーを選択して[切り替え]ボタンをクリックします。



2. [個別ユーザー管理]内の[メールフィルター設定]からプロフィール名の右側の[詳細設定]ボタンをクリックすると設定の確認が行えます。



※旧サーバーの転送リスト内の転送先メールアドレス情報が登録されている場合、新サーバーに移行されるため、お手数ではございますが、転送設定が不要な場合には、[削除]ボタンにて転送設定を削除くださいますよう、お願いいたします。



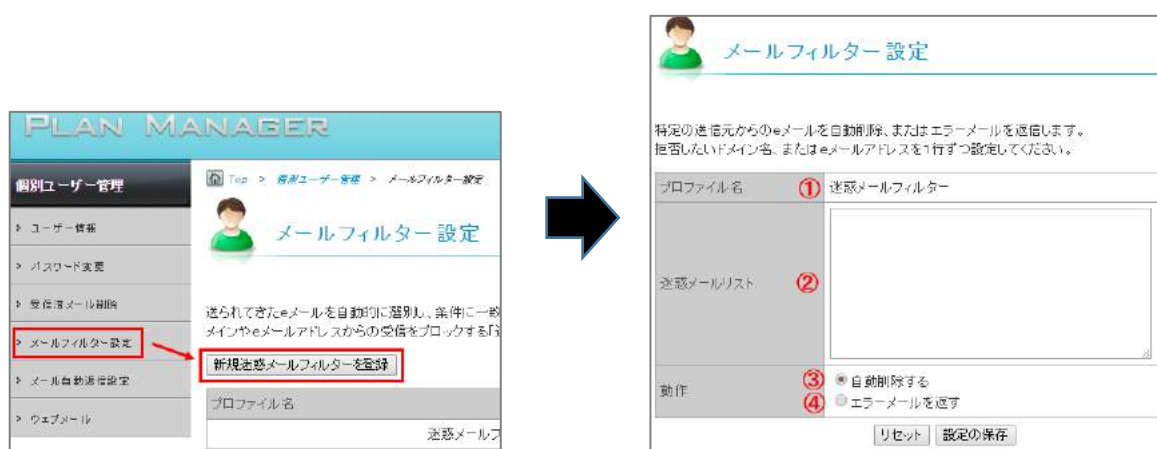
3-3-2. 迷惑メールフィルターの設定方法

恐れ入りますが、現在ご利用のサーバーに設定しているブラックリストおよびホワイトリスト等の迷惑メールフィルターの設定情報は新サーバーへ引継げない仕様となっております。

そのため、大変お手数ではございますが、今まで設定をされていた場合には、新たに迷惑メールフィルターの設定を行っていただきますよう、お願いいたします。

特定の送信元からのメールを迷惑メールとして扱い、受信拒否することができるフィルターです。迷惑メールフィルターは、メールフィルターより優先されます。

各ユーザーの ID とパスワードで [PlanManager](#) にログインし、[メールフィルター設定]メニューをクリックし、[新規迷惑メールフィルターを登録]ボタンをクリックします。



1	プロファイル名	プロファイル名は、登録されたメールフィルターを管理するうえでの便宜上のもので、設定には反映されません。迷惑メールフィルターではこのプロファイル名は“迷惑メールフィルター”となります。
2	迷惑メールリスト	拒否したい送信元のドメイン名またはアドレスを1行ずつ入力してください。なお、リストは 200 個まで有効です。 【設定例】※ who@example.org “who@example.org” から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 .org “.org” から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 example.org “example.org” から送信されるすべてのメールを受信拒否します。
3	自動削除する	条件に一致したメールを自動的に削除する場合に選択します。 受信したメールをサーバーへ保存しないで破棄します。
4	エラーメールを返す	条件に一致したメールの送信者にエラーメールを返信する場合に選択します。 受信したメールの送信者へエラーメールを送信し、受信したメールはサーバーに保存されません。

※@ を含めずに設定すると、例えば “exampler-example.org” などのような、まったく異なるドメイン名もマッチしてしまいます。

確実に特定のドメイン名に限定したい場合には “@example.org” のように設定してください。

また、“admin@ドメイン名”を登録すると、メーリングリストでご利用の“ml 名-admin@ドメイン名”も該当してしまい、メーリングリストが正しく機能しなくなりますのでご注意ください。

各項目を入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

3-4. 自動返信メールの設定方法

恐れ入りますが、現在ご利用のサーバーに設定している自動返信メールの設定情報は新サーバーへ引継がない仕様となっておりますため、大変お手数ではございますが、今まで設定をされていた場合には、新たに設定を行っていただきますよう、お願いいたします。

メール自動返信の設定をしておくと、メールを受け取った際に、送信者に自動的にあらかじめ設定しておいたメールの内容を返信することができます。

メールフィルター設定で、動作が「自動削除する」、「エラーメールを返す」に設定されているルールが存在する場合、

それらを適用後、メール自動返信処理を実行します。メール転送は行われませんので、ご注意ください。

1	Subject	自動返信メールのメールタイトルに対応します。英語、日本語共に使用できます。
2	From	自動返信メールの差出人に対応します。お客さまのメールアドレスをそのまま入力します。 ※初期値では、ログインしたユーザーのメールアドレスが記載されています。 日本語は使用できません。
3	Reply-To	自動返信メールの返信用アドレスに対応します。通常は空欄のままにしておきます。 この設定は、自動返信メールを受け取った受信者がさらに返信をする際に、From: で指定されたメールアドレスとは異なるメールアドレスに返信させる場合に入力します。 なお、書式は From: と同様になります。
4	本文	返信するメールの本文を入力します。本文の最大サイズは10KBです。
5	メール自動返信を有効にする	チェックを入れると自動返信メールが配送されます。

各項目を入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

3-5. ウェブメールのご利用方法

ウェブメールは、現在ご利用のウェブメールとは異なる仕様の「Roundcube」を導入しております。恐れ入りますが、現在のウェブメールに保存されているメールアドレス帳の情報は、新サーバーへ引継げない仕様となっておりますため、大変お手数ではございますが、アドレス帳に登録をされていた場合には、新たに登録を行っていただきますよう、お願いいたします。

■各ユーザーが直接ログインする場合

STEP1 [PlanManager](#) にウェブメールを利用するユーザーのアカウントでログイン後、[個別ユーザー管理]メニュー内の[ウェブメール]をクリックし、ウェブメールの URL 部分をクリックします。

※ウェブメールの URL をブラウザのお気に入り登録しておくと、次回より直接ウェブメールのログイン画面に進むことができます。



STEP2 各ウェブメールのログイン画面が表示されますので、情報を入力してログインボタンをクリックします。



■契約者アカウントからログインする場合

STEP1 [ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、利用したいユーザーを選択して[切り替え]ボタンをクリックします。



STEP2 [個別ユーザー管理]メニュー内の[ウェブメール]画面へ進み、各ウェブメールの下の URL をクリックします。



Roundcube の操作について

新ウェブメール(Roundcube)の各操作につきましては、下記のメニューよりお進みください。

ウェブメールへのログイン方法	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2516/
受信時の各種設定	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2506/
表示名・署名の登録方法	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2507/
アドレス帳の登録方法	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2508/
メッセージの作成・送信	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2509/
フォルダーの作成と振分け	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2510/
メールヘッダーの表示方法	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2511/
IMAP 接続と POP 接続について	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2512/

3-6. メーリングリストの設定方法

メーリングリストの新規登録、設定変更、削除等を行います。

新規でメーリングリストを登録する場合は「新規メーリングリストを登録」ボタンをクリックすると登録画面に進みます。

PLAN MANAGER

700 > メールコントロール > メーリングリスト

メーリングリスト

メーリングリストの登録、設定変更、削除をします。

新規メーリングリストを登録

総数 2 件
[1]

すべてにチェック

新規にメーリングリストを登録します。
管理アドレスの転送先は既に存在するeメールアドレスを指定してください。
投稿できるユーザーに「モデレーターのみ」を指定した場合、拡張設定の「モデレーターの編集」でモデレーターを設定する必要があります。

メーリングリスト名 ①

メーリングリストアドレス ②

管理アドレスの転送先 ③

インフォメーションの言語 ④ 日本語

コマンド送信できるユーザー ⑤ モデレーターのみ

投稿できるユーザー ⑥ モデレーターのみ

受信可能サイズ ⑦ KB以下

任意設定 ⑧

Subject: に通し番号をつける
 コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す
 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す

リセット 設定の保存

1	メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します(日本語入力が可能です)
2	メーリングメールアドレス	メーリングリストのメールアドレスを登録します。
3	管理アドレスの転送先	管理用メールアドレスに送られたメールを転送する、ご利用ドメイン内の実メールアドレスです。 ここでは、お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定してください。 メールエイリアスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。
4	インフォメーションの言語	メーリングリストに参加した際や、コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語が表示されます。
5	コマンド送信できるユーザー	メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。 コマンドの送信ができると、そのユーザーは自分でメーリングリストに参加したり、退会したりすることが可能になります。 通常は「誰でも」に設定しておき、任意にメンバーになれるようにします。 もし、メーリングリストに勝手に参加されては困る場合には、「モデレーターのみ」に設定し、管理者の承認なしには参加できないようにします。
6	投稿できるユーザー	メーリングリストに対して、メール(記事)の投稿ができるユーザーを選択します。 通常は「メンバーのみ」に設定し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。 もし、メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、「モデレーターのみ」に設定し、勝手に投稿されないようにします。
7	受信可能サイズ	メーリングリストに投稿可能なメールのサイズを KB 単位で設定します。 通常のテキストメール程度であれば、50~100 KB 程度で十分です。これは、不用意に大きなファイルを添付したメールの配信を防ぐ目的で設定されます。 最大で 1,000KB まで受信可能です。
8	[任意設定] Subjectに通し番号を付ける	このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。 例えば、メーリングリストアドレスが "abc@お客さまドメイン名" だった場合には、 [abc 1] テストのようになります。
	[任意設定] コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。
	[任意設定] 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。 オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。

※恐れ入りますが、旧サーバーで設定可能であった Reply-To の指定は、新サーバーでは指定できない仕様となっております。

各項目の入力完了後、[設定の保存]ボタンをクリックすると、登録完了画面が表示されて作成終了となります。

メーリングリスト一覧項目の表示について

メーリングリストの登録、設定変更、削除をします。

[新規メーリングリストを登録](#)

総数 5 件
[1]

[すべてにチェック](#)

削除 ①	メーリングリスト名 ②	メンバー数 ③	検索
<input type="checkbox"/>	マニュアル用ML manualml@	2/1000	基本設定 ④ 拡張設定 ⑤ メンバー編集 ⑥

[リセット](#) [チェックしたものを削除](#)

1	削除	削除するメーリングリストをチェックします。 削除は1ページごとに行ってください。 チェックした後に別ページへ移行すると、それまでにチェックしたものは無効となります。
2	メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前とメーリングリストのアドレスが表示されます。
3	メンバー数	メーリングリストのメンバー登録数と登録可能な最大数が表示されます。
4	基本設定	メーリングリストの基本設定を変更します。 基本設定を変更するメーリングリストの“基本設定”ボタンをクリックしてください。 メーリングリスト基本設定画面へ移行します。
5	拡張設定	メーリングリストの拡張設定を行います。 拡張設定では、メッセージの編集、通し番号の編集、モデレーターの編集ができます。 拡張設定を行うメーリングリストの“拡張設定”ボタンをクリックしてください。 メーリングリスト拡張設定画面へ移行します。
6	メンバー編集	メーリングリストのメンバーを編集します。メンバー編集を行うメーリングリストの“メンバー編集”ボタンをクリックしてください。メーリングリストメンバー編集画面へ移行します。

【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除するヴァーチャルメールアドレスをチェックし、[チェックしたものを削除]ボタンをクリックすると、削除確認画面へ移行します。
削除確認画面で“削除”ボタンをクリックするとチェックしたメーリングリストがすべて削除されます。

以下の設定を削除します。よろしいですか？

[戻る](#) [削除](#)

メーリングリスト名	メーリングリストアドレス
マニュアル用ML	manualml@

→

メーリングリスト

メーリングリストを登録しました。

[OK](#)

メーリングリスト基本設定(設定変更)

メーリングリストの設定を変更する場合、[基本設定]ボタンをクリックします。

登録済みのメーリングリストの基本設定を変更します。
投稿できるユーザーに「モデレーターのみ」を指定した場合、拡張設定の「モデレーターの編集」でモデレーターを設定する必要があります。

メーリングリスト名	①	manual用ML
メーリングリストアドレス	②	manualml@
管理用アドレスの転送先	③	info@
インフォメーションの言語	④	日本語
コマンド送信できるユーザー	⑤	モデレーターのみ
投稿できるユーザー	⑥	モデレーターのみ
受信可能サイズ	⑦	1000 KB以下
任意設定	⑧	<input type="checkbox"/> Subject: に通し番号をつける <input type="checkbox"/> コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す <input type="checkbox"/> 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す

[リセット](#) [設定の保存](#)

1	メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します(日本語入力が可能です)。
2	メーリングメールアドレス	メーリングリストのメールアドレスが表示されています。 メーリングリストのアドレスは変更できません。変更したい場合には、新規登録を行ってください。
3	管理用アドレスの転送先	管理用メールアドレスに送られたメールを転送する、ご利用のドメイン内の実メールアドレスです。 ここでは、お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定してください。 メールエイリアスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。
4	インフォメーションの言語	メーリングリストに参加した際や、コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語が表示されます。
5	コマンド送信できるユーザー	メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。 コマンドの送信ができると、そのユーザーは自分でメーリングリストに参加したり、退会したりすることが可能になります。 通常は「誰でも」に設定しておき、任意にメンバーになれるようにします。 もし、メーリングリストに勝手に参加されては困る場合には、「モデレーターのみ」に設定し、管理者の承認なしには参加できないようにします。
6	投稿できるユーザー	メーリングリストに対して、メール(記事)の投稿ができるユーザーを選択します。 通常は「メンバーのみ」に設定し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。 もし、メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、「モデレーターのみ」に設定し、勝手に投稿されないようにします。
7	受信可能サイズ	メーリングリストに投稿可能なメールのサイズを KB 単位で設定します。 通常のテキストメール程度であれば、50~100 KB 程度で十分です。これは、不用意に大きなファイルを添付したメールの配信を防ぐ目的で設定されます。 最大で 1,000KB まで受信可能です。
8	[任意設定] Subjectに通し番号を付ける	このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。 例えば、メーリングリストアドレスが "abc@お客さまドメイン名" だった場合には、[abc 1] テストのようになります。
	[任意設定] コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。 オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。
	[任意設定] 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。 オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。

設定がよろしければ、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト拡張設定

拡張設定では、メッセージの編集、通し番号の編集、およびモデレーターの設定ができます。

メーリングリストの拡張設定を行います。
メッセージの編集は、編集するメッセージをリストから選択し、編集ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト名	① manual用ML <manualml@>
メッセージの編集	② confirm (登録確認) <input type="button" value="編集"/>
通し番号の編集	③ <input type="button" value="編集"/>
モデレーターの編集	④ <input type="button" value="編集"/>

1	メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前とメーリングリストのアドレスが表示されます。
2	メッセージの編集	ユーザーが、メーリングリストにコマンドを送信した場合に返信されるメールのメッセージです。 編集をするメッセージを選択し、[編集]ボタンをクリックするとメッセージ編集画面に進みます。 各メッセージの説明は以下の通りです。
	objective	メーリングリストの話題の中心になる、メーリングリストの目的を記述します。
	confirm	ユーザーが参加を希望する場合に、本当に参加するのかどうかを確認するためのメッセージです。 fml では、セキュリティの都合上、一度 subscribe コマンドを送信しても、即座にはメンバーになりません。 再度ユーザーの参加意志を確認します。
	guide	メーリングリストの簡単な案内を記述します。
	help	メーリングリストのコマンドリファレンス等のヘルプを記述します。通常はデフォルトのまま使用します。
	welcome	ユーザーがメーリングリストに参加した際に送信される歓迎の文章を記述します。
	deny	ユーザーが、メーリングリストのメンバーでなく、コマンドや投稿が拒否された場合に返すエラーの文章を記述します。
3	通し番号の編集	メーリングリストの基本設定で、[Subject: に通し番号を付ける]を設定している場合に有効です。 メーリングリストにメールが投稿される度に1が加算されていきます。 この数値を任意に編集することが可能です。[通し番号の編集]の[編集]ボタンをクリックすると編集画面へ進みます。
4	モデレーターの編集	メーリングリストの基本設定で、[コマンド送信できるユーザー]または[投稿できるユーザー]に [モデレーターのみ]を選択した場合設定する必要があります。 送信されたコマンドおよび投稿されたメールはモデレーターへ送信され、承認した場合のみ処理されます。 [モデレーターの編集]の[編集]ボタンをクリックすると、モデレーターの編集画面へ進みます。

メーリングリスト メンバー編集

メンバーの登録や削除や出力を行う画面です。

フォーム上でメーリングリストのメンバーを追加、削除、修正することができます。
また、CSVファイルにより、大量のメンバーを登録することもできます。
フォーム、およびCSVファイルには1行にeメールアドレスを1つ入力してください。

メーリングリスト名 ① manual用ML <manualml@>

② フォームに直接入力

登録メンバー

③ CSVファイルをインポート
メンバーを追加しない場合、既に設定されているメンバーは削除されます。
参照... ファイルが選択されていません。

設定済みのメンバーに追加する

新規メンバーに welcome メールを送信する ④

リセット 設定の保存

登録済みの全メンバーをファイルに出力します。

ファイル出力 ⑤ 出力開始

1	メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前とメーリングリストのアドレスが表示されます。
2	[登録メンバー] フォームに直接入力	枠内にメーリングリストに登録したいメンバーのメールアドレスを直接入力していきます。 改行で2件目移行を入力してください。
3	[登録メンバー] CSVファイルをインポート	メールアドレスの一覧をCSVファイルにて一括でインポートすることができます。 [設定済みのメンバーに追加する]にチェックを入れていない場合、メールアドレスが上書きされてしまい、 すでに設定されているメンバーは削除されてしまいますのでご注意ください。
4	新規メンバーに welcome メールを送信する	チェックが入っている場合、新規に追加されたメンバーのメールアドレスに、 メーリングリストメールアドレスから welcome メールが配信されます。
	ファイル出力	[出力開始]ボタンをクリックすると、登録されているメンバーのメールアドレスのリストを 出力することができます。

4. 【必須】データベース (MySQL) の移行について

恐れ入りますが、**データベースの移行は行われておりません。**

そのため、お手数ではございますが**お客さまにてデータベースの移行を行っていただきますよう**、お願いいたします。

なお、**データベースをご利用されていない場合は本項目の作業は不要**です。

※下記の [STEP2](#) の箇所ですべてデータベース情報が表示されない場合、データベースはご利用されておりません。

[MySQL データ移行]ツールにて現行データベースの `mysqldump` を実行し、ダンプした MySQL データを新データベースにインポートします。

データ移行は、データベース単位で行いますため、複数の MySQL を運用されている場合には、都度[MySQL データ移行]ツールにて新サーバーへの移行を行っていただきますよう、お願いいたします。

※MovableType や WordPress、EC-CUBE などのアプリケーションをご利用のお客さまは、別途作業が必要なため [6-2. MovableType の移行について](#)以降の項目もご確認ください。

4-1. 【必須】データベースの移行方法

現行データベース情報の確認

移行ツールを使用する際に、現行のデータベース情報の確認をお願いいたします。

下記の手順にてデータベース情報のご確認ください。

移行に確認が必要な情報	お客さまがご確認された情報のお控え欄
1 データベース名	
2 データベースサーバー名	
3 データベースユーザー名	
4 パスワード	

STEP1 [CONTROL PANEL](#) にログインし、[追加サービス]項目の[データベース]をクリックします。

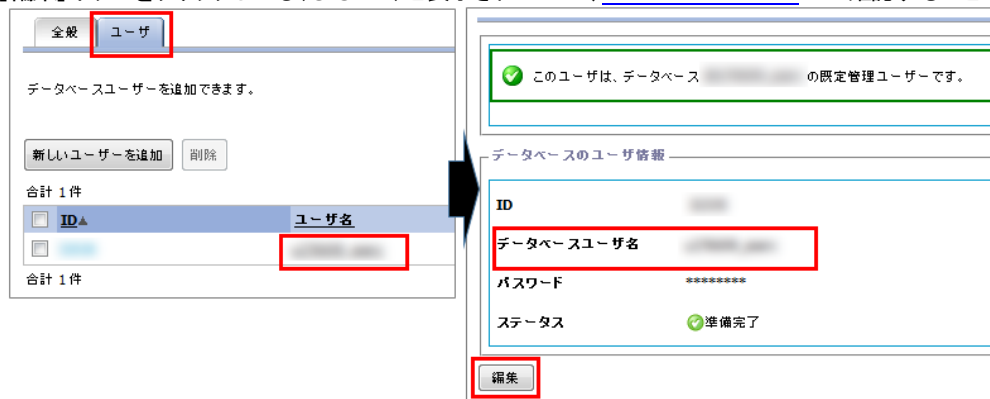


STEP2 確認したいデータベース名称をクリックすると、データベース名、データベースサーバー名が表示されますので、控えておいてください。



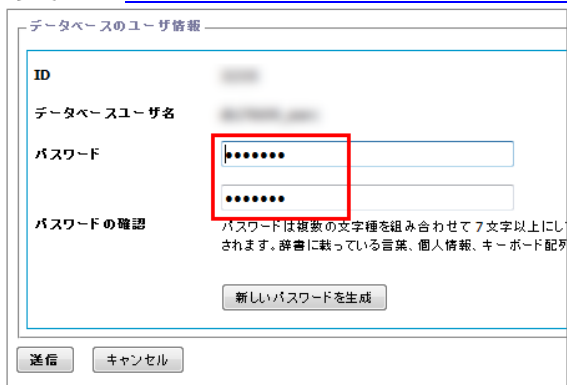
STEP3 次に、[ユーザ]タブから、データベースユーザ一名をクリックすると、データベースユーザ一名が表示されます。
 ※パスワードの表示はマスキング(*****)での表示となっております。

[編集]ボタンをクリックしても(●●●●)と表示されていて、[CONTROL PANEL](#)上で確認することはできません。



パスワードの変更は可能ですが、各種アプリケーション (WordPress、MovableType、EC-CUBE など) や他との連携でデータベース情報を設定している場合、パスワードを変更してしまうと、影響が出てしまうため、ご変更される際には十分にご注意ください。

参考 FAQ: [CONTROL PANEL からデータベースのパスワードの確認はできますか？](#)



なお、CMS の設定ファイル (mt-config.cgi や wp-config.php) 内にデータベース情報の記載がございますので、FTP ソフトにてサーバーに接続のうえ、ファイルをダウンロードしてご確認ください。

参考 FAQ: [CONTROL PANEL からデータベースのパスワードの確認はできますか？](#)

MySQL の移行手順

STEP1 [PlanManager](#) にログイン後、[マイグレーション]メニューの[MySQL データ移行]をクリックします。
 [データベース名を入力]にチェックを入れて、移行させたいデータベース名を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

[——現行データベースを選択してください——]のプルダウンから旧サーバーにある MySQL のデータベース名が表示されている場合には、データベース名を選択後、[次へ]ボタンをクリックします。



STEP2 [現行データベース情報の確認]にて控えたデータベース情報を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。
 ※下図の①②③④は、[現行データベース情報の確認](#) で確認した各項目と一致しているかご確認ください。

STEP3 移行開始前に確認画面が表示されますので、ご確認のうえ[実行]ボタンをクリックします。

STEP4 新データベース情報が表示されますので、控えておいてください。
 ※次の手順でもご確認いただけます。

STEP5 上記の画面にて[OK]ボタンをクリックすると、移行状況の確認ができます。

※移行するデータベースの容量により、お時間を要する場合がございます。



MySQLデータ移行

MySQLデータ移行処理の結果が表示されます。

移行元データベース名	処理開始時刻	処理終了時刻	処理結果
XXXXXXXXXX-XXXX	201x/xx/xx 10:00:00	201x/xx/xx 10:01:59	成功

OK

※エラーが表示された場合の対応については、[こちら](#)をご確認ください。

STEP6 移行されたデータベースは、[データベース情報]メニューからもご確認いただけます。

新サーバーでは、**データベース名とデータベースユーザー名は同じ名称**となります。

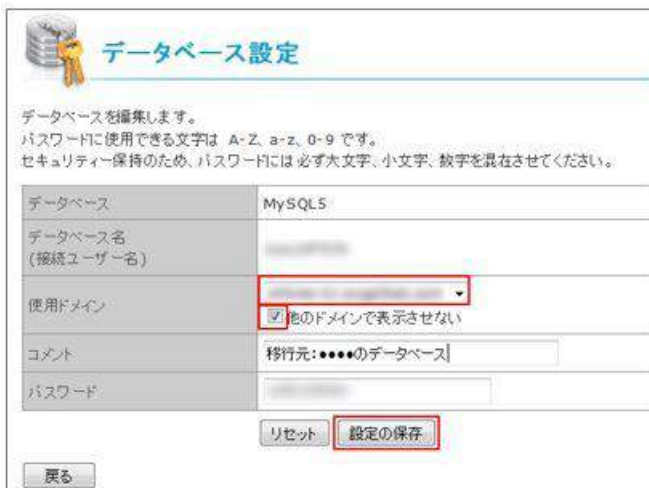
コメント欄に現行データベースサーバー名が表示されています。



STEP7 [編集]ボタンをクリックし、[使用ドメイン]欄にてドメイン名を指定し、[他のドメインで表示させない]にチェックを入れます。

また、この画面にてパスワードの確認やコメントを入れることができます。

選択や入力完了したら[設定の保存]ボタンをクリックします。



データベース設定

データベースを編集します。
パスワードに使用できる文字は、A-Z、a-z、0-9 です。
セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。

データベース	MySQL5
データベース名 (接続ユーザー名)	
使用ドメイン	<input checked="" type="checkbox"/> 他のドメインで表示させない
コメント	移行元:●●●●のデータベース
パスワード	

リセット 設定の保存

戻る

■エラーとなってしまった場合

誠に恐れ入りますが、MySQL データ移行ツールを実行された後にエラーとなる場合がございます。

お手数ではございますが、ご確認のうえ再度お試しくださいよう、お願いいたします。

・事例1 [新規データベース作成に失敗しました。]と表示された場合

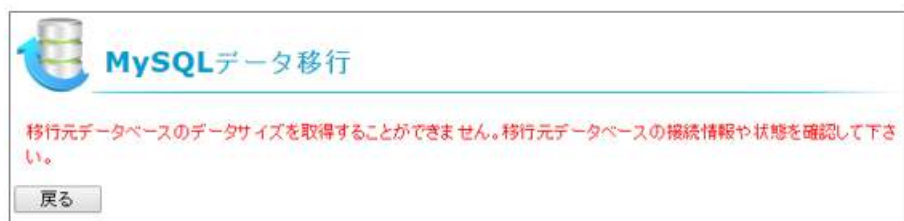
多くのお客さまがご利用されてサーバーの負荷が高まっているためにエラーとなった可能性があります。誠に恐れ入りますが、数時間経過後に再度お試しくださいよう、お願いいたします。
※夕方以降の場合、平日午前に比べてエラーが少ない状況です。



・事例2 [移行先データベースのデータサイズを取得することができません。……]と表示された場合

[STEP2](#) で入力された移行元のデータベースの情報に誤りがある可能性があります。お手数ですが、あらためて移行元のデータベース情報をご確認のうえ、移行をお試しください。

また、上記の事例1と同様にサーバーの負荷が高まっている場合もございますため、ご入力された情報にお間違いがない場合には、数時間お時間を置いたのちに移行をお試しくださいよう、お願いいたします。



4-2 移行後のデータベース情報の記述について

WordPress などの CMS を移行された場合で、ウェブコンテンツ移行ツールをご利用された場合、CMS の設定ファイル内のデータベース情報は新サーバーのデータベース情報に差替えられています。

【一例】 WordPress の場合、wp-config.php ファイル内のデータベース情報部分が変更されています。

念のため、wp-config.php ファイルのデータベース情報部分と [PlanManager](#) のデータベース情報をご確認ください。ファイルの確認は、[PlanManager](#) の [ファイルマネージャ機能](#) の [【編集】](#) 機能にてご確認いただけます。

```

/** WordPress のためのデータベース名 */
define('DB_NAME', ' '); ①

/** MySQL データベースのユーザー名 */
define('DB_USER', ' '); ①

/** MySQL データベースのパスワード */
define('DB_PASSWORD', ' '); ②

/** MySQL のホスト名 */
define('DB_HOST', ' '. ③ '.net:'. ④ ');

```

データ	データベースサーバー	ポート番号	データベース名(接続ユーザー名)	DBManager
ベース	使用ドメイン	専用	コメント	編集
MySQL5	③net	④	①	DBManager 編集 ②

1	データベース名 ユーザー名	データベース名(接続ユーザー名)をご記入ください。 ※データベース名とユーザー名は同じです。
2	パスワード	移行時に設定したものを記載します。 お忘れになった場合には、[編集]ボタンからご確認いただけます。
3, 4	MySQL のホスト名	データベースサーバー名:ポート番号 ご記入ください。

4-3.新規データベースの作成

新サーバーでは、データベースのご利用が可能です。

ご希望の場合には、お手数ではございますが、アカウントマネージャーから無料データベースの申込みいただき、オプションの申込み手続きが完了しましたら、[PlanManager](#) からデータベースの設定を行っていただきますよう、お願いいたします。

4-3-1.アカウントマネージャーからデータベースオプションのお申込み方法

STEP1 アカウントマネージャーへログインし[契約一覧]メニューをクリックし、対象契約の[詳細]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a navigation menu on the left with '契約一覧' highlighted. An arrow points to a table of contracts. The table has columns for '詳細', 'ステータス', and '契約内容'. The first row is highlighted, and its '詳細' button is also highlighted.

詳細	ステータス	契約内容
契約1		
詳細	利用中	[P] INP-01(IC) 移行日: [REDACTED]
詳細	利用中	[D](主) [REDACTED]

STEP2 [オプション追加・解約]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '基本契約内容' section with fields for '契約番号', '利用ドメイン名', 'プラン', '契約期間', '利用開始日', '次回更新日', and '支払い方法'. Below this is the '利用中オプション' section with a table of active options. The 'オプション追加・解約' button is highlighted.

オプション	個数	コメント	機能

STEP3 [無料データベース(MySQL)]左側にチェックを入れ、画面下部の[次のステップへ進む]をクリックします。

The screenshot shows the '追加を希望するオプション' section. The '無料データベース(MySQL)' option is checked. Below the options are two buttons: '前のステップへ戻る' and '次のステップへ進む', with the latter being highlighted.

STEP4 ご希望の支払い方法を選択します。

※無料の場合も表示されますが、費用は発生いたしません。

STEP5 お申込み内容をご確認のうえ[利用約款を確認する]をクリックします。

STEP6 利用約款を確認のうえ[申込みを確定する]ボタンをクリックします。

STEP7 最後に申込み完了画面が表示されれば、お手続き完了です。

STEP8 オプション申込み完了次第、即時設定作業を開始いたします。

オプション設定完了次第、ご登録メールアドレス宛にご連絡いたします。

※オプション設定にかかる日数は1から2営業日です。

4-3-2. PlanManager 上でのデータベース設定方法

データベースのお申込み完了後に、[新規データベースを作成]のボタンが表示されますので設定を行います。

STEP1 [新規データベースを作成]をクリックします。



STEP2 各項目を入力後、[作成]ボタンをクリックします。

データベース	データベースの種類が表示されます。
使用ドメイン	プルダウンから対象ドメイン名を選択します。
コメント	省略可能ですが、用途などを記載することが可能です。
パスワード	データベースのパスワードを設定します。 ※WordPressなどのCMSの設定時に必要となりますので、控えておいてください。

STEP3 設定が完了したらデータベース情報が表示されますので、[OK]をクリックします。

STEP4 一覧に、追加設定したデータベースが表示されます。

4-4. phpMyAdmin のインストール方法

恐れ入りますが、新サーバーには phpMyAdmin が標準搭載されておりませんため、必要に応じてインストールのうえご利用くださいますよう、お願いいたします。

なお、iCLUSTA シリーズの MySQL オプションで提供している[MySQL 5.1.47]との兼ね合いから、本ガイドでご案内いたします **phpMyAdmin のバージョンは最新版ではない、「phpMyAdmin 4.0.10」**でございます。

「phpMyAdmin 4.0.10」については提供元にて**セキュリティサポートの期限が2017年4月1日まで**と公表されており、その後脆弱性が発見された場合でも対応されないため、**DBManager のご利用もご検討**くださいますよう、お願いいたします。

※**DBManager のご利用方法**についてもガイドをご用意しております。

※phpMyAdmin のインストールにかかるお時間は、データベース情報の事前確認や FTP ソフトの設定も含めて おおよそ1時間～2時間ほどとなります。

STEP1 事前準備 [PlanManager](#) に[契約者アカウント]または[ドメイン管理者権限のアカウント]でログインし、データベース情報を控えておきます。



番号	必要項目	お客様の情報をご記入ください
1	データベースサーバー名	
2	ポート番号	
3	接続ユーザー名	
4	パスワード(編集ボタンをクリック)	

[編集]ボタンをクリックすると、一番下に[パスワード]が表示されております。

STEP2 phpMyAdmin のダウンロード

phpMyAdmin のサイトから phpMyAdmin4.0.10.x をダウンロードします。

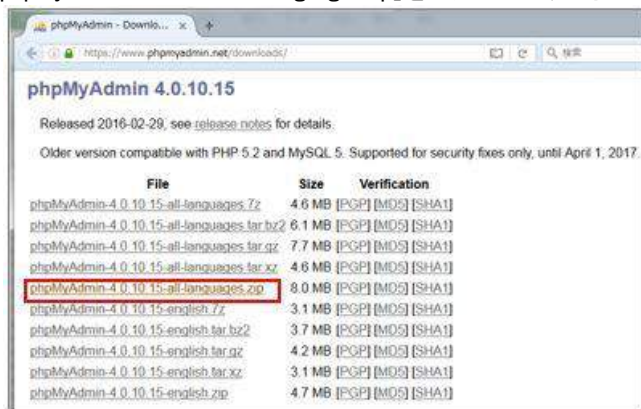
<https://www.phpmyadmin.net/downloads/>

サイトが表示されたら、下へスクロールすると下記の画面が表示されます。

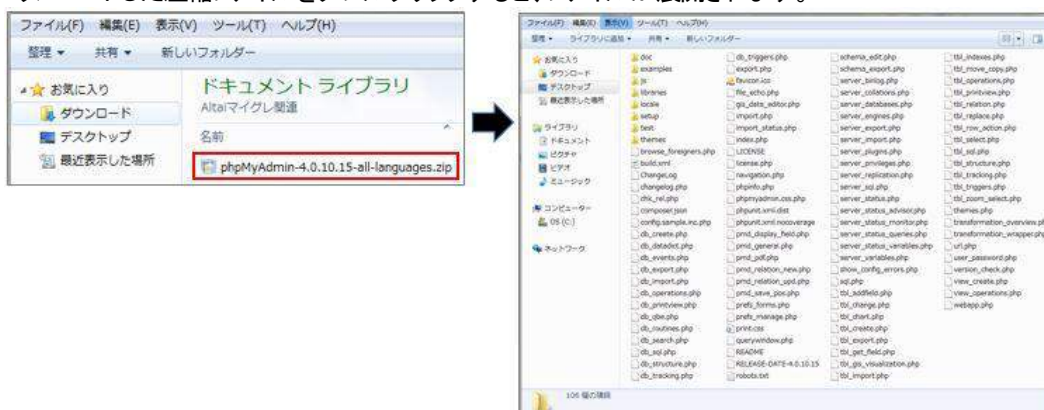
※本ガイドでは、[phpMyAdmin-4.0.10.17-all-languages.zip]をダウンロードして設定する手順をご案内いたします。

※17 部分は更新 phpMyAdmin の運営によりバージョンが変更となり、2016 年 9 月 26 日現在の情報となります。

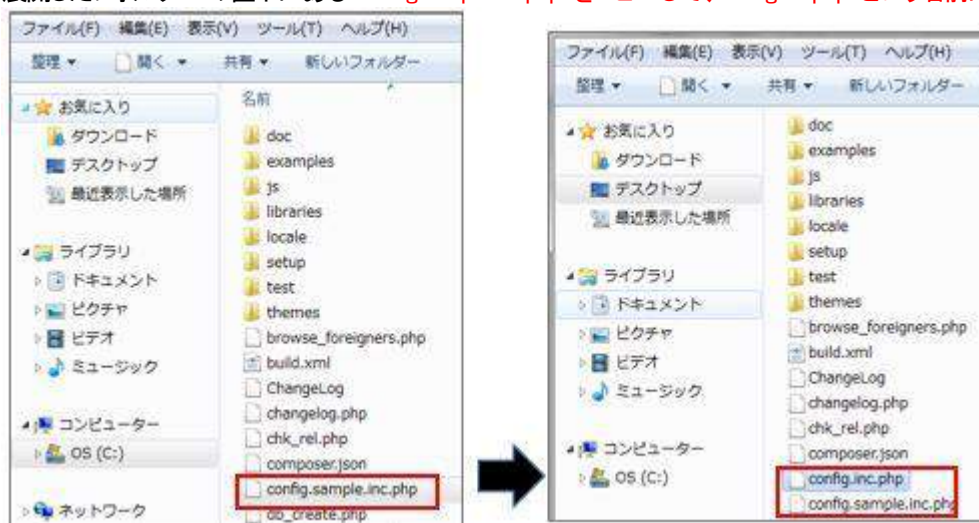
[phpMyAdmin-4.0.10.17-all-languages.zip]をクリックして、お手元の PC へファイルをダウンロードします。



ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックすると、ファイルが展開されます。

**STEP3 ベースとなるファイルの作成**

展開したフォルダーの直下にある `config.sample.inc.php` をコピーして、`config.inc.php` という名前に変更します。



TeraPad などの改行コード LF を扱えるテキストエディタで config.inc.php を開き記述を変更します。

※複数のデータベースで phpMyAdmin を利用したい場合には、「[複数のデータベースで利用したい場合](#)」をご参照ください。

- 17 行目の ' ' で囲まれた部分に、推測できない**任意の文字の羅列**を指定します。
- 31 行名の 'localhost' 部分を、[STEP1](#) で確認した**データベースサーバー名**に変更します。
- 31 行目の下に**下記の記述を 1 行追加**します。

```
$cfg['Servers'][$i]['port'] = 'XXXXX';
```

XXXXX 部分を [STEP1](#) で確認した**データベースのポート番号**に変更します。

```

1 <?php
2 /* vim: set expandtab sw=4 ts=4 sts=4: */
3 /**
4  * phpMyAdmin sample configuration, you can use it as base for
5  * manual configuration. For easier setup you can use setup/
6  *
7  * All directives are explained in documentation in the doc/ folder
8  * or at <http://docs.phpmyadmin.net/>.
9  */
10 * @package PhpMyAdmin
11 */
12
13
14 * This is needed for cookie based authentication to encrypt pas
15 *
16 *
17 $cfg['blowfish_secret'] = 'a8b7c6d' /* YOU MUST FILL IN THIS PH
18
19
20 * Servers configuration
21 */
22 $i = 0;
23
24
25 * First server
26 */
27 $i++;
28
29 /* Authentication type */
30 $cfg['Servers'][$i]['auth_type'] = 'cookie';
31
32 /* Server parameters */
33 $cfg['Servers'][$i]['host'] = 'localhost';
34 $cfg['Servers'][$i]['connect_type'] = 'tcp';
35 $cfg['Servers'][$i]['compress'] = false;
36
37 /* Select mysql if your server does not have mysqli */
38 $cfg['Servers'][$i]['extension'] = 'mysqli';
39 $cfg['Servers'][$i]['AllowNoPassword'] = false;

```

編集が終わったら保存して閉じます。

STEP4 サーバーへのアップロード

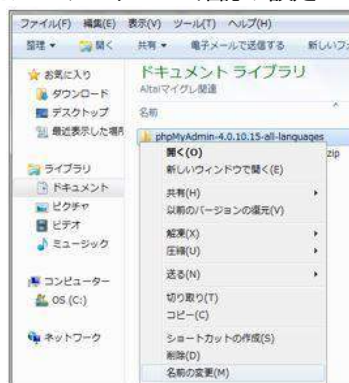
展開した時のフォルダー名[phpMyAdmin-4.0.10.15-all-languages]をログイン時の URL に使用するため、不正アクセスされにくい、推測されにくい**任意の名称**にご変更ください。

編集が終わって保存したファイルを含む、展開した phpMyAdmin フォルダーごと FTP ソフトを用いて**ウェブ領域**にアップロードします。

※ウェブ領域: FTP 接続する際の権限が[ドメイン管理者権限]の場合には、/www.ドメイン名/の配下

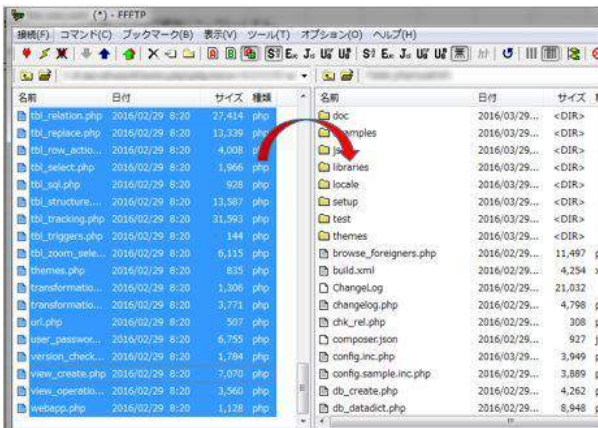
FTP 接続する際の権限が[サイト管理者権限]の場合には、/の配下 となります。

※FTP アカウントの確認や設定につきましては、「[5-2.FTP アカウントの各種情報の確認方法](#)」にてご確認をお願いいたします。



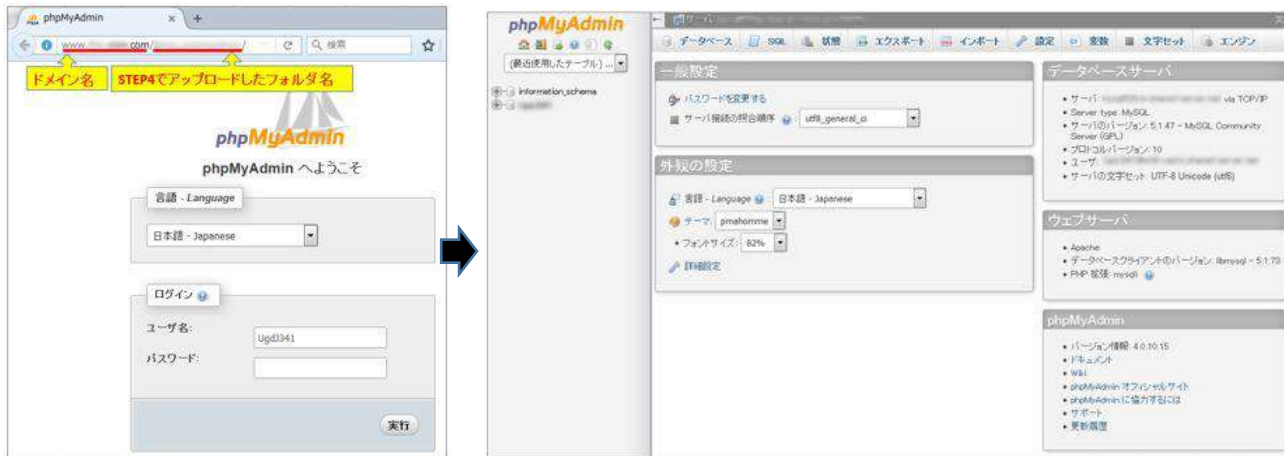
FTP ソフトからサーバーにアップロードします。

※アップロードには数分(5 分ほど)かかる場合もございます。




STEP5 phpMyAdmin へのログイン

ブラウザで `http://<ドメイン>/<STEP4で指定したフォルダ名>/` にアクセスすると phpMyAdmin ログイン画面が表示されます。
STEP1で確認した、接続ユーザー名とパスワードを入力し、[実行]ボタンをクリックすると接続できます。



※ログイン後に、[mcrypt 拡張がありません。PHP の設定をチェックしてみてください。] と表示されますが、ご利用に支障はございません。

 mcrypt 拡張がありません。PHP の設定をチェックしてみてください。

複数のデータベースで利用したい場合

TeraPad などの改行コード LF を扱えるテキストエディタで config.inc.php を開き記述を変更します。

- 17 行目の ' ' で囲まれた部分に、推測できない**任意の文字の羅列**を指定します。
- 31 行名の 'localhost' 部分を、**データベースサーバー名**に変更します。
- 31 行目の下に下記の記述を **1 行追加**します。

```
$cfg['Servers'][$i]['port'] = 'XXXXX';
```

XXXXX 部分を **データベースのポート番号**に変更します。

1. 37 行目の下で改行を 2 回し、27 行目から 37 行目をコピーして 40 行目に貼り付けます。
2. 40 行目に //2 つ目のデータベース など任意で名称を入れます。
3. 44 行目と 45 行目のデータベースサーバー名およびポート番号欄を **2 つ目のデータベースサーバー名とポート番号**に差替えます。

編集が終わったら保存して閉じます。

上記の [STEP4](#) に進みます。

4-5. DBManager のご利用方法

DBManager は、Web ブラウザを使って、データベースを管理できる機能です。

[PlanManager](#) に契約者またはドメイン管理者アカウントでログイン後、[ユーティリティ]内の[DBManager(MySQL)]をクリックすると、ログイン画面が表示されます。

※ログイン情報がご不明な場合には、[データベース設定]メニューにてご確認いただけます。



ログインに成功すると下記の画面が表示されます。



DBManager 内のメニューの詳細につきましては、FAQ サイトに操作方法を掲載しております。

パスワード設定	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2444/
テーブル作成	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2445/
テーブル削除	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2446/
テーブル初期化	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2447/
データ入力	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2448/
レコード一覧	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2449/
レコードの検索(簡易)	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2450/
レコードの検索(上級)	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2451/
import 処理	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2452/
export 処理	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2453/
テーブルの最適化	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2454/
database のバックアップ	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2441/
database のリストア	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2442/
database の初期化	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2455/
SQL の発行	http://help.gmocloud.com/app/answers/detail/a_id/2456/

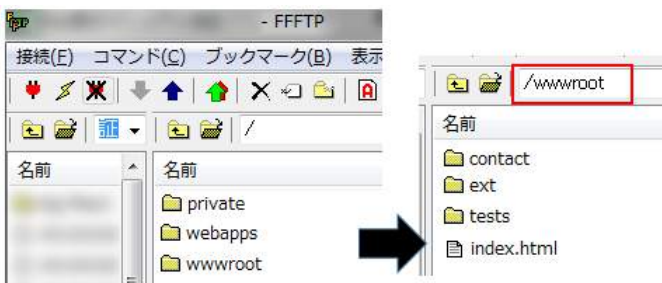
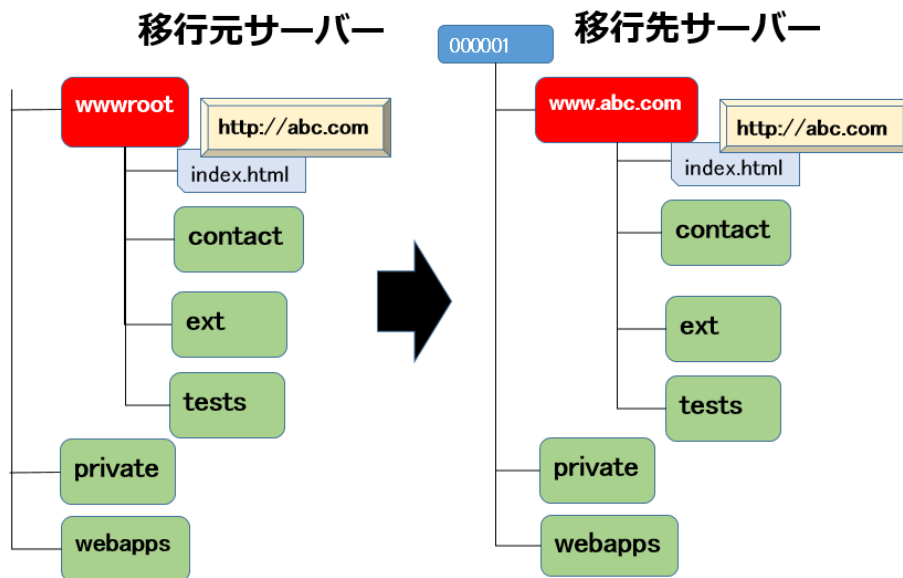
5. 【必須】ウェブコンテンツの移行について

各コンテンツなどのディレクトリおよびファイルを移行する際、旧サーバーにて設定していたドキュメントルートのパスによって、新サーバーでのディレクトリの配置が異なります。

【1階層】ドキュメントルートが、/wwwroot/ の場合

ドキュメントルート配下のディレクトリおよびファイルがそのまま **www.ドメイン名/** 配下に移行されます。

/wwwroot/ と並列のディレクトリ(private、webapps)は、ドキュメントルートと並列に移行されます。



The screenshot shows the PLAN MANAGER web interface. The left sidebar contains navigation options like 'インフォメーション', 'ユーザー管理', 'メールコントロール', 'ウェブコントロール', and 'ユーティリティ'. The main content area shows the 'ファイルマネージャ' (File Manager) for the source server, displaying a list of directories and files.

選択	名前	操作	モード
	上の階層へ		
	private		755
	webapps		755
	www.abc.com		755

The screenshot shows the PLAN MANAGER web interface for the destination server. The file manager displays a list of directories and files under the path 'http://abc.com/www.abc.com'.

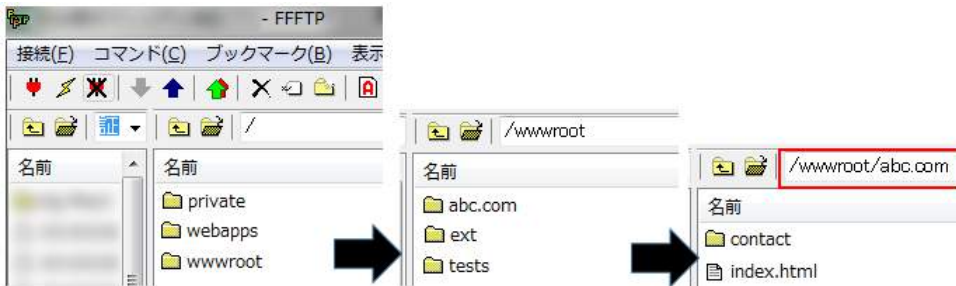
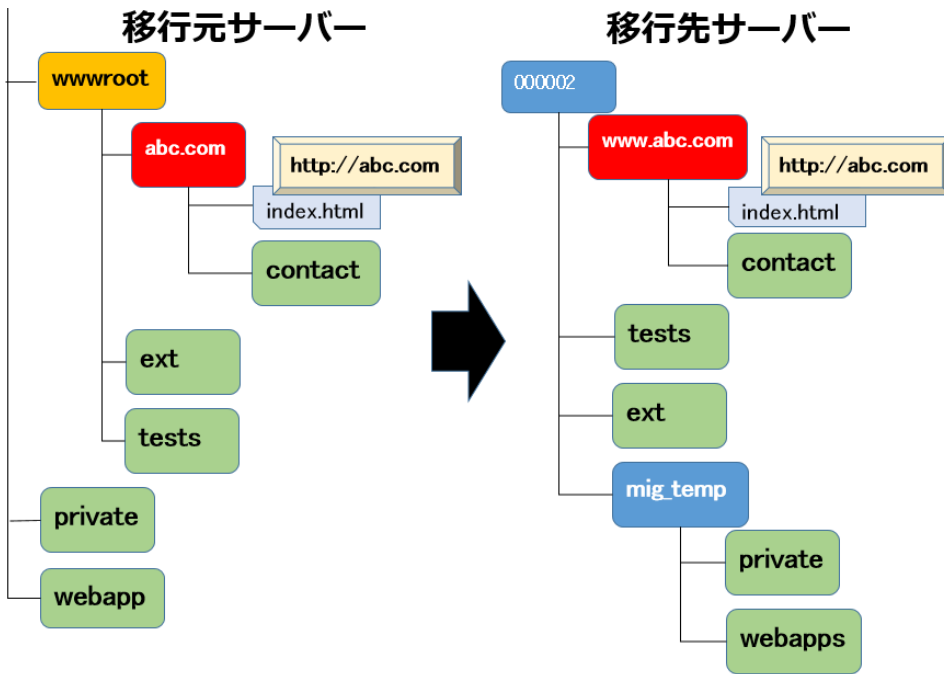
選択	名前	操作	モード	サイズ
	上の階層へ			
	_cgidata			755
	contact			755
	ext			755
	tests			755
<input type="checkbox"/>	index.html			644

【2階層】 ドキュメントルートが、/wwwroot/abc.com/ の場合

ドキュメントルート配下のディレクトリーおよびファイルがそのまま www.ドメイン名/配下に移行されます。

ドキュメントルートと並列にあるディレクトリーおよびファイルは、そのまま並列で移行されます。

wwwroot/と並列のディレクトリー (private、webapps) は、ドキュメントルートと並列に「mig_temp」ディレクトリーが新設され、その配下に移行されます。



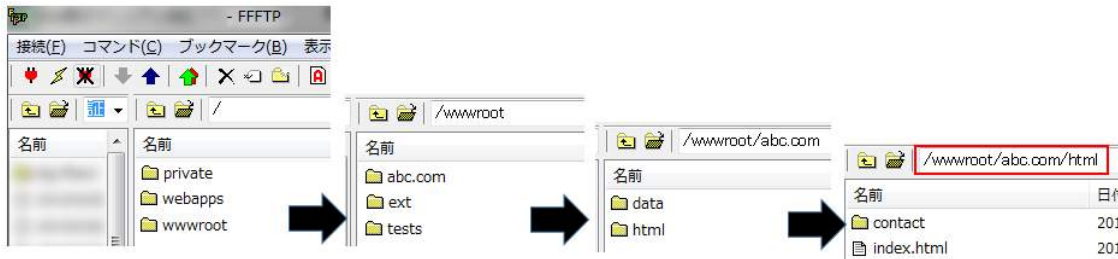
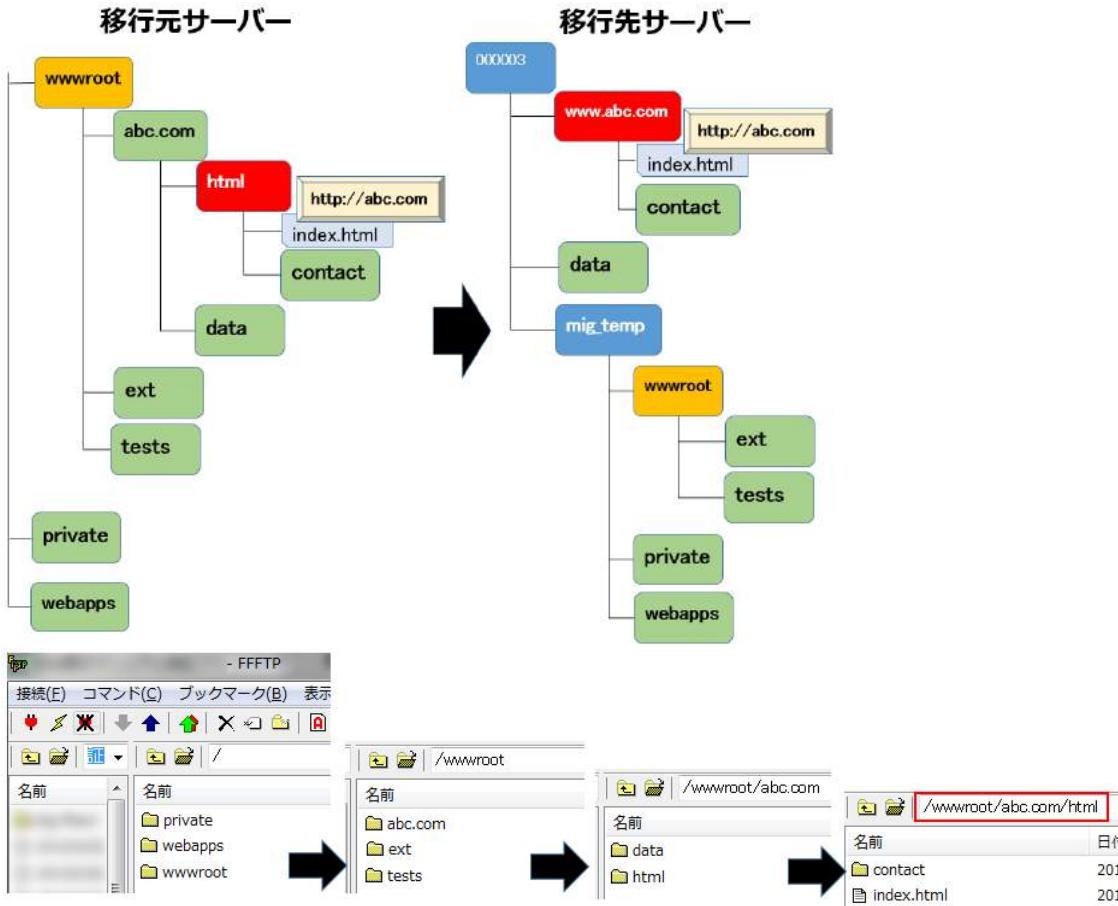
【3 階層】 ドキュメントルートが、/wwwroot/abc.com/html/ の場合

ドキュメントルート配下のディレクトリーおよびファイルがそのまま www.ドメイン名/配下に移行されます。

ドキュメントルートと並列にあるディレクトリーおよびファイルは、そのまま並列で移行されます。

wwwroot/と並列のディレクトリー(private、webapps)は、ドキュメントルートと並列に「mig_temp」ディレクトリーが新設され、その配下に移行されます。

wwwroot/配下のディレクトリー(private、webapps)は、ドキュメントルートと並列に新設された「mig_temp」ディレクトリー配下に「wwwroot」ディレクトリーが移行され、その配下に移行されます。



5-1.【必須】ウェブコンテンツ移行ツールのご利用方法

データベースご利用の場合に限り、「[4.【必須】データベース\(MYSQL\)の移行について](#)」の作業を先に行ってからウェブコンテンツ移行を行ってください。

ご注意: ファイル名にスペースが入っているものや、文字化けしているファイル名は、移行時にエラーとなってしまうため、お手数ですが、**移行前にファイル名をご変更ください**ますよう、お願いいたします。(こちらをご参照ください。)

サーバー設定完了通知が届いた時点では、ウェブコンテンツの移行は弊社にて行っておりますが、差分が発生いたします。そのため、お手数ですが、**MySQL データ移行後にお客さまにてコンテンツの移行を行っていただきますよう**、お願いいたします。本ツールでは、**1ファイルあたり2GB未滿のファイルのみ**移行を行います。2GB以上のファイルにつきましては、お手数ですがFTPソフトにて新サーバーへ移行を行っていただきますよう、お願いいたします。

なお、新サーバーでの文字化け対策として、本ツールを使用して移行されたデータの文字コードは、**UTF-8 から EUC-JP へ変換されるよう、設定されております。**

ウェブコンテンツデータの移行手順

STEP1 [PlanManager](#) にログイン後、[マイグレーション]メニューの[ウェブコンテンツデータ移行]をクリックします。移行対象のドメイン名が表示されていますので、チェックが入っていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



STEP2 確認画面が表示されますので、[実行]ボタンをクリックします。**ファイル数や容量により、移行完了までの時間は異なります。**また、非常に多数のお客さまがご利用のため、移行完了までに丸1日以上必要な場合もございますこと、ご了承ください。※[実行]ボタンをクリック後に PlanManager をログアウトしても作業が停止することはありません。



STEP3 ウェブコンテンツの移行がスケジュールされたことを示す画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



STEP4 移行開始時間欄に日時が表示され、処理状態は[処理中]と表示されます。
また、詳細欄には[移行対象ウェブサイトの情報取得を完了しました。]と表示されます。

The screenshot shows the 'PLAN MANAGER' interface with a sidebar on the left containing navigation items like 'インフォメーション', 'ユーザー管理', 'メールコントロール', etc. The main content area is titled 'ウェブコンテンツ移行' (Web Content Migration). It contains several paragraphs of instructions and a table with the following data:

移行ウェブサイト	移行開始時刻	移行終了時刻	処理状態
www.ドメイン名	2016/...	-	処理中

Below the table, there is a '更新' (Refresh) button.

※この STEP 以降、適宜 [更新] ボタンをクリックして進捗をご確認ください。

STEP5 詳細欄が[コンテンツのアップロードを開始しました。]と表示が変更されますが、まだ処理中となります。

移行ウェブサイト	移行開始時刻	移行終了時刻	処理状態
www.ドメイン名	2016/...	-	処理中

The detailed view shows the message: 'コンテンツのアップロードを開始しました。' (Started uploading content). A '更新' (Refresh) button is visible below the table.

STEP6 [更新] ボタンをクリックして、下記の画面のように[移行終了時間]と[処理状態]が表示されたら移行完了となります。

移行ウェブサイト	移行開始時刻	移行終了時刻	処理状態
www.ドメイン名	2016/...	2016/...	処理完了

The detailed view shows the message: '移行が完了しました。' (Migration completed). A '更新' (Refresh) button is visible below the table.

※なお、[処理状態]が[処理失敗]となった場合には、[更新]ボタンをクリックしてください。
[STEP1](#) の画面に戻りますので、お手数ですが、再度お試しください。

複数回お試しくださいでも[処理失敗]となってしまう場合には、お手数ではございますが
[Windows サービス サーバー移行特設窓口](#)までお問い合わせさせていただきますよう、お願いいたします。

移行ウェブサイト	移行開始時刻	移行終了時刻	処理状態
www.ドメイン名	2016/...	2016/...	処理失敗

The detailed view shows the message: 'コンテンツの移行処理に失敗しました。' (Migration processing failed). A '更新' (Refresh) button is visible below the table.

移行ができなかったファイル名が表示されております。

移行ウェブサイト	移行開始時刻	移行終了時刻	処理状態
www.ドメイン名	2016/...	2016/...	処理完了

The detailed view shows the message: '移行が完了しました。(移行できないファイルあり)' (Migration completed. (Some files cannot be migrated)). Below this, it says: 'この部分に、移行の際に文字化けしてしまい移行できなかったファイル名が表示されます。' (In this part, file names that were garbled during migration and could not be migrated are displayed). A red arrow points to this text.

この部分に、移行の際に文字化けして移行できなかったファイル名が表示されます。
ファイル名を半角英数字の名称にご変更のうえ、再度お試しください。
※日本語のファイル名の場合、文字化けすることがございます。

5-1-1. ファイルマネージャでのデータの確認方法

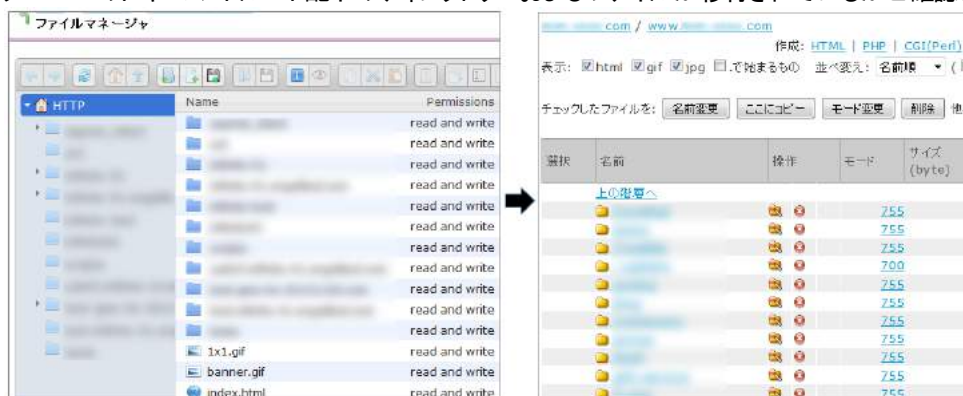
移行ツールで移行したデータは、ドキュメントルート配下に移行を行っております。
お手数ではございますが、ファイルマネージャや FTP ソフトを使用してご確認いただけますよう、お願いいたします。

新サーバーのドキュメントルートは、**www.ドメイン名** となります。
正式なパスにつきましては、本ガイドの[[1-2.新サーバーのサーバー情報の確認方法](#)]にて確認手順を掲載しております。

[PlanManager](#) にログイン後、[ファイルマネージャ]をクリックし、[www.ドメイン名]のディレクトリーをクリックします。



旧サーバーのドキュメントルート配下のディレクトリーおよびファイルが移行されているかご確認いただけます。



※旧サーバーのファイルマネージャは、[CONTROL PANEL](#) にログイン後、メニューの[ウェブサイト]から対象ドメイン名をクリックし、[ファイルマネージャ]をクリックします。



5-2. 【必須】FTP アカウント情報の確認方法

FTP 接続にてサイトの管理ができるユーザーには[サイト管理者]の権限が割り当てられています。
FTP ソフトに設定する情報の確認は以下の手順にてご確認いただけます。

5-2-1. 【必須】FTP アカウントおよび FTP サーバー情報の確認方法

[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、[サイト管理者]権限のユーザーを選択して
[切り替え]ボタンをクリックします。

選択	ユーザー名	ユーザー権限	コメント
<input type="checkbox"/>	domecan	ドメイン管理者	共用
<input checked="" type="checkbox"/>	ftp_user1	サイト管理者	FTP担当者用
<input type="checkbox"/>	admin	一般ユーザー	機密用
<input type="checkbox"/>	adminadmin	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	adminadmin0	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	manual	一般ユーザー	機密用
<input type="checkbox"/>	test1	一般ユーザー	テスト

[個別ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー情報]にて FTP アカウント名および FTP サーバーの IP アドレスの確認を行えます。

ウェブ情報	
DocumentRoot(絶対パス)	/home/ /www.
FTPアカウント	① ftp_user1@
パスワード	② お客様のログインパスワード
FTPサーバー	③ ftp. 211.
ウェブサーバー IPアドレス	211.

確認項目	注意点など	お客さまご記入欄
1 FTP アカウント	メールアドレスと同じです。	
2 パスワード	ユーザーのパスワード (パスワードの確認にてご確認いただけます。)	
3 FTP サーバー	211. で始まる IP アドレスを控えてください。	

5-2-2. 【必須】FTP アカウントのパスワード情報の確認および変更方法

FTP ソフトに設定する際に、FTP ユーザーのパスワード情報が必要です。

[PlanManager](#) にてパスワードの確認および変更が行えます。

STEP1 [ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー編集]をクリック後、FTP 接続をするサイト管理者権限のユーザーを選択して[編集]ボタンをクリックします。



The screenshot shows the Plan Manager interface. On the left, the 'ユーザー管理' (User Management) menu is expanded, and 'ユーザー編集' (User Edit) is selected. The main content area displays the 'ユーザー編集' (User Edit) page. At the top, there is a search bar and a '検索' (Search) button. Below that, a table lists users with columns for 'ユーザー名' (Username), 'ユーザー権限' (User Role), 'コメント' (Comment), and '編集' (Edit). The user 'ftp_user1' is selected, and its '編集' button is highlighted with a red box.

ユーザー名	ユーザー権限	コメント	編集
domecan	ドメイン管理者	共用	<input type="button" value="編集"/>
ftp_user1	サイト管理者	HP担当者用	<input type="button" value="編集"/>
admin	一般ユーザー	検証用	<input type="button" value="編集"/>
adminadmin	一般ユーザー		<input type="button" value="編集"/>
adminadmin0	一般ユーザー		<input type="button" value="編集"/>
manual	一般ユーザー	検証用	<input type="button" value="編集"/>

STEP2 [パスワード]項目にパスワードが表示されていますので、パスワードを控えた後は[戻る]ボタンで終了します。

※パスワードを変更する場合には、新しいパスワードを入力後に[設定の保存]ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'ユーザー編集' (User Edit) page. The 'パスワード' (Password) field is highlighted with a red box. The '戻る' (Back) button is visible at the bottom left. The page also shows fields for 'ユーザー名' (Username), 'コメント' (Comment), 'ユーザー権限' (User Role), and 'eメールアドレス' (Email Address).

5-3. FTP over SSL について

新サーバーでは、**FTP over SSL (File Transfer Protocol over SSL)**の機能を備えており、ご利用環境(PC 側)とウェブサーバー間において、SSL の暗号化で通信を行います。

5-4. 【必須】 FTP ソフトの接続方法

代表的な FTP ソフトへの設定方法をご紹介します。

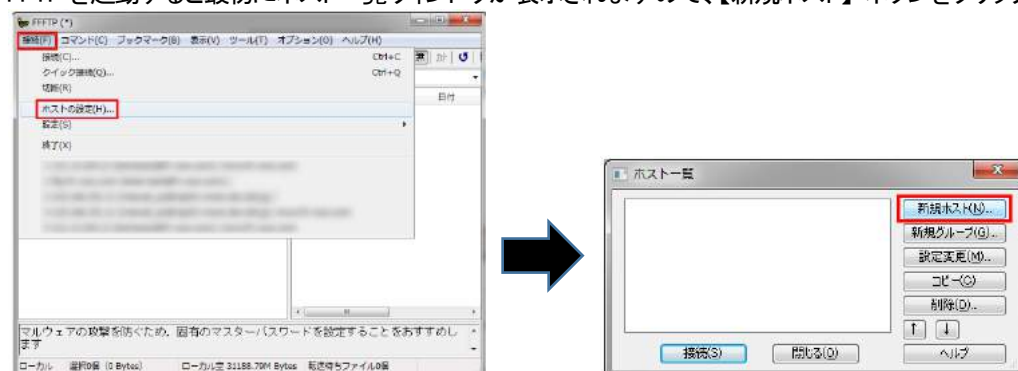
※下記の FTP ソフトのすべてを設定する必要はございません。また、お手持ちの FTP ソフトをご利用いただくことも問題ございません。

- FFFTP (FTP over SSL 機能は備えておりません。)
- FileZilla (FTP over SSL 機能は備えております。)

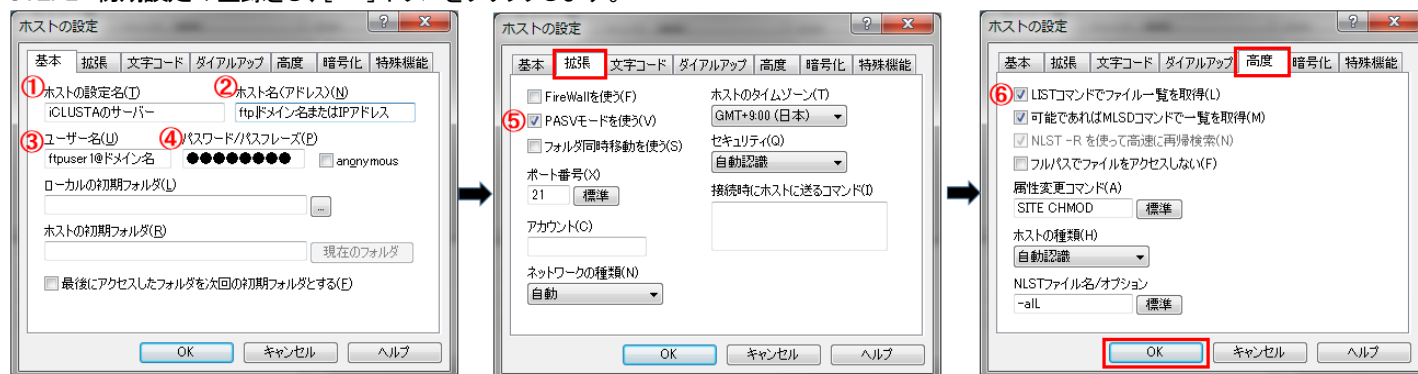
5-4-1.FFFTP の設定

STEP1 ホスト(ファイルをアップロードする場所)を登録します。

FFFTP を起動すると最初にホスト一覧ウィンドウが表示されますので、【新規ホスト】 ボタンをクリックしてください。

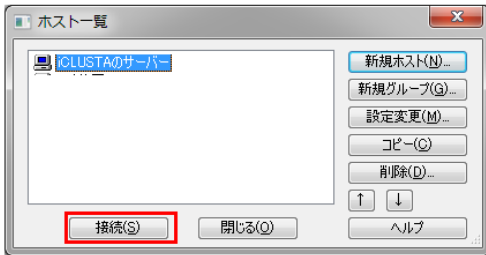


STEP2 初期設定の登録をし、[OK]ボタンをクリックします。



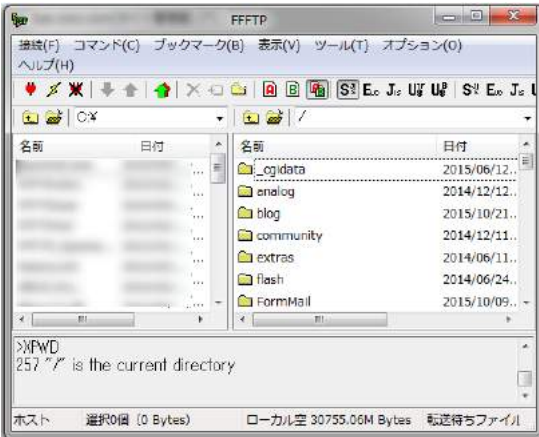
1	ホストの設定名	サーバー名など、FTP 接続する名称を入力します。(日本語入力可)
2	ホスト名(アドレス)	211. で始まる IP アドレス、または ftp.ドメイン名のどちらかを入力します。
3	ユーザー名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。
4	パスワード/パスフレーズ	上記のユーザー名のパスワードを入力します。
5	PASV モードを使う	チェックを入れてください。
6	LIST コマンドでファイル一覧を取得	チェックを入れてください。

STEP3 登録が完了しましたので、[接続]ボタンをクリックしてサーバーに接続します。

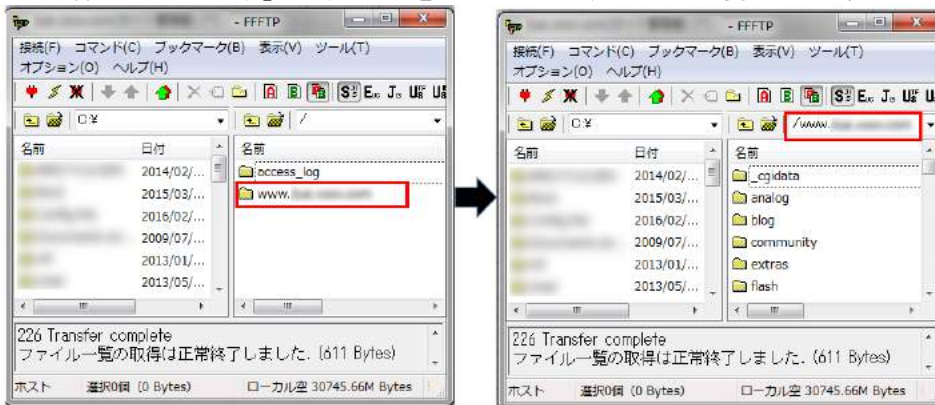


ホストへの接続に成功すると、FFFTP インターフェイスにて、左側に自分のパソコンのディレクトリー、右側にサーバー側のディレクトリーが表示されます。

「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダーの中身が表示されます。

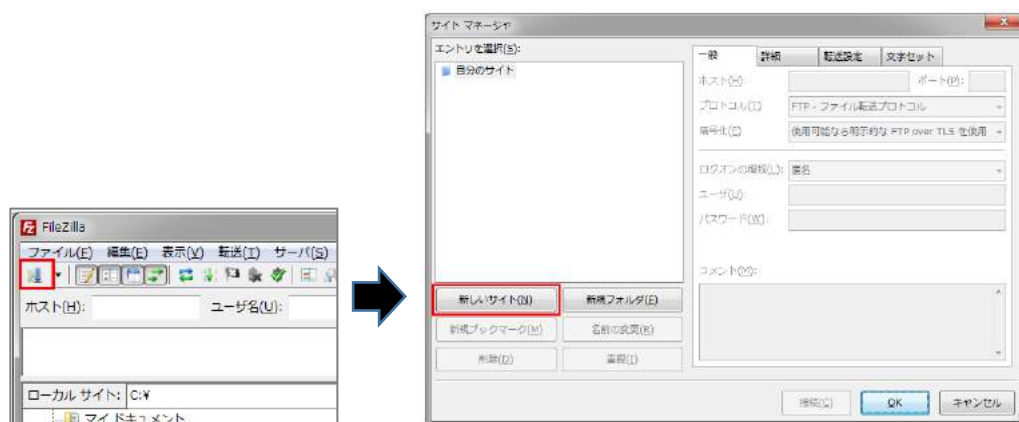


「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客様のドメイン名」というフォルダーが表示されます。ウェブコンテンツは、「www.お客様のドメイン名」のフォルダーの中にアップロードします。（「www.お客様のドメイン名」のフォルダーをダブルクリックすると下の右側の画面が表示されます。）

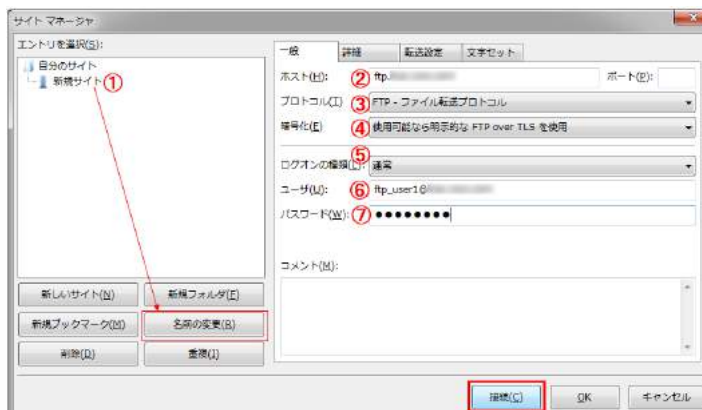


5-4-2.FileZilla の設定

STEP1 ホスト(ファイルをアップロードする場所)を登録します。FileZilla を起動し、[サイトマネージャ] をクリックします。サイトマネージャが表示されたら[新しいサイト] をクリックし、初期設定を登録します。



STEP2 各項目を入力し、入力後、[接続]ボタンをクリックして、ホストに接続します。



1	新規サイト	接続の名称を設定できます。 [名前の変更]ボタンをクリックすると変更が行えます。
2	ホスト	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等によりドメイン名で接続ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、 各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
3	プロトコル	初期値のまま(FTP-ファイル転送プロトコル)で問題ありません。
4	暗号化	あらかじめ[使用可能なら明示的な FTP over TLS を使用]が選択されています。 接続する際に自動的に FTPover SSL 接続を行います。
5	ログインの種類	[通常]を選択してください。
6	ユーザ	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager より ユーザー権限が[ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名と パスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
7	パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。

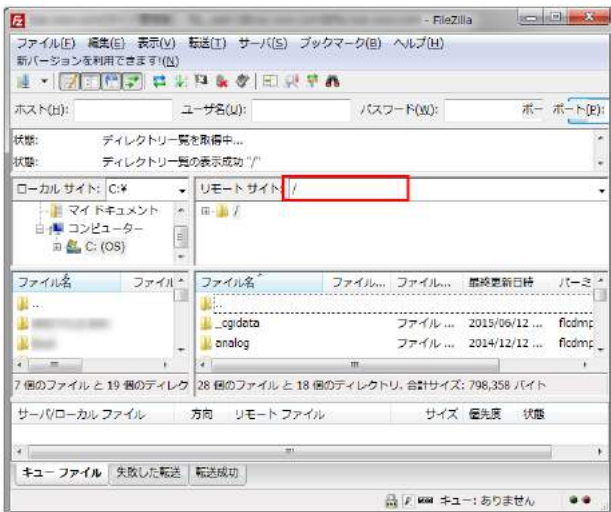
STEP3 自動的にFTP over SSL 接続になります。

[不明な証明書]と表示された場合には、「今後もこの証明書を常に信用する」にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



ホストへの接続に成功すると、FileZilla インターフェイスにて、左側に自分のパソコンのディレクトリー、右側にサーバー側のディレクトリーが表示されます。

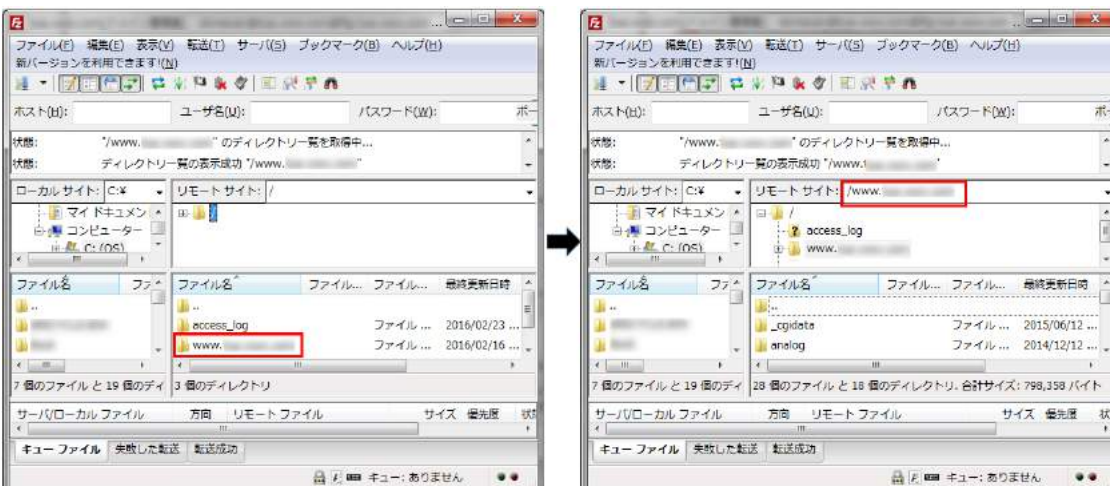
「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダーの中身が表示されます。



「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客様のドメイン名」というフォルダーが表示されます。

ウェブコンテンツは、「www.お客様のドメイン名」のフォルダーの中にアップロードします。

(「www.お客様のドメイン名」のフォルダーをダブルクリックすると下の右側の画面が表示されます。)



5-5. .htaccess ファイルの利用制限について

.htaccess は移行しておりますが、新サーバーでは環境が異なりますため、ご利用可能な制御機能に差異がございます。何とぞご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

なお、.htaccess のご利用いただける機能は下記の通りとなります。

AllowOverride

AuthConfig (認証関連)

Limit (アクセス制御)

Indexes (インデックス)

5-6. 【必須】DNS 切り替え前にホームページの表示や動作を確認する方法

DNS 切り替え前にはご利用ドメイン名でのホームページの確認が行えないため、
[プレビューサーバー]機能や、ご利用の PC の hosts ファイルにドメイン名情報を設定してご確認ください。

※[\[プレビューサーバー\]機能](#)で画像等がうまく表示できない場合には、[hosts ファイルを設定してのご確認をお試しください](#)。

また、お客さまにて設定されている index ファイルが、[index.php](#) の場合、初期値で設定されている [index.htm](#)、[index.html](#) ファイルを
[名前変更]ボタンにて任意の名称に変更してから、プレビューサーバー機能をお試しください。

5-6-1 プレビューサーバーでの確認方法

STEP1 [PlanManager](#) にログイン後、[ウェブコントロール]メニュー内の[プレビューサーバー]をクリックします。



STEP2 [対象サイト]の URL をクリックします。

※URL 部分がクリックできない状態の時は[設定]欄の[使用する]ボタンをクリックすると URL 部分にリンクが貼られます。



STEP3 新しく画面が開き、プレビューサーバー経由でホームページが表示されます。

※ブラウザの URL 欄にはプレビューサーバー名の後ろにご利用のドメイン名が表示されています。



※お客さまのサイトではなく、「Wellcome・・・」の画面が表示される場合には、[こちら](#)をご確認ください。

5-6-2.hosts ファイルの設定方法

※WordPress などの動的コンテンツを運用されている場合にはこちらの手順をお試しください。
また、動的コンテンツがない場合も、プレビューサーバー機能を利用して確認を行っても画像が表示されない場合も
こちらの手順をお試しください。

事前準備

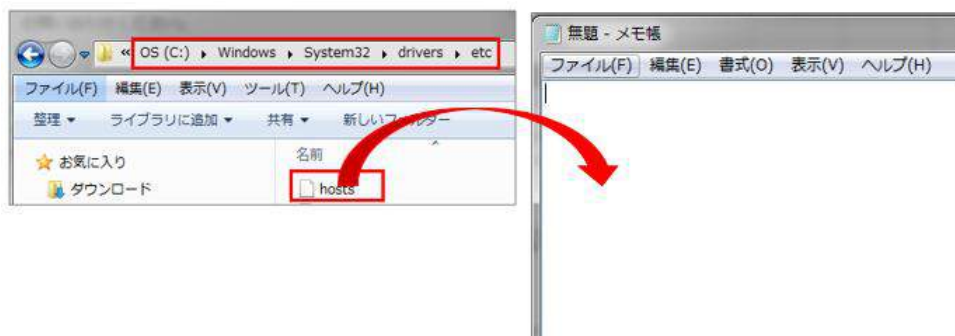
ウェブサーバーの IP アドレス情報が必要なため、[\[1-2.新サーバー情報の確認方法\]](#)の項目をご参照のうえご確認ください。

STEP1 ご利用の PC の hosts ファイルをエクスプローラーで開きます。(etc ディレクトリーまで進んでください。)

【保存場所】

Windows7 OS	C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts
Windows8 OS	C:\Windows\System32\Drivers\etc\hosts
Windows10 OS	C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts

STEP2 下記の画面の状態です。hosts ファイル名をダブルクリックしても表示されないため、メモ帳を開いてドラッグ & ドロップします。

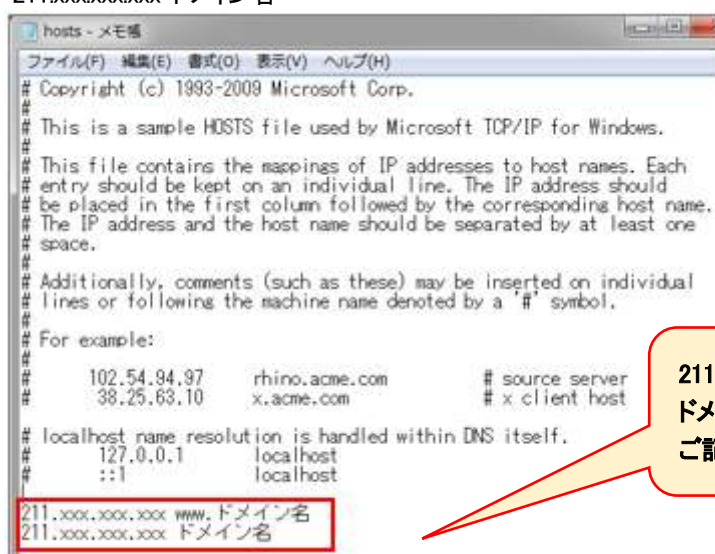


STEP3 開いた hosts ファイルの一番下に下記の 2 行を追記して上書き保存をします。

※hosts.txt と保存せず **hosts のまま保存**してください。

211.xxx.xxx.xxx www.ドメイン名

211.xxx.xxx.xxx ドメイン名



※hosts ファイルを保存しようとしてエラーが出た場合

■企業から PC を貸与されており、管理部門にて一括管理されている PC をご利用の場合

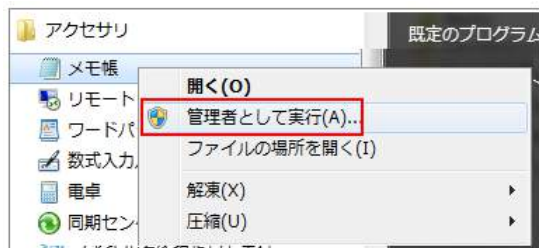
PC の管理部門に hosts ファイルの保存をしたい旨をお伝えください。

※セキュリティの観点から、編集できるファイルやディレクトリが制限されている場合がございます。

■個人事業主さまやご自宅の PC など個人で管理されている PC をご利用の場合

PC の[スタート]ボタンから[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>メモ帳 と進み、右クリックをして

[管理者として実行]を選択してメモ帳を開いて [STEP2](#) の手順を再度お試しください。



STEP4 ご利用のブラウザの URL 欄に、http://ドメイン名 または http://www.ドメイン名 を入力して表示をご確認ください。

※共用サーバーのため、ウェブサーバーの IP アドレスをご入力されてもお客さまのサイトは表示されない仕様となっております。

5-7.SSL 証明書のご利用方法

現在ご利用いただいている SSL 証明書は、引き続きご利用いただけます。

なお、恐れ入りますが、共用 SSL 証明書につきましては、共用 SSL サーバーが変更となりますため、お手数ですが、お客さまのサイト内の記述をご変更いただく必要がございます。

5-7-1.共用 SSL 証明書のご利用方法

共用 SSL サーバー名は、**https://共用 SSL サーバー名/www.ドメイン名/** となります。

お客さまごとに共用 SSL サーバー名は異なりますため、お手数ですが、[PlanManager](#) のユーザー情報にてご確認のうえホームページのデータの記述をご変更ください。

[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、[ドメイン管理者]または[サイト管理者]権限のユーザーを選択して[切り替え]ボタンをクリックします。

選択	ユーザー名	ユーザー権限	コメント
<input type="checkbox"/>	domecan	ドメイン管理者	共用
<input checked="" type="checkbox"/>	ftp_user1	サイト管理者	FTP担当専用
<input type="checkbox"/>	admin	一般ユーザー	機密用
<input type="checkbox"/>	adminadmin	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	adminadmin0	一般ユーザー	
<input type="checkbox"/>	manual	一般ユーザー	機密用
<input type="checkbox"/>	test1	一般ユーザー	テスト

[個別ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー情報]にて FTP アカウント名および FTP サーバーの IP アドレスの確認を行えます。

ウェブ情報	
DocumentRoot(絶対パス)	/home/ /www.
FTPアカウント	ftpuser@
パスワード	お客さまのログインパスワード
FTPサーバー	ftp. (211.)
ウェブサーバー IPアドレス	211.
共用SSL URL	https:// /www. /

[お問い合わせ](/contact.html/)のページに SSL をかけたい場合の一例



サイトの記述内に、下記の記述をすることで[お問い合わせ]ページには SSL がかった状態で表示されます。

お問い合わせ

※HTML の記述については、一例となります。

5-7-2.独自 SSL 証明書のご利用方法

今までご利用されていた独自 SSL 証明書につきましては、下記の通りとなります。

- ・弊社のオプションにてお申込み・設置されたお客さま
 - ・他社の SSL 証明書をお客さまにてご用意され[他社 SSL 証明書設置代行]にて設置されたお客さま
移行後もそのままご利用いただけます。お客さま側での作業は発生いたしません。
- なお、SSL をご利用されているサブドメイン名で、サブドメイン名とコモンネームが同じ場合、ヴァーチャルドメインとして登録されます。

・移行後に新サーバーで新たに独自 SSL 証明書をお申込みされたい場合

[アカウントマネージャー](#)よりお申込みください。

詳細の手順につきましては、お手数ですが[\[SSL 証明書の申込み手続き方法\]](#)にてご案内しておりますので、ご参照ください。

1. アカウントマネージャーへログインし[契約一覧]メニューをクリックし、対象契約の[詳細]ボタンをクリックします。



2. [オプション追加・解約]ボタンをクリックします。



3. ご希望の SSL 証明書欄にチェックを入れ、画面下部の[次のステップへ進む]をクリックします。

SSL			
<input type="checkbox"/>	独自SSL(グローバルサイン/SNI)	¥30,780	¥0
<input type="checkbox"/>	企業認証SSL(グローバルサイン/SNI)	¥62,640	¥0
<input type="checkbox"/>	他社SSL設置代行(SNI)	¥21,600	¥0

4. ご希望の支払い方法を選択します。
5. お申込み内容をご確認のうえ[利用約款を確認する]をクリックします。
6. 利用約款を確認のうえ[申込みを確定する]ボタンをクリックします。
7. 最後に申込み完了画面が表示されれば、お手続き完了です。
8. オプション申込み完了次第、即時設定作業を開始いたします。
オプション設定完了次第、ご登録メールアドレス宛にご連絡いたします。
※オプション設定にかかる日数は1から2営業日です。

5-8.アクセス解析の設定方法

恐れ入りますが、新サーバーではアクセス解析のツールが変更となりますため、お手数ではございますが、引き続きアクセス解析をご利用の場合にはお手数ですが[アクセス解析]メニューから設定をお願いいたします。

1	対象サイト	お客さまが管理されているサイト名です。
2	ログ保存	ログ保存の設定状況を表示しています。
3	ログ解析	ログ解析の設定状況を表示しています。
4	[編集] 基本設定	ログの保存に関する設定をします。
	[編集] 解析設定	アクセス解析ソフトの詳細な設定を行うことができます。 アクセス解析ソフトを利用しない場合は、“解析設定”ボタンは無効となります。
5	サイト同時アクセス上限数	現在のサイト同時アクセス上限数が表示されます。
6	[超過情報] 表示	サイト同時アクセス上限数の情報を PlanManager 上で確認することができます。
	[超過情報] CSV 出力	サイト同時アクセス上限数の情報を CSV でダウンロードすることができます。
7	通知メール	サイト同時アクセス上限にかかった情報をメールで通知することができます。

※サイト同時アクセス上限数とは

お客さまのサイトに対して同時に複数のアクセスがあった際に、アクセスを許容する上限数です。

サイト同時アクセス上限数を超えたアクセスがあった場合、超過した分のアクセスに関してはサイトの表示が行えません。

オプションでサイト同時アクセス上限数を増やすことにより、より多くのアクセスを確保することができます。

アクセス解析 (基本設定)

アクセス解析の基本設定を行います。

1	対象サイト	設定するサイト名です。
2	ログ解析	ログを解析するソフトウェアを選択します。
3	ログ保存	ログの保存をするかしないか・する場合はどの形式でするかを指定します。 保存したログファイルはホームディレクトリー下のディレクトリーaccess_logの下に置かれます。 ※ログ解析を行う場合は、必ず1日以上ログの保存を行ってください。
4	保存日数	ログを保存する日数を指定します。これを越えたログファイルは自動的に消去されます。 日数は100日までです。これ以上の保存が必要な場合はftpやファイルマネージャにてダウンロードを行ってください。

上記でよろしければ、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。

アクセス解析（解析設定）

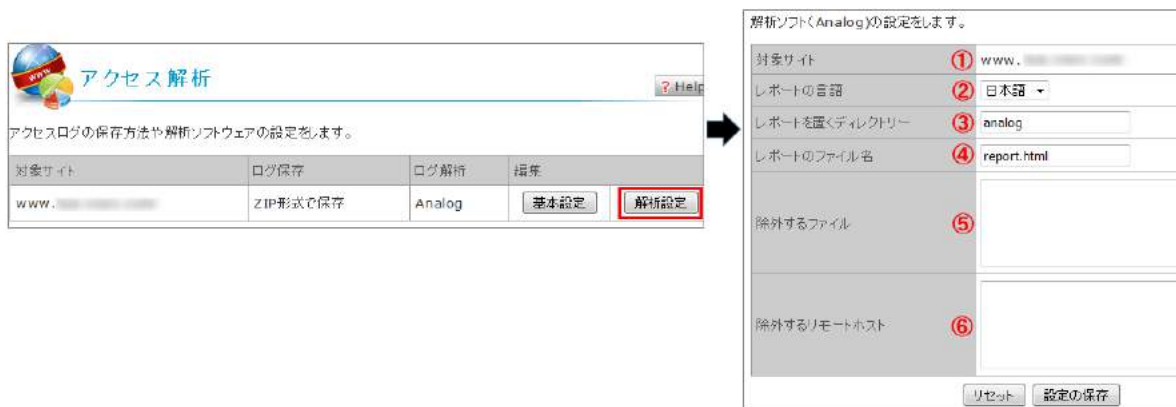
解析設定(Analog)の設定を行います。

【注意】

Analog を利用した場合には、お客さま領域に解析結果の html ファイルが作成されます。

Internet Explorer 等のウェブブラウザより表示が可能のため、レポートを置くディレクトリーには、

第三者が閲覧できないようアクセス制限を設定することをお勧めします。



1	対象サイト	設定するサイト名です。
2	レポート言語	解析レポートの HTML の言語を指定します。日本語か英語が選択できます。
3	レポートを置くディレクトリー	解析レポートの HTML ファイルを保存するディレクトリーです。 存在するディレクトリーを指定してください。
4	レポートのファイル名	解析レポートの HTML ファイルの名前を指定します。
5	除外するファイル	解析にあたってアクセス記録から除外するファイル名を改行で区切って指定します。 入力書式は / からの絶対パスで記述してください。 入力例: http://www.exampre.org/shared/images/photo.jpg を解析から除きたい場合には、 /shared/images/photo.jpg と入力します。 拡張子が jpg のファイルをすべて解析から除きたい場合には、 *jpg と入力します。特定のディレクトリー /shared/images/ にあるすべてのファイルを解析から 除きたい場合には、 /shared/images/* と入力します。
6	除外するリモートホスト	解析にあたってアクセス記録から除外するアクセス元ホストを改行で区切って指定します。 ドメイン名や IP アドレスの指定が可能です。 入力例: 192.168. で始まるホストからのアクセスを解析から除く場合には、 192.168.* と入力します。

設定がよろしければ、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。

アクセス解析（解析結果の表示）

解析結果は毎日一度解析対象期間の翌日中に更新されます。表示方法は以下の通りです。基本設定で設定した場所に配信されます。

例

ご契約ドメイン名: gmocloud.com

レポートを置くディレクトリー: analog

レポートのファイル名: report.html

アクセス解析結果の表示 URL: <http://gmocloud.com/analog/report.html>

サイト同時アクセス上限数

サイト同時アクセス数とは、お客さまのウェブサイトへ同時に複数のアクセスがあった際に、アクセスを許容する上限数です。

[サイト同時アクセス上限数](#)

サイト同時アクセス上限数の超過情報の表示や、通知メールの設定を行います。

サイト同時アクセス上限数の超過情報の表示や、通知メールの設定を行います。

対象サイト ①	サイト同時 アクセス上限数 ②	超過情報 ③	通知メール ⑤
www.	40	<input type="button" value="表示"/>	<input type="button" value="設定"/>

1	対象サイト	お客さまが管理されているサイト名です。
2	サイト同時アクセス上限数	現在のサイト同時アクセス上限数が表示されます。
3	[超過情報] 表示	サイト同時アクセス上限数の情報を PlanManager 上で確認することができます。
4	[超過情報] CSV 出力	サイト同時アクセス上限数の情報を CSV でダウンロードすることができます。
5	通知メール	サイト同時アクセス上限にかかった情報をメールで通知することができます。

5-9. アクセス制限の設定方法

任意のディレクトリーへのパスワード認証の設定や、特定の IP アドレスからのアクセスを制限することができます。

1	新規アクセス制限を登録	
2	検索	登録されているアクセス制限を検索できます。検索の対象となる項目は“URL”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 入力された検索条件をすべて満たしたアクセス制限が表示されます。
3	削除	アクセス制限の設定を削除したい URL にチェックをします。削除は 1 ページごとに行ってください。 チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
4	URL	アクセス制限の設定がされている URL の一覧です。
5	編集: 認証管理	アクセス制限の設定の管理を行います。アクセス制限の基本的な設定を行います。
6	基本設定: 登録	Basic 認証のユーザー登録を行います。最大で 100 件まで登録できます。 ※それ以上の登録は一括登録でしか行えません。
7	基本設定: 一括登録	CSV 形式のファイルをアップロードして Basic 認証のユーザー登録を行います。 既存のユーザーリストのダウンロードもできます。
8	基本設定: 編集	Basic 認証のユーザー設定の変更や削除を行います。

アクセス制限 (新規登録/基本設定)

選択した URL について、特定のユーザーやホスト名、IP アドレスからのアクセスだけを許可することができます。
許可されなかったアクセス元には「403 Forbidden」のエラーページが表示されます。

1	URL	アクセスを制限したい URL を入力します。制限はディレクトリーに対して設定していただきます。
2	ユーザー認証	Basic 認証によるユーザーごとのアクセス制限をかける場合はこれにチェックをし、「ダイアログ名」を設定します。ユーザーの追加や削除は前画面の「認証管理」機能をお使いください。
3	ダイアログ名	アクセス制限のページにアクセスした際に表示されるダイアログのタイトルを設定します。英数字、アンダーバー()、カンマ()、ドット()、ハイフン(-)が使えます。
4	ホスト制限	アクセス元のホスト名や IP アドレスによるアクセス制限をかける場合はこれにチェックをし、「許可ホスト」や「禁止ホスト」を設定します。
5	許可ホスト	アクセス元として許可するホスト名や IP アドレスを空白や改行で区切って指定します。 例: ppp123.example.com 192.168.0.3 また「all」と書くとなすべてのアクセス元を指定したことになります。
6	禁止ホスト	アクセス元として禁止するホスト名や IP アドレスを空白や改行で区切って指定します。 例: ppp123.example.com 192.168.0.3 また「all」と書くとなすべてのアクセスを指定したことになります。
7	適用順位	「許可ホスト」と「禁止ホスト」のルールを適用する順番を決めます。 通常どちらかに all を指定した時に意味を持ちます。 例: 許可ホスト: all 禁止ホスト: example.com 適用順位: 許可→禁止 ⇒ 「example.com」で終わるホスト名からのみのアクセスを禁止します。 許可ホスト: example.com 禁止ホスト: all 適用順位: 禁止→許可 ⇒ 「example.com」で終わるホスト名からのみのアクセスを許可します。
8	複合認証	「ユーザー認証」が「ホスト制限」のどちらかで許可されたアクセスを許可します。 ホスト制限で許可したホストからのアクセスはユーザー認証を行わずに許可します。

各項目入力後、[設定の保存]ボタンをクリックすると登録完了します。

登録後、変更や追加などの編集を行いたい場合には、[アクセス制限 TOP 画面](#)の[基本設定]ボタンから変更できます。

アクセス制限 (認証ユーザー管理/登録)

Basic 認証のユーザーを登録します。最大で 100 ユーザーの管理が可能です。

The image shows two screenshots of a web management interface. The left screenshot is titled 'アクセス制限' (Access Restriction) and shows a table with columns for 'URL' and '認証管理' (Authentication Management). A '登録' (Register) button is highlighted in red. The right screenshot is titled '認証ユーザーを登録します。コメントは省略可能です。' (Register authentication user. Comment is optional.) and shows a form with fields for 'パスワード自動生成' (Password auto-generation), 'URL', 'ユーザー名' (User name), 'パスワード' (Password), and 'コメント' (Comment). A '設定の保存' (Save settings) button is highlighted in red.

1	パスワード自動生成	ユーザー名に入力がありパスワードに何も入力されていない場合、8 文字のパスワードが自動発行されます。
2	URL	アクセス制限の対象となる URL が表示されます。
3	ユーザー名	Basic 認証で使用するユーザー名です。 使用できる文字は英数字、アンダーバー()、ドット()、ハイフン(-)で 32 文字までです。 既存のユーザー名を指定した場合は上書きになります。
4	パスワード	Basic 認証で使用するパスワードです。使用できる文字は英数字で 32 文字までです。
5	コメント	作成する認証ユーザーに対してコメントを付けられます。コメントは省略可能です。 入力できる文字数は半角 64 文字(全角 32 文字)までです。

設定がよろしければ、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。

アクセス制限（認証ユーザー管理/編集）

登録されている Basic 認証のユーザーを編集できます。

1	URL	アクセス制限の対象となる URL が表示されます。
2	検索	認証ユーザーを検索できます。 検索の対象となる情報は“ユーザー名”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 入力された検索条件をすべて含んだものが表示されます。
3	削除	削除するユーザーにチェックします。 削除は 1 ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
4	ユーザー名	登録されている認証ユーザー名が表示されます。
5	パスワード	登録されている認証ユーザーのパスワードが表示されています。
6	コメント	登録されている認証ユーザーのコメントが表示されます。
7	編集	認証ユーザーのパスワードやコメントを変更することができます。“編集”ボタンをクリックすると、編集画面に遷移します。

【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除するヴァーチャルメールアドレスをチェックし、[チェックしたものを削除]ボタンをクリックすると削除確認画面へ進みます。削除確認画面で[削除]ボタンをクリックするとチェックしたユーザーがすべて削除されます。

ユーザー情報(パスワード・コメント)の編集

ユーザー名の右側の[編集]ボタンをクリックするおt、ユーザーのパスワードとコメントの編集が行えます。

認証ユーザーのパスワードおよびコメントを編集します。
コメントは省略可能です。

URL: http://www. /

ユーザー名	パスワード	コメント
adimin	

リセット 設定の保存

アクセス制限（認証ユーザー管理/一括登録）

Basic 認証のユーザーを CSV 形式のテキストで一括登録します。また、CSV ファイルのインポート/エクスポートもできます。

1	URL	アクセス制限の対象となる URL が表示されます。
2	CSV ファイルアップロード	CSV 形式のファイルを読み込み、認証ユーザーを登録することができます。 “参照”をクリックしファイルを選択するか、入力フォームに読み込むファイル名を入力し、“登録”をクリックしてください。 [既存のユーザーを上書きしない]にチェックすると、ユーザー名が重複したデータはスキップして処理します。 ※CSV ファイルの書式については下記の“CSV データについて”を参照してください。 ※登録するユーザー数が多い場合、処理に時間がかかることがあります。
3	CSV ファイルダウンロード	現在登録されている認証ユーザーデータを CSV ファイルへ出力します。 “出力開始”をクリックすると、CSV ファイルの出力が実行されます。
4	テキスト一括登録	CSV データを直接入力する場合に使用します。1 行に 1 ユーザーのデータを記述してください。 “登録”をクリックすると、登録が実行されます。 なお、今回登録しようとするユーザー名がすでに登録されている場合は、パスワードとコメントが上書きされますのでご注意ください。 ※CSV データの書式については“CSV データについて”を参照してください。

CSV データについて

CSV データの内容は以下のように作成してください。

【書式】 ユーザー、パスワード、コメント

※パスワード:パスワードで使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 です。

※コメント:ユーザーについてのコメント。省略可。

- ユーザー、パスワード、コメントの順で値をカンマ区切りで指定してください。
- 項目[コメント]に“(カンマ)”を使用する場合は、項目[コメント]全体を“(ダブルクォート)”で囲んでください。
- 項目[コメント]に“(ダブルクォート)”を使用する場合は、項目[コメント]全体を“(ダブルクォート)”で囲み、コメント内で“(ダブルクォート)”を2つ続けて入力してください。

テキスト一括登録する場合の記述の見本

テキスト一括登録 (カンマ区切り)	yamada, Yama123da, 山田さん tanaka, tana123ka, “田中” “部長” uesugi, ue123sugi, “上杉” “課長” share, sha12345rE, “田中, 上杉共通”
----------------------	--

CSV ファイルをアップロードする場合のファイル記述の見本

yamada	Yama123da	山田さん
tanaka,	Tana123ka	田中部長
uesugii	ue123sugi	上杉”課長”
share	Share123uetana	田中,上杉共通

5-10. カスタムエラーページの設定方法

お客さまが設定しているカスタムエラーの設定や削除を行います。

The screenshot shows the PLAN MANAGER interface with the 'ウェブコントロール' (Web Control) menu highlighted. The 'カスタムエラー' (Custom Error) option is selected. An arrow points to a settings dialog box for error codes 404 and 403. The dialog box contains the following information:

404、403等のエラーページをお客さまが指定したHTMLファイルに設定します。

対象サイト: [www.] [設定]

[設定]

[設定]ボタンから各種カスタムエラーページの設定画面へ進みます。

カスタムエラー設定画面

ウェブサイトの 403 Forbidden や 404 Not Found などのエラー表示をカスタマイズすることができます。カスタマイズしない場合は「サーバー初期ページ」を選択してください。

The screenshot shows the custom error page settings screen. It contains a table with the following columns: 'エラーコード' (Error Code) and '表示ページ' (Display Page). The table lists error codes 401, 403, 404, and 500, each with radio button options for 'サーバー初期ページ', 'カスタム初期ページ', and 'ユーザー設定ページ'. The '設定' (Settings) button is highlighted in red.

1	対象サイト	カスタムエラーを設定するサイトが表示されます。
2	エラーコード	カスタマイズできるエラーコードです。各エラーコードの内容は次の通りです。
3	表示ページ	エラーが起こった際に表示するページを指定します。ページの詳細は以下を参照してください。
	サーバー初期ページ	ウェブサーバー標準のエラーページ。カスタマイズしない場合に選択してください。
	カスタム初期ページ	サンプルのエラーページ。 ドキュメントルートのディレクトリに「エラーコード.html」が作成されます。必要に応じてファイルを編集してください。
	ユーザー設定ページ	エラーページをファイル指定できます。 ファイルの設置場所を / から絶対パスで指定してください。 <入力例> http://www.example.org/error/my404.html を指定したい場合 ⇒/error/my404.html

上記でよろしければ、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。

5-11.スクリプトについて

■ご利用いただけるスクリプト

CGI
SSI
Perl
Ruby
PHP5.6
Python

PHP のパス	/usr/local/php/bin/php
	/usr/local/php5/bin/php でもご利用可能です。
Perl のパス	/usr/bin/perl
	/usr/local/bin/perl でもご利用可能です。
sendmail のパス	/usr/sbin/sendmail
Python のパス	/usr/local/python/bin/python
Ruby のパス	/usr/bin/ruby
	/usr/local/bin/ruby でもご利用可能です。

■管理画面にてご利用いただけるツール

Perl モジュール検索
Perl 文法チェック

■新サーバーにてご利用いただけない機能

Active Server Page
ASP.NET(Ver.2.0,1.0)
BASP21

5-11-1. perl モジュール検索

サーバー内で使用できる perl のモジュールを検索します。

“モジュール名”のフィールドに検索するモジュール名を入力し、検索ボタンをクリックします。

PLAN MANAGER

サーバー内で使用可能なperlモジュールを検索できます。

モジュール名 ① File::Find

検索結果 ② File::Find は使用可能です。バージョンは 1.14 です。

1	モジュール名	検索する perl モジュールの名称を入力してください。モジュール名は、Net::Ping や File::Find のように「カテゴリ:モジュール名」の形式で入力します。
2	検索結果	[検索]ボタンをクリックすると、結果を表示します。 存在する場合は、コマンドのパスを表示します。 存在しない場合には、「Find:xxx は見つかりませんでした」と表示されます。

5-11-2.perl 文法チェック

CGI の文法チェックを行います。Perl で記述された CGI の文法をチェックし、結果を表示します。
 なお、指定できる URL はお客さまのドメイン内のみです。他のドメインの URL を指定することはできません。

URL 入力欄に、文法チェックを行いたい CGI の URL を入力し、[チェック]ボタンをクリックしてください。

The image shows the PLAN MANAGER interface. On the left, a sidebar lists various management options, with 'perl文法チェック' (perl syntax check) highlighted in red. An arrow points to the right, showing a detailed view of the 'perl文法チェック' page. This page has a title 'perl文法チェック' and a sub-header 'perl CGI の文法チェックを行います。チェックしたい CGI の URL を入力してください。' (Perform perl CGI syntax check. Enter the URL of the CGI you want to check). Below this is a form with a 'URL' label, a dropdown menu showing 'http://www.', a text input field containing 'testcgi', and a 'チェック' (Check) button.

レポートの詳細について

perl CGI の文法チェックを行います。チェックしたい CGI の URL を入力してください。

URL

調査項目	調査結果	レポート
アクセス権限 ①	0644	× パーMISSIONは 0550 または 0750 である必要があります
実行ディレクトリー ②	0755	◎ 問題ありません
ヘッダー情報 ③	#!/usr/local/bin/perl	○ 問題ありません
改行コード ④	LF	◎ 問題ありません

perl のメッセージ ⑤ testcgi syntax OK

※上記のサンプルの場合、ファイルマネージャからファイルのモード変更が必要となります。

1	アクセス制限	CGI ファイルのアクセス権です。 ウェブ サーバーは suEXEC 環境で動作していますので、CGI として動作させる場合には、0701 (所有者が読み書き実行可能、グループは一切の権限なし、第三者は実行のみ可能) が最も安全な状態になります。 所有者、グループ以外のユーザーに読み取り権限がある場合には、第三者に CGI のソースコードが読まれる可能性があるため注意が必要です。 0775、0755、0711 等も問題なしと判定します。
2	実行ディレクトリー	CGI が実行されるディレクトリーのアクセス権です。suEXEC 環境では、0775 または 0755 である必要があります。
3	ヘッダー情報	CGI ファイルが perl で記述されていることを宣言する部分です。 ファイルの1行目は必ず #!/usr/bin/perl と記述しなければなりません。 #!/usr/local/bin/perl でも問題なしと判断します。
4	改行コード	CGI ファイルの改行コードです。UNIX 上で動作させる場合には必ず LF である必要があります。
5	perl のメッセージ	CGI に対して "perl -wc" を実行して出力されたメッセージです。

5-12.シングルURL の設定

シングル URL とは、ウェブサイトのトップページにアクセスした際に、クライアントの環境に応じて自動的にページを転送する機能です。携帯ブラウザと PC 環境とで表示するウェブページを切り替えたい場合などに使用します。

シングルURLの設定・解除を行います。

対象サイト ①	www. []
<input checked="" type="checkbox"/> シングルURLを使用する ②	
User-Agent ③	転送先 URL ④
DoCoMo	/docomo/
KDDI	/au/
SoftBank	/softbank/
iPhone	/iphone/
iPad	/ipad/
Android	/android/

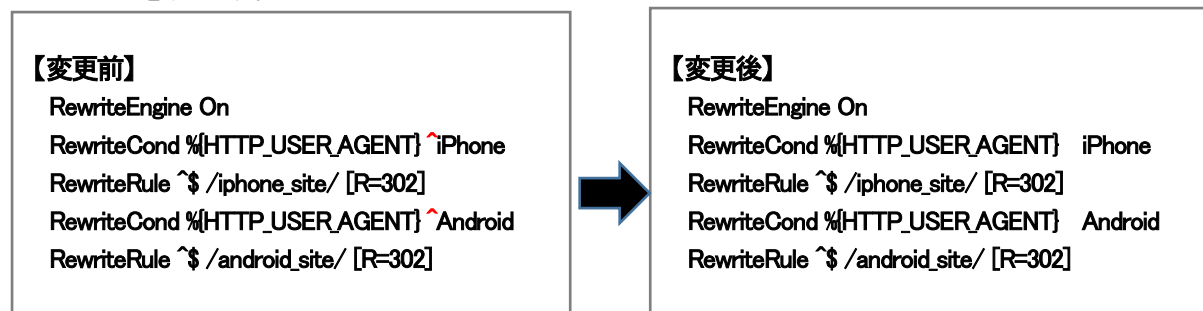
リセット 設定の保存

1	対象サイト	シングル URL の対象となるサイトが表示されます。
2	シングル URL を使用する	シングル URL を使用する場合、チェックします。 設定を解除するには、チェックを外してください。
3	User-Agent	転送する User-Agent を指定します。 主な携帯端末とその User-Agent は上記一覧をご参照ください。 ※User-Agent は機種によって変更される可能性がありますのでご注意ください。
4	転送先 URL	User-Agent が一致した場合に転送する先の URL を指定します。 入力書式は / からの絶対パスで記述してください。 ※画面キャプチャ内の URL は見本です。

iPhone や Android などの場合、UserAgent の形式がほかのキャリアと異なるため、.htaccess ファイルを以下のように手動にて変更していただくことでキャリアの判別が可能となります。

STEP1 .htaccess を FTP ソフトでダウンロードし、テキストエディタ(※)で以下のように変更します。

※^(=キャレット)を消します。



STEP2 変更した.htaccess を FTP ソフト等で既定の位置へアップロードします。

※上記の手順以降に、シングル URL の画面で変更(設定の保存)を行った場合、.htaccess ファイルも上書きされてしまうため、再度上記の変更作業を行ってください。

6. 各種アプリケーションについて

6-1.ご利用いただけるアプリケーション

新サーバーにてご利用いただけるアプリケーションは下記の通りとなります。

※旧サーバーでご利用のアプリケーションをそのまま利用される場合は以下の新規インストールガイドをご確認いただく必要はございませんので、[6-2の移行ガイド](#)以降をご確認ください。
 なお、セキュリティの観点から、なるべく最新のアプリケーションをご利用されることをお勧めしますのでこの機会にアプリケーションのバージョンアップをご検討されている方は以下の新規インストールガイドをご確認ください。

MovableType6	自動インストールガイド	https://support.gmocloud.com/shared/ic/guide/download/mt6_installer.html
WordPress	自動インストールガイド	https://support.gmocloud.com/shared/ic/guide/download/wordpress_installer.html
	手動インストールガイド	https://support.gmocloud.com/shared/ic/guide/download/wordpress.html
EC-CUBE	自動インストールガイド	https://support.gmocloud.com/shared/ic/guide/download/eccube_installer.html

6-2. MovableType の移行について

[MySQL データ移行]ツールおよびウェブコンテンツデータ移行ツールを用いて移行後に MovableType に関連するデータの編集を行うことで、MovableType の移行が完了いたします。

お手数ではございますが、下記の手順をお試しくださいますよう、お願いいたします。

移行手順は、旧サーバーにインストールしたものが[自動インストール版](#)か[手動インストール版](#)かによって手順が異なります。

なお、**MovableType をドメイン名で直接表示している場合でも手順は同じとなります。**

事前準備

STEP1 [\[4.【必須】データベース\(MySQL\)の移行について\]](#)をご参照のうえ、**MovableType で使用しているデータベースの移行**を行い、移行されたデータベース情報を控えておいてください。

すでに移行が完了している場合には、[PlanManager](#) 内の[データベース設定画面](#)にて情報をご確認いただけます。

番号	必要項目	お客さまの情報をご記入ください	mt-config.cgi ファイル内の記述箇所
1	データベースサーバー名		DBHost
2	ポート番号		DBPort
3	データベース名(接続ユーザー名)		Database、DBUser
4	パスワード(編集ボタンをクリック)		DBPassword

STEP2 [\[5-1.【必須】ウェブコンテンツ移行ツールのご利用方法\]](#)をご参照のうえ、**ウェブコンテンツデータの移行**を完了させておいてください。

MovableType の各ファイルは、旧サーバーで設定されているドキュメントルートの種類によりディレクトリーが異なります。ディレクトリー構造については、[\[5.【必須】ウェブコンテンツの移行について\]](#)にてご確認ください。

なお、本ガイドでは旧サーバーのドキュメントルートが、/wwwroot/ドメイン名/ の場合を想定して手順を掲載しております。

STEP3 **ご利用の PC の hosts ファイルに、新サーバーの情報を登録**しておきます。

hosts ファイルの設定方法については、[5-6-2.hosts ファイルの設定方法](#) をご参照のうえ、設定を行ってください。

hosts ファイルには、新サーバーの**ウェブサーバーIP アドレス情報が必要**となりますので、

[\[1.【必須】移行先\(新サーバー環境\)の確認方法について\]](#)をご参照のうえ情報の確認を行ってください。

STEP4 (※自動インストール版の MovableType の移行の方のみ)

新サーバーのドキュメントルートを[\[1.【必須】移行先\(新サーバー環境\)の確認方法について\]](#)にてご確認のうえ、お控えください。

6-2-1 自動インストール版の MovableType の移行

MovableType 関連データの編集

STEP1 MovableType の設定ファイルを編集します。

[PlanManager](#) にログインし、[ユーティリティ]から[ファイルマネージャ]を開き、mt-config.cgi ファイルを開きます。

mig_temp > webapps > movabletype-***または SiteApp***で始まるディレクトリー >htdocs > cgi-bin と進みます。

■編集前

```
#===== REQUIRED SETTINGS =====
CGIPath http://.....com/mt/cgi-bin/
StaticWebPath http://.....com/mt/cgi-bin/mt-static/
StaticFilePath /home/users/web...../mig_temp/webapps/movablety
pe-...../htdocs/cgi-bin/mt-static
TempDir /home/users/web...../mig_temp/webapps/movabletype-
...../htdocs/cgi-bin/tmp

MailTransfer smtp
SMTPServer localhost

SQLSetNames 0

#===== DATABASE SETTINGS =====
ObjectDriver DBI::mysql
Database .....
DBUser .....
DBPassword .....
DBHost 10. ....
DBPort .....
```

DBPort欄がない場合
には追加してください。

■編集後

```
#===== REQUIRED SETTINGS =====
CGIPath http://.....com/mt/cgi-bin/
StaticWebPath http://.....com/mt/cgi-bin/mt-static/
StaticFilePath /home/users/web...../www.
.....com/mt/cgi-bin/mt-static
TempDir /home/users/web...../www.
.....com/mt/cgi-bin/tmp

MailTransfer sendmail
SendMailPath /usr/sbin/sendmail

SQLSetNames 1

#===== DATABASE SETTINGS =====
ObjectDriver DBI::mysql
Database .....
DBUser .....
DBPassword .....
DBHost mysql.....net
DBPort .....
```

事前準備のSTEP1で確認した情報に
書き換わっているかご確認ください。

DBHost欄が10.・・・の場合
は、新サーバーの情報に
書き換えてください。

■確認・編集項目

CGIPath http://ドメイン名/mt/cgi-bin/
StaticWebPath http://ドメイン名/mt/cgi-bin/mt-static/
StaticFilePath /home/で始まるドキュメントルート/mt/cgi-bin/mt-static
TempDir /home/で始まるドキュメントルート/mt/cgi-bin/tmp

MailTransfer **sendmail**
SendMailPath **/usr/sbin/sendmail**

SQLSetNames **1**

データベース情報はウェブコンテンツ移行時に更新されていますが、下記の2点をご確認ください。

DBHost: 10.で始まる IP アドレスのままの場合には、**新サーバーのデータベースサーバー名**に書き換えてください。

DBPort: この項目がない場合には、項目とポート番号を追記してください。

編集が完了したら[保存して終了]ボタンをクリックします。

STEP2 /cgi-bin/ディレクトリー配下にある CGI ファイルのパーミッションを変更します。

FTP ソフトまたは [PlanManager](#) のファイルマネージャ上で **CGI ファイルのパーミッションを 644 から 755 に変更**します。

※PlanManager のファイルマネージャでの操作は 1 ファイルずつの編集となります。

CGI ファイルの右側の 644 部分をクリックし、入力欄に 755 と入れて[モード変更]ボタンをクリックします。

STEP3 MovableType 関連のディレクトリーおよびファイルをドキュメントルート配下に移動します。

移行された MovableType 関連のディレクトリーをドキュメントルート配下に配列しないとウェブサイト表示ができないため、/htdocs/ドキュメントルート配下に移動します。

旧サーバーで設定したディレクトリー名と合わせるため、ドキュメントルート配下に（事例では）/mt/ディレクトリーを新設し、その中に/htdocs/配下のディレクトリーおよびファイルを移動させます。

※事例では/mt/ ですが、/movabletype/ や任意で変更されている場合には、旧サーバーのパスの確認は

[CONTROL PANEL](#)にてご確認ください。

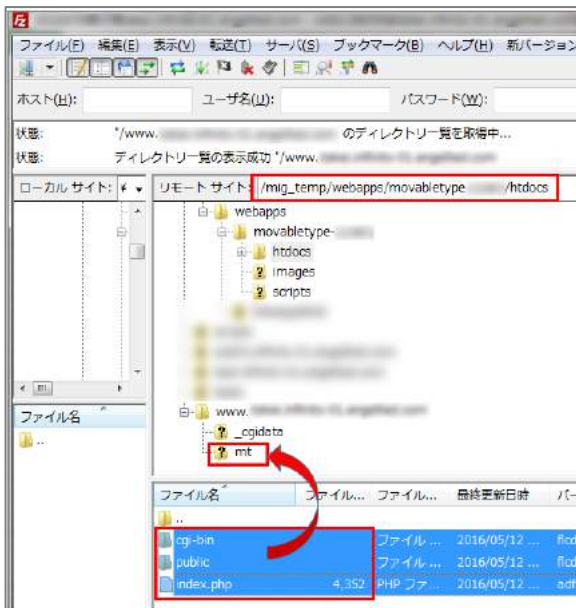
www.ドメイン名/mt/のディレクトリーの作成は、FTP ソフトまたは [PlanManager](#) の[ユーティリティ]から

[ファイルマネージャ]を開きドキュメントルート名をクリックした後に[ディレクトリー]名称をクリックして作成します。

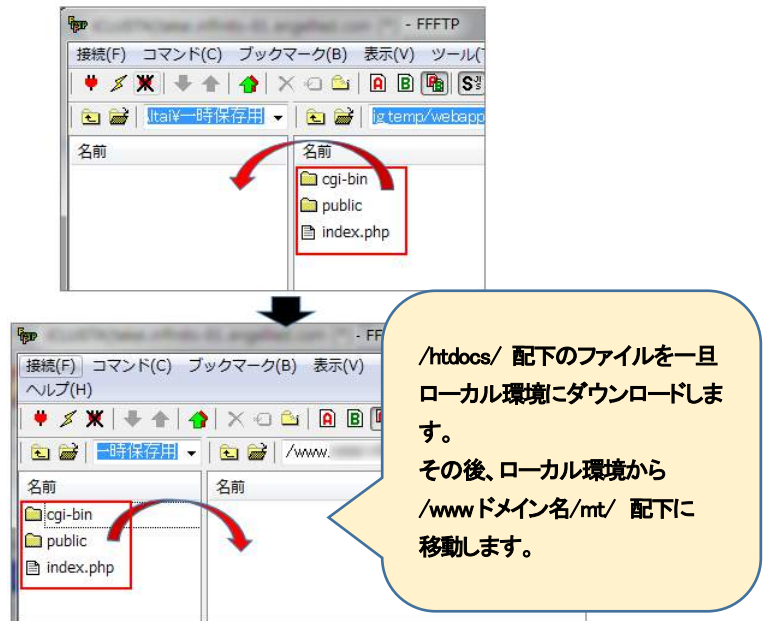
ディレクトリーの移動は FTP ソフトにて行います。

下の画面にて、mig_temp/webapps/ movabletype-***または SiteApp***で始まるディレクトリー/htdocs/ まで開き、上の画面にて www.ドメイン名/mt/を開き、htdocs/の中身を/mt/の中へ移動させます。

※FTPソフト:FileZilla を使用した場合



※FTPソフト:FFFTP の場合



STEP4 新サーバーにて MovableType の管理画面 <http://www.ドメイン名/mt/> を開きます。ログイン ID とパスワードは、移行前サーバーで設定していたものと同じとなります。



STEP5 公開パスを編集します。MovableType 管理画面にて[設定]から[公開]をクリックしサイト URL と サイトパスを編集します。



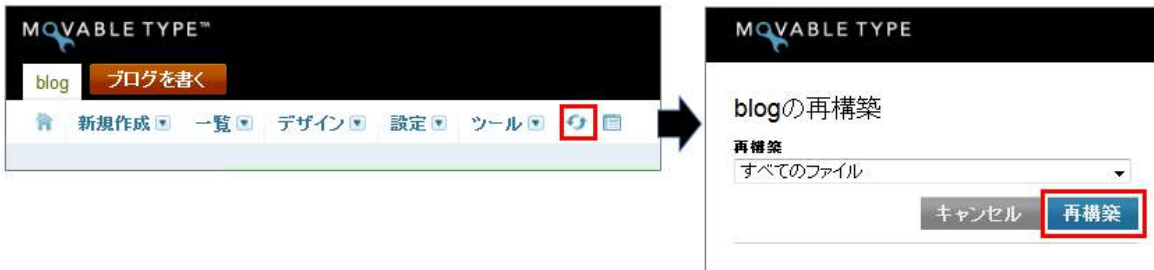
※事前準備の STEP4 でご確認いただいたドキュメントルートのご用意ください。

サイト URL 今までと同じでも表示されます。または URL のドメイン名の前に wwwを表示させたい場合には、www.ドメイン名/mt/public/blog/とします。

サイトパス /home/で始まるドキュメントルート/mt/public/blog とします。

編集後、[変更を保存]ボタンをクリックします。

STEP6 設定した情報を反映させるための再構築をします。管理画面の再構築ボタンをクリックします。



再構築が完了すると、下記のが面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックして終了です。



サイト URL にアクセスして、表示されるかをご確認ください。

6-2-2 手動インストール版の MovableType の移行

MovableType 関連データの編集

STEP1 MovableType の設定ファイルを編集します。

[PlanManager](#) にログインし、[ユーティリティ]から[ファイルマネージャ]を開き、mt-config.cgi ファイルを開きます。



■ 編集前

```

#===== REQUIRED SETTINGS =====
CGIPath /mt5/
StaticWebPath /mt5/mt-static/
StaticFilePath /home/users/web /www. /mt5/mt-static

#===== DATABASE SETTINGS =====
ObjectDriver DBI::mysql
Database
DBUser
DBPassword
DBHost mysql net
DBPort

#===== MAIL =====
MailTransfer smtp
SMTPServer localhost

TempDir /home/users/web /www. /mt5/tmp

DefaultLanguage ja

SQLSetNames 0

```

■ 編集後

```

#===== REQUIRED SETTINGS =====
CGIPath /mt5/
StaticWebPath /mt5/mt-static/
StaticFilePath /home/users/web /www. /mt5/mt-static

#===== DATABASE SETTINGS =====
ObjectDriver DBI::mysql
Database
DBUser
DBPassword
DBHost mysql net
DBPort

#===== MAIL =====
MailTransfer sendmail
SendMailPath /usr/sbin/sendmail

TempDir /home/users/web /www. /mt5/tmp

DefaultLanguage ja

SQLSetNames 1

```

事前準備のSTEP1で確認した情報に書き換わっているかご確認ください。

DBPort欄がない場合には追加してください。

DBHost欄が10...の場合、新サーバーの情報に書き換えてください。

■ 確認・編集項目

MailTransfer **sendmail**
 SendMailPath **/usr/sbin/sendmail**

SQLSetNames **1**

データベース情報はウェブコンテンツ移行時に更新されていますが、下記の2点をご確認ください。

- DBHost: 10.で始まる IP アドレスのままの場合には、**新サーバーのデータベースサーバー名に書き換えてください。**
- DBPort: この項目がない場合には、項目とポート番号を追記してください。

編集が完了したら[保存して終了]ボタンをクリックします。

STEP2 /MovableType のディレクトリー配下にある CGI ファイルのパーミッションを変更します。

FTP ソフトまたは [PlanManager](#) のファイルマネージャ上で **CGI ファイルのパーミッションを 644 から 755 に変更**します。
 ※PlanManager のファイルマネージャでの操作は 1 ファイルずつの編集となります。

CGI ファイルの右側の 644 部分をクリックし、入力欄に 755 と入れて[モード変更]ボタンをクリックします。

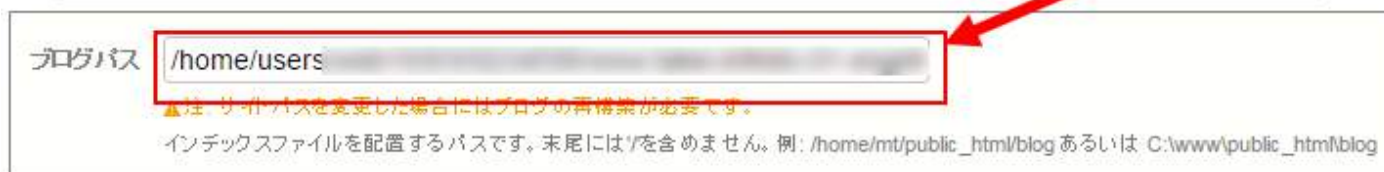
<input type="checkbox"/>	index_old	644
<input type="checkbox"/>	index.php	644
<input type="checkbox"/>	mt-add-notify.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-atom.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-check.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-comments.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-config.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-config.cgi-original	644
<input type="checkbox"/>	mt-config.cgi.copy	644
<input type="checkbox"/>	mt-cp.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-feed.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-ftsearch.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-search.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-tb.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-testbg.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-upgrade.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-wizard.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-xmlrpc.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt.cgi	644
<input type="checkbox"/>	readme.html	644

設定するモードを入力してください。
 モードは 0~7 による 3桁の数です。
 例: 644

/ www. / mt5

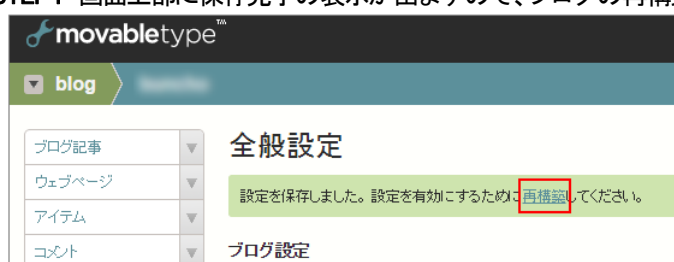
名前	モード
mt.cgi	755

STEP3 管理画面にアクセスして[設定]メニュー内の[全般]画面にて**ブログパス**の編集します。
 ブログパスには、旧サーバーの情報(D:で始まる情報)が入っているため、
 事前準備の **STEP4** で確認した、/home/で始まるドキュメントルートに変更します。



入力後、画面の一番下の[変更を保存]ボタンをクリックします。

STEP4 画面上部に保存完了の表示が出ますので、ブログの再構築をします。



別画面が表示されますので、[再構築]ボタンをクリックすると開始され、終了されましたら[閉じる]で終了します。



ブログの URL にアクセスして表示されるかをご確認ください。

6-3.レポジトリファイルを使用した MovableType の移行方法

MySQL データ移行ツールおよびウェブコンテンツ移行ツールを用いて MovableType の移行を行った際に、文字化けが発生してしまう場合には、お手数ではございますが、レポジトリファイルを使用した移行をお試しいたしますようお願いいたします。

事前準備

STEP1 [4.【必須】データベース(MySQL)の移行について]の STEP4 の手順にて移行したデータベース情報を控えてください。

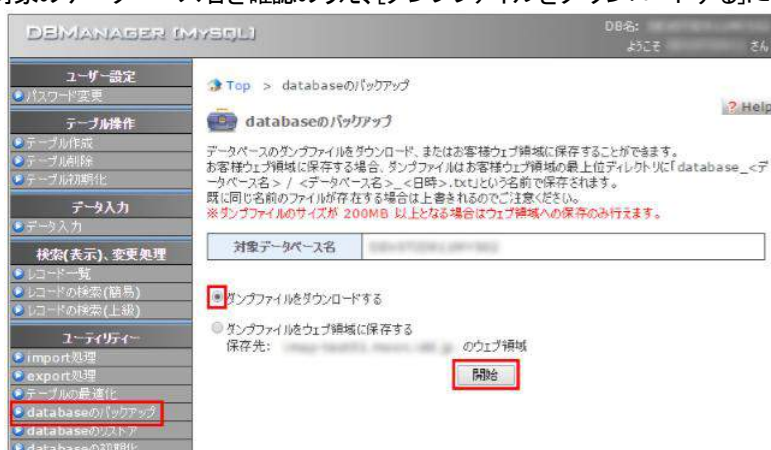
番号	必要項目	お客様の情報をご記入ください
1	データベースサーバー名	
2	ポート番号	
3	データベース名(接続ユーザー名)	
4	パスワード(編集ボタンをクリック)	

STEP2 [PlanManager](#) から DBManager にログインし、移行したデータベースの情報を初期化して空にします。
※本手順では新サーバーの新規のデータベースを用いて MovableType をインストールするため、初期化を行います。

[ユーティリティ]内の[DBManager(MySQL)]をクリックすると、ログイン画面が表示されますので、DB名を選択しパスワードを入力後して[ログイン]ボタンをクリックします。



STEP3 バックアップを取得しておきます。左側メニューの[databaseのバックアップ]をクリックし、対象のデータベース名を確認のうえ、[ダンプファイルをダウンロードする]にチェックを入れて[開始]ボタンをクリックします。



お手元の PC に保存します。

※ご利用のブラウザにより、表記が異なります。

また、PC の設定により自動的に[ダウンロード]ディレクトリーに保存される場合もございます。

STEP4 データベースの初期化を行います。左側メニューの[databaseの初期化]メニューをクリックし、対象データベース名をご確認のうえ、[開始]ボタンをクリックします。



STEP5 初期化が開始されると[詳細]画面が表示され、初期化が終了すると「初期化は終了しました。」と表示されます。
※テーブルの容量により、処理時間は異なります。



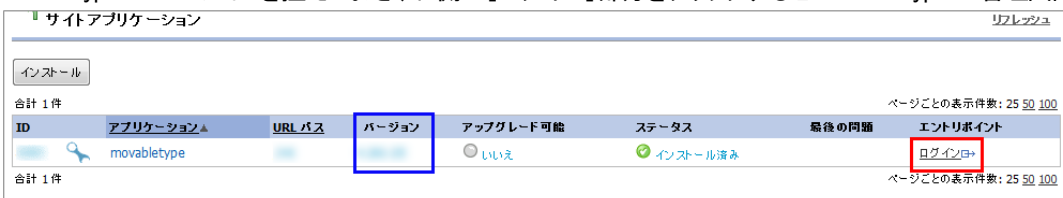
MovableType 移行の手順

STEP1 MovableType の管理画面にログインします。

[CONTROL PANEL](#) にログインし、[ウェブサイト]から、対象ドメイン名をクリックし、[サイトアプリケーション]をクリックします。



MovableType のバージョンを控えておき、右側の[ログイン]部分をクリックすると MovableType の管理画面が表示されます。



STEP2 MovableType のデータのバックアップを取得します。右上の[システムメニュー]から[ツール]をクリックします。



STEP3 左側メニューの[バックアップ]をクリックし[圧縮フォーマット]:zip にチェックを入れ[バックアップを作成]ボタンをクリックします。



STEP4 お手元の PC に zip ファイルを保存し、下記の画面が表示されたらバックアップの取得は完了です。



STEP5 レポジトリファイル(新サーバーにインストールする MovableType のファイル)をダウンロードします。
MovableType のバージョン情報が必要になりますので、STEP1 で控えた MovableType のバージョン情報をご確認ください。

レポジトリファイルのサーバーにアクセスします。

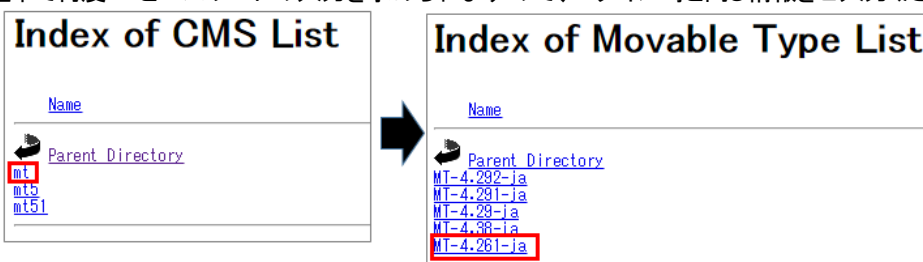
※ログイン ID とパスワードは、ご契約の登録メールアドレスにお送りしている下記の件名のメールにてご確認ください。

件名 : 【GMO クラウド】【ドメイン名】新サーバー設定完了のお知らせ

ログイン後、ご利用の MovableType のバージョンのファイルまで進みます。

※下記の画像は、MovableType4.261 を例として掲載しており、MovableType4 の場合は、[mt]をクリックします。

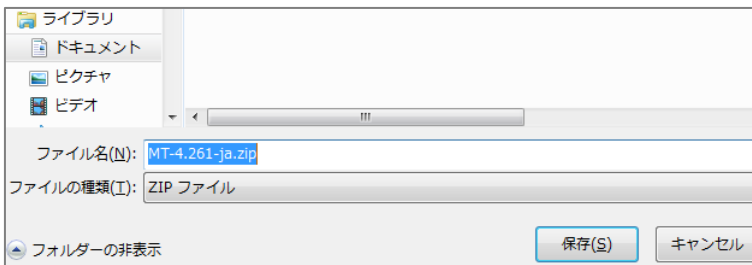
途中で再度 ID とパスワードの入力を求められますので、ログイン時と同じ情報をご入力ください。



お手元の PC に zip ファイルを保存します。

※ご利用のブラウザにより、表記が異なります。

また、PC の設定により自動的に[ダウンロード]ディレクトリーに保存される場合もございます。

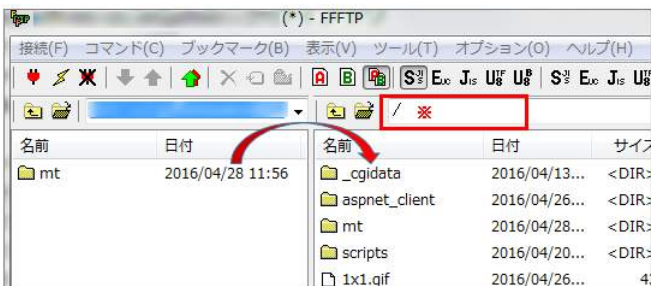


STEP6 ダウンロードした zip ファイルを解凍し、新サーバーにアップロードします。zip ファイルをクリックすると解凍が始まります。解凍完了後、ディレクトリー名を、任意の名称に変更します。※事例では[mt]とします。



新サーバーの FTP アカウントで FTP 接続をして、ドキュメントルート配下にアップロードします。

※FTP アカウントの確認や接続については、...の項目をご確認ください。



※上記の画像では、FTP 接続しているユーザーの権限は、[サイト管理者権限]を例にしています。

権限が[ドメイン管理者権限]で FTP 接続している場合には、/www.ドメイン名/ 配下にアップロードしてください。

STEP7 アップロードしたファイルを編集します。

[PlanManager](#) にログインし、[ファイルマネージャ]から[www.ドメイン名]のディレクトリーをクリックし、[mt]ディレクトリーを開きます。



mt-config.cgi-original ファイルをコピーして、**mt-config.cgi** に名前変更して保存します。
 mt-config.cgi-original ファイル左側にチェックを入れて[ここにコピー]ボタンをクリックし、
 [新しい名前]欄に mt-config.cgi と入力し[ここにコピー]ボタンをクリックします。

mt-config.cgi ファイルを開き、事前準備の STEP1 で確認したデータベース情報を設定します。

<input type="checkbox"/>	mt-comments.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-config.cgi	644
<input type="checkbox"/>	mt-cp.cgi	644

```

# The CGIPath is the URL to your Movable Type directory
CGIPath http://www.example.com/cgi-bin/mt/
# The StaticWebPath is the URL to your mt-static directory
# Note: Check the installation documentation to find out
# whether this is required for your environment. If it is not,
# simply remove it or comment out the line by prepending a
StaticWebPath http://www.example.com/mt-static
# ===== DATABASE SETTINGS =====
# REMOVE all sections below that refer to databases
# other than the one you will be using.

##### MYSQL #####
ObjectDriver DBI::mysql
Database DATABASE_NAME
DBUser DATABASE_USERNAME
DBPassword DATABASE_PASSWORD
DBHost localhost

##### POSTGRESQL #####
ObjectDriver DBI::postgres
Database DATABASE_NAME
DBUser DATABASE_USERNAME
DBPassword DATABASE_PASSWORD
DBHost localhost

##### SQLITE #####
ObjectDriver DBI::sqlite
Database /path/to/sqlite/database/file
  
```

CGIPath http://www.ドメイン名/mt/

StaticWebPath http://www.ドメイン名/mt/mt-static/

変更します。

**##### POSTGRESQL #####
以下は削除します。**

Database データベース名
DBUser 接続ユーザー名(データベース名と同じ)
DBPassword データベースのパスワード
DBHost データベースサーバー名
DBPort ポート番号

編集完了後、[保存して終了]ボタンをクリックします。

STEP8 MovableType をインストールします。お手元の PC の「hosts ファイル」を編集します。

※hosts ファイルの設定については、[5-6-2.hosts ファイルの設定方法](#) をご確認ください。

hosts ファイルの設定に必要な、ウェブサーバーの IP アドレスの確認方法は、[PlanManager](#) にログイン後、ユーザー管理内の [ユーザー切り替え] をクリックし、任意のユーザーにチェックを入れて [切り替え] ボタンをクリックし、個別ユーザー管理内の [ユーザー情報] にウェブサーバーの IP アドレスが掲載されております。確認方法の詳細(画像入り手順)については、「[1-2【必須】新サーバー情報の確認方法](#)」にてご確認ください。

http://www.ドメイン名/mt/ にアクセスし、順番に入力していきます。各項目を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

ユーザー名 : admin など管理画面にログインする際の名称を指定します

表示する名前 : ユーザー名と同じ、または個別に指定します

電子メール : テストメールが配信されるメールアドレスを指定します

使用言語 : [日本語]が選択されています

パスワード : 管理画面にログインする際のパスワードを指定します

パスワード再入力 : 上記と同じパスワードを入力します

各項目を入力後、[インストール]ボタンをクリックします。

例として、http://www.ドメイン名/blog/ という URL で公開する場合は、ブログ URL に『http://www.ドメイン名/blog/』と入力します。

ブログ名 : ブログの名称を指定します

ブログ URL : ブログの URL を指定します

※控えておいてください。

公開パス : ブログ URL に指定すると自動的に指定されます

※控えておいてください。

テンプレートセット : 必要に応じて任意で設定します

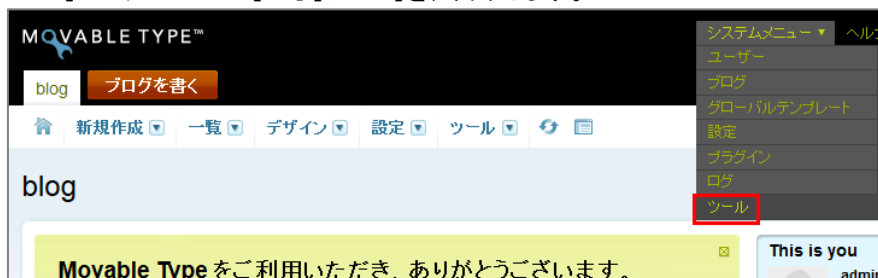
タイムゾーン : UTC+9(日本時間)となっています

画面で文字列が動いてインストールが行われ、完了すると下記の画面表示になります。
[MovableType にサインイン]ボタンをクリックすると管理画面にログインできます。

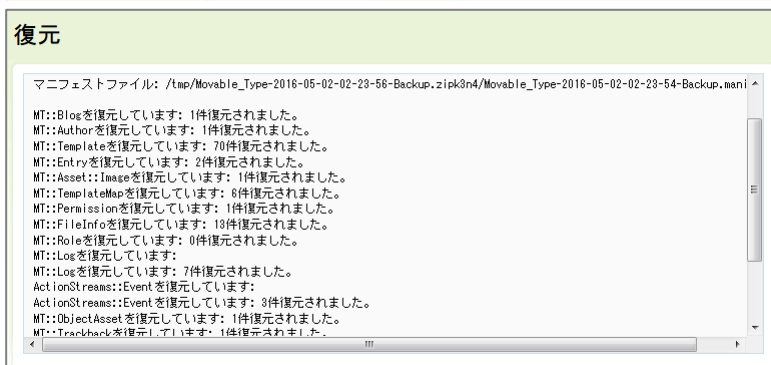


STEP9 ご利用状況に応じてプラグインやテンプレートをインストールしてください。

STEP10 旧サーバーで取得しておいたバックアップファイルを移行先サーバーで復元します。
右上の[システムメニュー]から[ツール]をクリックします。



バックアップした zip ファイル名を参照し、[グローバルテンプレートを上書きする]にチェックを入れて[復元]ボタンをクリックします。



途中で、[公開設定]の画面が表示されますので、インストール時に控えておいて公開パスとブログ URL を入力し [次へ] ボタンをクリックします。

サイトパス : 控えておいた[公開パス]を指定します
※/home/で始まるパスです

サイトURL : 控えておいたブログ URL を指定します

復元の続きが始まり、完了すると下記の画面が表示されて終了となります。

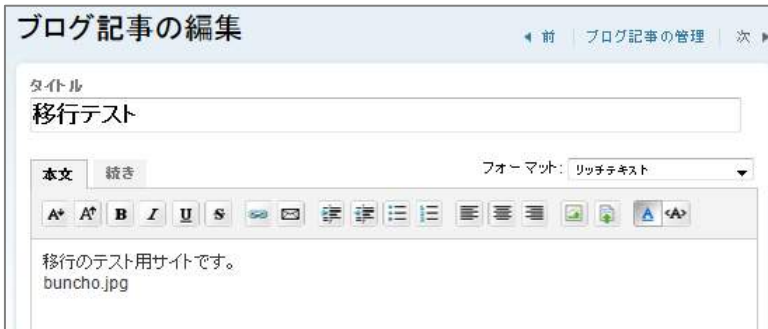
STEP11 ブログの再構築とファイルの編集をします。

[MovableType]の文字部分をクリックして管理画面 TOP に戻り、再構築ボタンをクリックすると、再構築する対象を選択する画面が表示されますので[すべてのファイル]のまま[再構築]ボタンをクリックします。



完了すると下記の画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックして終了させます。

画像ファイルの復元先が移行前のパスと異なって移行されるため、ファイルの移動が必要となります。



STEP12 [PlanManager](#) にログインし、ファイルマネージャから www.ドメイン名/ にアクセスし、対象のファイルを移動させます。対象の画像ファイルにチェックを入れて[移動]ボタンをクリックします。



移動先を[blog]に指定して[移動]ボタンをクリックします。



移動後にファイル名を変更します。

対象ファイル名の右側のマークをクリックするか、チェックを入れて[名前変更]ボタンをクリックします。blog*部分を削除した名前に変更して[名前変更]ボタンをクリックします。



MovableType の公開 URL にアクセスして、表示をご確認ください。

6-4 EC-CUBE の移行

6-4-1.EC-CUBE 自動インストール版の移行

事前準備

STEP1 [\[4.【必須】データベース\(MySQL\)の移行について\]](#)をご参照のうえ、**EC-CUBE で使用しているデータベースの移行**を行い、移行されたデータベース情報を控えておいてください。

すでに移行が完了している場合には、[PlanManager](#) 内の [データベース設定画面](#)にて情報をご確認いただけます。

番号	必要項目	お客様の情報をご記入ください
1	データベースサーバー名	
2	ポート番号	
3	データベース名(接続ユーザー名)	
4	パスワード(編集ボタンをクリック)	

STEP2 [\[5-1.【必須】ウェブコンテンツ移行ツールのご利用方法\]](#)をご参照のうえ、**ウェブコンテンツデータの移行**を完了させておいてください。

EC-CUBE の各ファイルは、旧サーバーで設定されているドキュメントルートの種類によりディレクトリーが異なります。ディレクトリー構造については、[\[5.【必須】ウェブコンテンツの移行について\]](#)にてご確認ください。
 なお、本ガイドでは旧サーバーのドキュメントルートが、/wwwroot/ドメイン名/ の場合を想定して手順を掲載しております。

STEP3 **ご利用の PC の hosts ファイルに、新サーバーの情報を登録**しておきます。

hosts ファイルの設定方法については、[5-6-2.hosts ファイルの設定方法](#) をご参照のうえ、設定を行ってください。
 hosts ファイルには、新サーバーの **ウェブサーバーIP アドレス情報が必要**となりますので、[\[1.【必須】移行先\(新サーバー環境\)の確認方法について\]](#)をご参照のうえ情報の確認を行ってください。

STEP4 **新サーバーのドキュメントルート**を[\[1.【必須】移行先\(新サーバー環境\)の確認方法について\]](#)にてご確認のうえ、お控えください。

EC-CUBE 関連データの編集

STEP1 EC-CUBE の設定ファイル(install.php)のバックアップを取得してから編集を行います。

[PlanManager](#) にログインし、[ユーティリティ]から[ファイルマネージャ]を開き、install.php ファイルを開きます。

mig_temp > webapps > EC-CUBE-xxxxx ディレクトリー >htdocs > data と進みます。

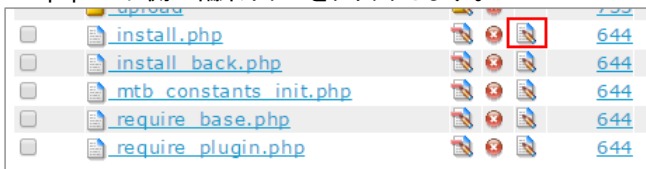
install.php ファイルの編集前にバックアップを取得されることをお勧めいたします。

・バックアップの取得

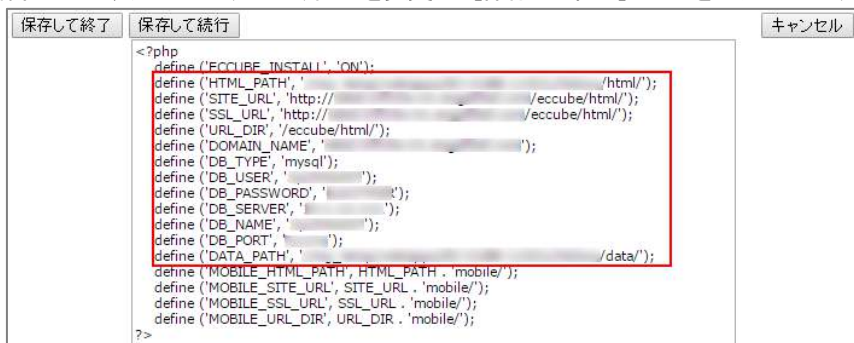
The screenshot shows the Plan Manager interface. On the left, the 'File Manager' menu is highlighted. The main area displays a file list with 'install.php' selected. A dialog box is open for renaming the file, with the new name 'install.php_back' entered. A yellow callout box with the text '別名をつけて保存してください。' (Please save with a different name.) points to the dialog box.

・install.php ファイルの編集

install.php の右側の編集ボタンをクリックします。



編集画面が表示されますので、記述を変更して[保存して終了]ボタンをクリックします。



```
define ('HTML_PATH', '/home/で始まるドキュメントルート/eccube/html/');
define ('SITE_URL', 'http://ドメイン名/eccube/html/');
define ('SSL_URL', 'http://ドメイン名/eccube/html/');
define ('URL_DIR', '/eccube/html/');
define ('DOMAIN_NAME', 'ドメイン名');
define ('DB_TYPE', 'mysql');
define ('DB_USER', '新サーバーのデータベースユーザー名が記載が記載済み');
define ('DB_PASSWORD', '新サーバーのデータベースのパスワードが記載済み');
define ('DB_SERVER', '新サーバーのデータベースサーバー名へ変更します'); ※10.で始まる数字になっていたら変更が必要です
define ('DB_NAME', '新サーバーのデータベース名が記載済み');
define ('DB_PORT', '新サーバーのデータベースポート番号が記載済み');
define ('DATA_PATH', '/home/で始まるドキュメントルート/eccube/data/');
```


STEP2 .htaccess ファイルを無効化します。

mig_temp > webapps > EC-CUBE-xxxxx ディレクトリー > htdocs > html と進み、
[.で始まるもの]にチェックを入れて[再表示]ボタンをクリックします。



.htaccess ファイルを任意の別名称に変更します。

※パーミッションを000に変更しても解消しないため、ファイル名をご変更ください。



STEP3 移行された EC-CUBE 関連のディレクトリーをドキュメントルート配下に配列しないとウェブサイト表示ができないため、/htdocs/ドキュメントルート配下のディレクトリーおよびファイルをドキュメントルート配下に移動します。

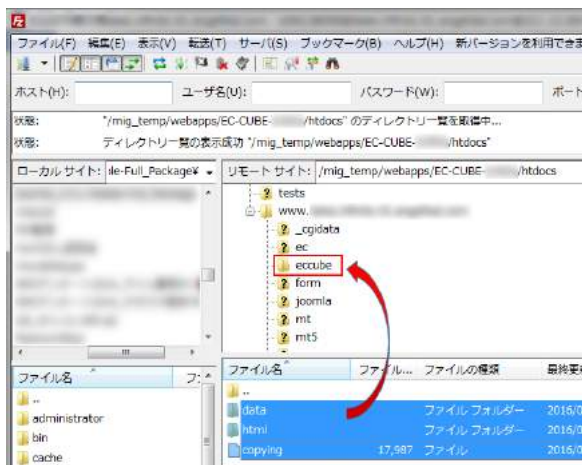
旧サーバーで設定したディレクトリー名と合わせるため、ドキュメントルート配下に（事例では）/eccube/ ディレクトリーを新設し、その中に/htdocs/配下のディレクトリーおよびファイルを移動させます。

www.ドメイン名/eccube/のディレクトリーの作成は、FTP ソフトまたは [PlanManager](#) のファイルマネージャから作成できます。

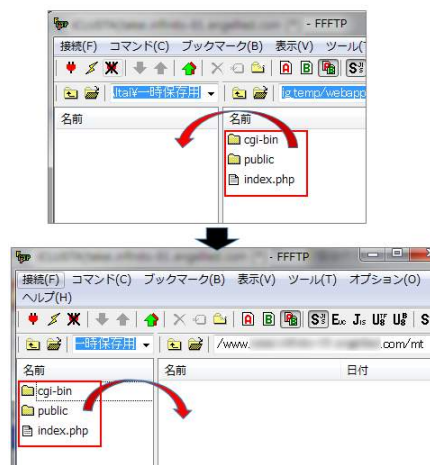


ディレクトリーの移動は FTP ソフトにて行います。下の画面にて、mig_temp/webapps/EC-CUBExxxx/htdocs/ まで開き、FTP ソフトの上の画面にて www.ドメイン名/eccube/を開き、htdocs/の中身を/eccube/の中へ移動させます。

※FTP ソフト:FileZilla を使用した場合



※FTP ソフト:FFFTP の場合



STEP4 新サーバーにて 管理画面 <http://www.ドメイン名/eccube/html/admin> を開きます。
※ログイン ID とパスワードは、移行前サーバーで設定していたものと同じとなります。

◆ログイン画面でエラーが表示されてしまった場合



お客さまごとにエラーの原因は異なる場合がございますが、PHP のバージョンの相違によるエラーの場合、**data/class/SC_Initial.php の 102 行目を編集することで解消する場合がございますのでお試しください。**
※SC_Initial.php 内には行番号は記載されていないため、TeraPad などのエディタで確認してください。

```
error_reporting(E_ALL & ~E_NOTICE);
↓
error_reporting(E_ALL & ~E_NOTICE & ~E_DEPRECATED & ~E_STRICT);
```

その後、下記のエラーが表示された場合には、対象部分をコメントアウトも併せてお試しください。

エラー文

Warning: ob_start(): non-static method SC_MobileEmoji::handler() should not be called statically in /home で始まるドキュメントルート /eccube/data/require_base.php on line 92

対処方法

/data/require_base.php ファイルを開いて、92 行目(一番下の一行)をコメントアウトして[保存して終了]ボタンをクリックします。

// 絵文字変換 (除去) フィルターを組み込む。

```
ob_start(array('SC_MobileEmoji', 'handler'));
```

↓

// 絵文字変換 (除去) フィルターを組み込む。

```
// ob_start(array('SC_MobileEmoji', 'handler'));
```

STEP5 旧サーバーと新サーバーでの仕様に違いにより、メール配送システムを[SMTP]から[sendmail]に変更を行います。

◆EC-CUBE 管理画面上での設定

1.管理画面にログイン後、[システム設定]から[パラメーター設定]に進みます。



2.一覧の中の[MAIL_BACKEND]の値を“smtp”から“sendmail”に変更して、画面の一番下にある[この内容で登録する]ボタンをクリックします。



3. 次に、[PlanManager](#) にログインして php ファイルの記述を変更します。

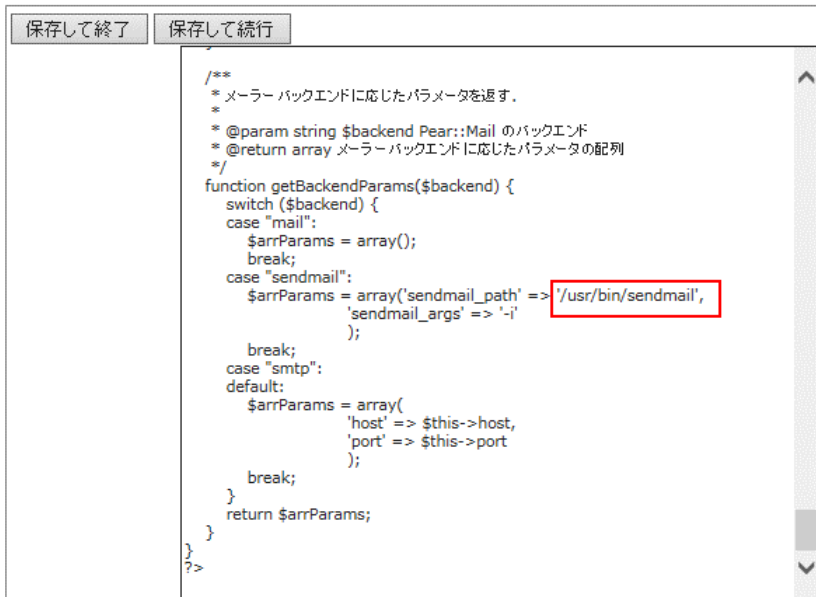
ファイルマネージャ画面にて、/www/ドメイン名/EC-CUBE のディレクトリー/data/class/ と進み、SC_SendMail.php ファイルの右側のファイル編集ボタンをクリックして開きます。



下図の赤枠部分の文字列を修正して[保存して終了]ボタンをクリックします。

※画面の下までスクロールすると対象箇所が見つかりやすいです。

変更箇所 '/usr/bin/sendmail', ⇒ '/usr/sbin/sendmail',



※上記の設定を EC-CUBE 管理画面上ではなく、[PlanManager](#) 内にある DBManager から設定することも可能です。

1.[データベース設定]画面の対象データベース名欄の[編集]ボタンをクリックするとパスワードが確認できます。

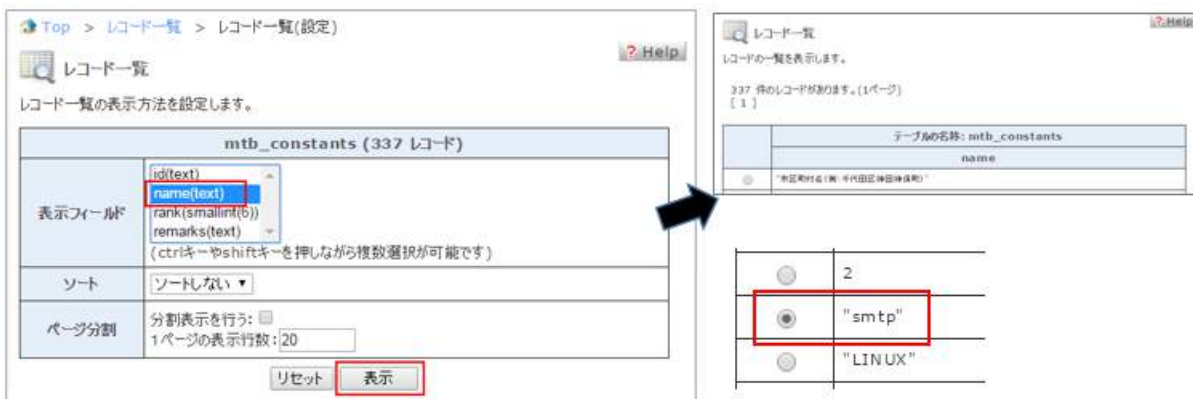
確認後、[DBManager]ボタンをクリックして、DBManager のログイン画面からログインをします。



2.[レコード一覧]をクリックし、[mtb_constants]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



3.[表示フィールド]にて[name(text)]をクリックして[表示]ボタンをクリックするとテーブルの名称の一覧が表示されますので“smtp”にチェックを入れて[変更]ボタンをクリックします。



4.name 欄の“smtp”を“sendmail”に書き換えて[レコード変更]ボタンをクリックします。



以上で EC-CUBE のメール配送システムの設定変更は終了です。

6-4-2.EC-CUBE 手動インストール版の移行

MySQL の移行ツールならびにウェブコンテンツ移行ツールを使用して各データを移行した後に、新サーバーでは動作しない記述のある .htaccess ファイルを外すことでサイトが表示されます。

STEP1 移行完了後、[PlanManager](#) からファイルマネージャにて[で始まるもの]にチェックを入れて[再表示]ボタンをクリックします。



STEP2 .htaccess ファイルを任意の別名称に変更します。

※**パーミッションを 000 に変更しても解消しない**ため、ファイル名をご変更ください。



EC-CUBE のサイト URL にアクセスして表示をご確認ください。

※管理画面にアクセスした際にエラーが表示される場合には、[こちら](#)の作業をお試しください。

また、セキュリティの観点から、EC-CUBE のバージョンが古い場合には、バージョンアップいただくことをお勧めいたします。

6-5. WordPress の移行

MySQL の移行ツールならびにウェブコンテンツ移行ツールを使用して各データを移行することで WordPress の移行も完了します。

サイト URL にアクセスをして表示されるかをご確認ください。

なお、**自動インストール版をご利用の場合には、wp-config.php ファイル内の下記の記述をご変更ください**ますよう、お願いいたします。

■変更箇所

```
define('DB_HOST', '10.で始まる IP アドレス');
```

↓

```
define('DB_HOST', '新サーバーのデータベースサーバー名:ポート番号');
```

※データベースサーバー名とポート番号の間は半角のコロン「:」を入れます(スペース(空白)は不要です)

また、**WordPress をドメイン名で直接表示させている場合**には、新サーバー側のドキュメントルート(www.ドメイン名ディレクトリー)に初期状態で入っている index.html ファイルを **index.html 以外の任意の名称に変更**してください。

※index.php よりも index.html が優先して表示されてしまうため名前を変更して index.php ファイルが表示されるようにします。

■index.html ファイルの名前変更

[PlanManager](#) からファイルマネージャに進み、www.ドメイン名のディレクトリー配下にある index.html の右側のアイコンをクリックし、[新しい名前]欄に任意の名称に変更して[名前変更]ボタンをクリックします。



6-5-1 WordPress のバージョンアップについて

セキュリティの観点から、なるべく最新のアプリケーションをご利用されることをお勧めします。
本マニュアルでは、WordPress3.5.1 から 4.6.1 へのバージョンアップの一例をご紹介します。

重要

お客さまのご利用方法によって、アップデート後にサイトの表示が崩れる、ページ表示ができなくなる、管理画面に入れなくなるなどの問題が発生する可能性があります。

事前に必ずデータのバックアップをお取りいただくようお願いします。

アップデート後に問題が発生した場合、弊社より個別の修正・復旧方法などの対処方法についてのご案内を差し上げることはできかねます。

バックアップをお取りいただくとともに、お客さまご自身でご対応をお願いいたします。

PHP のバージョンによる不具合があった場合は PHP5.6 に対応したプラグインのご利用をご検討ください。

本マニュアルは下記のガイドの手順を参考にしたダイジェスト版となります。

お客さまごとにより手順が異なりますため、事前に下記のサイトをご参照くださいますよう、お願いいたします。

[WordPress Codex 日本語版:バージョン 2.7 以降から 4.6.1 へのアップグレード手順](#)

[WordPress Codex 日本語版:バージョン 1.5.x、2.0~2.6.5 から 4.6.1 へのアップグレード手順](#)

[WordPress Codex 日本語版:バージョン 1.2.x 以前から 4.6.1 へのアップグレード手順](#)

[WordPress Codex 日本語版:WordPress ME から 4.6.1 へのアップグレード手順](#)

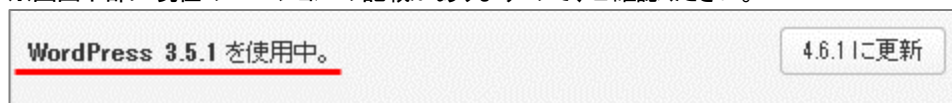
■WordPress のデータのバックアップの取得

STEP1 WordPress 管理画面へログイン

ご利用の WordPress の管理画面にログインし、左側のメニューの[更新]をクリックします。



※画面下部に現在のバージョンの記載がありますので、ご確認ください。



STEP2 バックアップの準備

「データベースとファイルをバックアップしてください」の部分をクリックします。



STEP3 WordPress のサイトの確認

別画面にてWordPress のサイトが表示され、バックアップについてご案内されておりますので、ご確認ください。
 なお、本マニュアルでは、下記の2項目をご案内いたします。

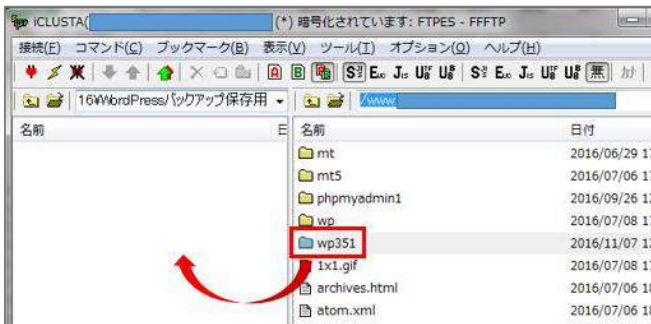
- ・WordPress サイトのバックアップ
- ・データベースのバックアップ

※プラグインなどご利用状況により別途必要な項目がある場合もございますので、サイトをご一読ください。



STEP4 WordPress サイトのバックアップ

FTP 接続にてサーバーに接続し、WordPress のフォルダをお手元の PC などに保存します。



※事例の WordPress のフォルダ名は一例です。

STEP5 データベースのバックアップ

[PlanManager](#) にログインし、[ユーティリティ]の[データベース設定]をクリックし、WordPress で利用しているデータベース欄の[DBManager]をクリックします。



データベースのパスワードがご不明な場合には、[編集]ボタンをクリックすると、パスワードをご確認いただけます。



STEP6 DBManager にログイン

DBManager のログイン画面が表示されたらパスワードを入力してログインします。[database のバックアップ]メニューに進み、「ダンプファイルをダウンロードする」にチェックを入れて[開始]ボタンをクリックして、お手元に PC に保存してください。



■ WordPress のバージョンアップ

WordPress のバックアップの取得が完了したら、バージョンアップを行います。

STEP7 WordPress の更新

WordPress の管理画面に戻り、[いますぐ更新]ボタンをクリックします。



「WordPress を更新」の表示になり、更新が始まります。



STEP8 データベースの更新

データベースの更新画面が表示されますので、[WordPress データベースを更新]ボタンをクリックします。



STEP9 更新完了

更新が完了したら[続ける]ボタンをクリックすると、WordPress ログイン画面が表示されますのでログインします。

**STEP10 WordPress 管理画面にログイン**

左側メニューの[ダッシュボード]から[更新]をクリックします。

**STEP11 プラグインの更新**

[すべて選択]にチェックを入れて、[プラグインを更新]をクリックします。



「すべての更新が完了しました。」と表示されたら、再度[更新]ボタンをクリックします。



STEP12 テーマの更新

[すべて選択]にチェックを入れて、[プラグインを更新]をクリックします。

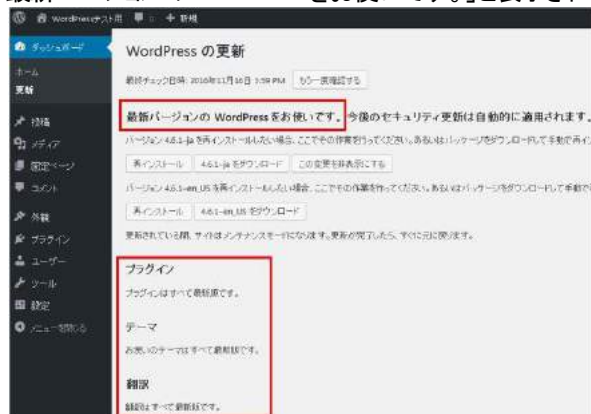


※翻訳についても更新がある場合には、同様に更新を行います。
更新が完了したら、[ダッシュボード]をクリックします。



STEP13 WordPress の更新の確認

「最新バージョンの WordPress をお使いです。」と表示され、プラグイン、テーマ、翻訳が最新版となっていたら完了です。



STEP14 WordPress サイトの確認

WordPress サイトにアクセスして表示されるかをご確認ください。

7.その他の機能について

7-1.ディスク使用量確認

[ディスク使用量確認]機能は、ご利用サーバーのウェブ領域とメール領域の使用量の確認ができます。

また、一定の容量に達した場合に、指定のメールアドレス宛に警告のお知らせを送ることも可能です。

1	使用率	メール容量およびウェブ領域の使用率をグラフで表示します。 "使用率"の表示内容はお客さまのご契約プランによって変わります。
2	使用量/契約容量	メールおよびウェブのディスク使用量と契約容量を MB で表示します。 "使用量/契約容量"の表示内容はお客さまのご契約プランによって変わります。
	更新	[更新]ボタンをクリックすると最新の使用量/契約量が表示されます。 ※クリック後、1 時間はボタンが押せないため、再確認が必要な場合には、1 時間経過後にクリックしてください。
4	警告値	ディスク使用率が特定の値に達した場合、設定したメールアドレスに警告メールを送信することができます。 設定できる使用率は 50%、60%、70%、80%、90%です。 "通知しない"を選択した場合や送信先メールアドレスが空白の場合は、 使用率が増加しても警告メールは送信されません。
5	送信先	メールおよびウェブのディスク使用率が警告値に達した場合に送られる警告メールの送信先を設定します。

各項目の入力完了後、[設定の保存]ボタンをクリックすると、登録完了画面が表示されて作成終了となります。

7-2.ファイルマネージャ機能

【ファイルマネージャ】は、管理画面上(ウェブブラウザ)を使ってファイルのアップロードやディレクトリーの作成、削除などが行えるファイル管理ツールです。

【ユーティリティ】の中の【ファイルマネージャ】をクリックすると、ディレクトリーおよび各メニューが表示されています。



【作成】【HTML】、【PHP】、【Perl】、【Text】をそれぞれクリックすると作成画面が表示されます。

【HTML】



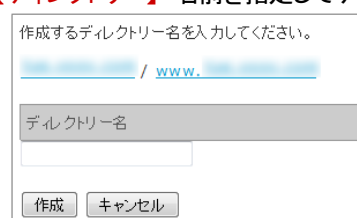
【PHP】



【Perl】

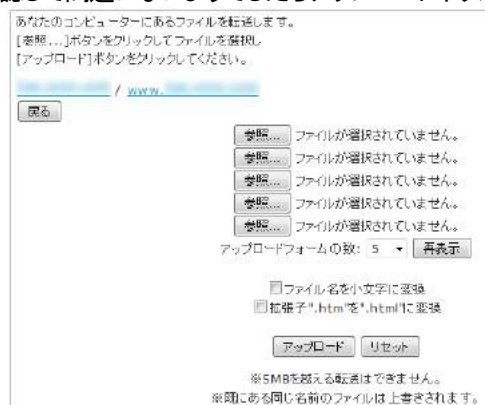


【ディレクトリー】名前を指定してディレクトリーの作成が行えます。



【アップロード】ファイルのアップロードが可能です。参照ボタンを押してファイルを指定してください。

確認して間違いのないようでしたらアップロードボタンを押してください。右側にファイル名とアップロード成功が表示されたら完了です。



【編集】 対象ファイルの右側の[編集]アイコンをクリックするとファイルが開き、編集が行えます。編集完了後に[保存して続行]または[保存して終了]ボタンをクリックして保存してください。



【名前変更】 対象ファイルにチェックを入れて[名前変更]ボタンをクリックするか、ファイル名横のアイコンをクリックし、[新しい名前]にファイル名を入力して[名前変更]ボタンをクリックします。



【ここにコピー】 対象ファイルにチェックを入れて[ここにコピー]ボタンをクリックし、[新しい名前]にファイル名を入力して[ここにコピー]ボタンをクリックします。



【モード変更】 対象ファイルにチェックを入れて[モード変更]ボタンをクリックするか、モード欄の数字部分ををクリックし、[モード]に数字(パーミッション)を入力して[モード変更]ボタンをクリックします。



【削除】 対象ファイルにチェックを入れて[削除]ボタンをクリックするか、ファイル名横の×アイコンをクリックし、削除対象ファイルをご確認のうえ、[削除]ボタンをクリックします。**※削除したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。**



【移動】対象ファイルにチェックを入れて[移動]ボタンをクリックし、移動先のディレクトリーを指定して[移動]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを:

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
	上の階層へ				
	FormMail		755	-	2015/
	Home		755	-	2015/
	_cgiddata		700	-	2015/
	analog		755	-	2014/
<input type="checkbox"/>	Tulips.jpg		644	606.34K	2009/
<input type="checkbox"/>	index.htm		644	204	2015/
<input checked="" type="checkbox"/>	index.html		644	1.13K	2015/

移動するファイル
index.html

移動先:

【コピー】対象ファイルにチェックを入れて[コピー]ボタンをクリックし、コピー先のディレクトリーを指定して[コピー]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを:

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
	上の階層へ				
	FormMail		755	-	2015/
	Home		755	-	2015/
	_cgiddata		700	-	2015/
	analog		755	-	2014/
<input type="checkbox"/>	Tulips.jpg		644	606.34K	2009/
<input type="checkbox"/>	index.htm		644	204	2015/
<input checked="" type="checkbox"/>	index.html		644	1.13K	2015/

コピーするファイル
index.html

コピー先:

7-3.コマンド検索

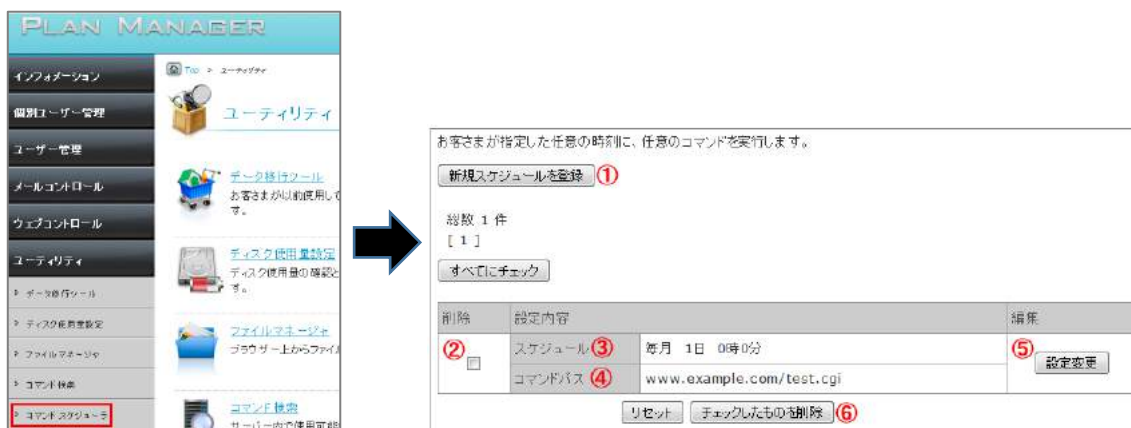
[コマンド名]のフィールドに検索するコマンドを入力し、検索ボタンをクリックすると、パスが表示される機能です。よく使用する UNIX コマンドが存在するか検索し結果を表示します。



1	コマンド名	検索するコマンドのコマンド名を入力し、[検索]ボタンをクリックします。
2	検索結果	[検索]ボタンをクリックすると、結果を表示します。 存在する場合は、コマンドのパスを表示します。 存在しない場合には、「コマンドが見つかりませんでした」と表示されます。

7-4.コマンドスケジューラ

コマンドスケジューラは、お客さまのウェブ領域に配置されたスクリプトを設定されたスケジュールに従って定期的処理するものです。



1	新規スケジュールを登録	新規にスケジュールを登録する場合は、“新規スケジュールを登録”ボタンをクリックしてください。登録画面へ遷移します。
2	削除	削除するコマンドにチェックします。削除は1ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
3	スケジュール	指定されたコマンドを実行する日時を表示します。
4	コマンドパス	指定された日時に実行するスクリプト等を表示します。パスは、お客さまのウェブのホームディレクトリからの相対パスになります。
5	設定変更	設定を変更したいスケジュールの“設定変更”ボタンをクリックしてください。スケジュール設定変更画面へ遷移します。
6	チェックしたものを削除	削除するスケジュールをチェックし、“チェックしたものを削除”ボタンをクリックすると、削除確認画面へ遷移します。削除確認画面で“削除”ボタンをクリックすると、チェックしたスケジュールがすべて削除されます

【新規スケジュールを登録】

お客さまが指定した任意の時刻に、任意のコマンドを実行します。
コマンドパスには、お客さまのホームディレクトリからの相対パスで指定してください。

繰り返し設定 ①

日付指定 1 月 1 日

毎月 1 日

毎日

曜日指定

日 月 火 水 木 金 土

実行時刻 ② 0 時 0 分

コマンドパス ③

1	繰り返し設定	実行したい日を指定します。
2	実行時刻	実行したい時刻を指定します。
3	コマンドパス	指定された日時に実行するスクリプトの保存場所を指定します。パスは、お客さまのウェブのホームディレクトリからの相対パスになります。 【設定例】 www.example.com/test.cgi

各項目に入力後、[設定の保存]ボタンをクリックします。

7-5.バックアップについて

誠に恐れ入りますが、移行先サーバーには、自動バックアップ等の機能がございません。

そのため、大変お手数ではございますが、お客さまにて定期的にFTPソフト等を用いてローカル環境にデータをダウンロードするなどのご対応を行っていただきますよう、お願いいたします。

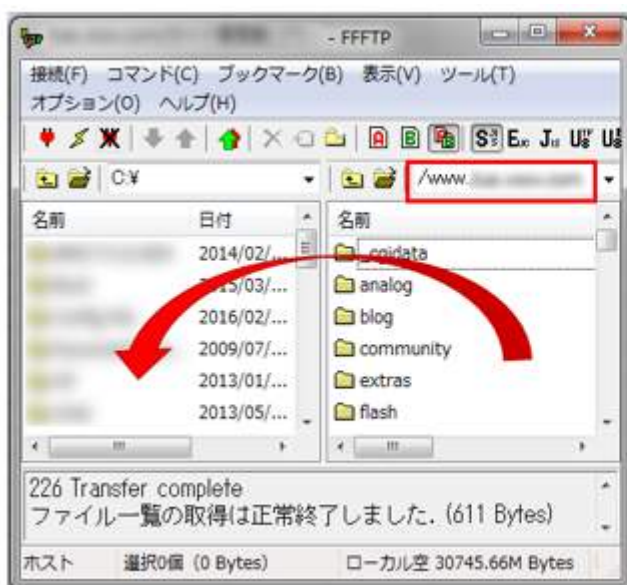
FTPソフトでのデータのダウンロード

※FFFTP や他の FTP ソフトの設定については、本ガイド内の[\[5-4.FTPソフトの設定方法\]](#)にてご紹介しております。

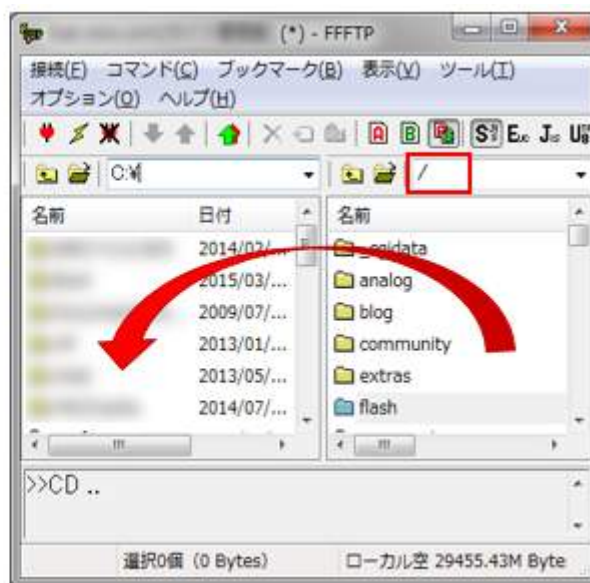
FTPソフトにて接続している場合、右側がサーバー側の情報となります。

- ・ドメイン管理者権限のユーザーで接続している場合には、www.ドメイン名/ 配下のディレクトリーやファイル
- ・サイト管理者権限のユーザーで接続している場合には、表示されているディレクトリーやファイル

【ドメイン管理者権限でアクセスした場合】



【サイト管理者権限でアクセスした場合】



なお、有償のオプションとなってしまいますが、[\[データ復旧サービス\]](#)をご用意しております。

■データ復旧サービス【お申込みに関する注意点】

1. データ復旧作業の実施は平日の営業時間内のみとさせていただきます。ご希望の場合には、こちらよりご依頼ください。
2. 迅速にデータ復旧作業を行うためにも、復旧したいデータの日付より3日以内(土日含む)に 当オプションをお申込みください。それ以降の時点でお申込みの場合、データ復旧が困難となります。
3. データ復旧の対象となる範囲はホームディレクトリー内の領域とし、eメールに関しては対象外となります。
4. データ復旧に関しましては、ご希望にそえない場合もございます。
5. データベースの復旧はダンプファイルのご提供のみとなりますのでご注意ください。

8. **【必須】** DNS 切り替えについて

移行先サーバーのご準備が整いましたら、DNS の切り替え作業を行っていただくことで、ドメイン名で移行先サーバーに接続できるようになります。

※サブ/マルチドメインにおいても同様の手続きとなります。

すべてのサブドメインの移行準備が整ってから DNS の切り替えを行ってください。

旧サーバーは移行先サーバー設定完了後、60 日間経過するとアクセスが行えなくなりますので、プロパゲーション期間を考慮のうえ、お早めに DNS サーバー情報変更されることをお勧めいたします。

DNS の切り替え方法については、ご利用の DNS、ドメイン名の管理によってお手続き方法が異なりますので、お客さまのご利用状況に応じたお手続き方法をご覧ください。

- ・ [弊社 DNS をご利用で、弊社にてドメイン名の管理代行されているお客さま](#)
- ・ [弊社 DNS をご利用で、他社にてドメイン名の管理代行されているお客さま](#)
- ・ [他社 DNS をご利用のお客さま](#)
- ・ [DNS 切り替え完了後、新サーバーでの運用に関するお問い合わせ先](#)

なお、新サーバーに初期設定されるゾーン情報は、下記の通りです。

NS	86400	専用 DNS サーバー名	
NS	86400	専用 DNS サーバー名	
MX	3600	mx.domain	100
A	3600	WEB サーバー用 IP アドレス	
A www	3600	WEB サーバー用 IP アドレス	
A ftp	3600	FTP 用 IP アドレス	
A mx	3600	mx 用 IP アドレス	
A pop	3600	POP 用 IP アドレス	
A smtp	3600	SMTP 用 IP アドレス	
A imap	3600	imap 用 IP アドレス	

※旧サーバーで追加・編集されたゾーン情報は引継がれませんので、お手数ですが、ドメイン接続変更前に [ゾーン情報の追加・編集](#)を行ってくださいませよう、お願いいたします。

現在ご利用の DNS、ドメイン名の管理代行の有無がご不明なお客さまは以下をご確認ください。

ご利用の DNS サーバーの確認方法

現在ご利用の DNS サーバーがご不明な場合には[Whois]にてご確認いただくことが可能です。

[8-3. 現在ご利用の DNS サーバーの確認方法](#) をご確認ください。

ドメイン名の管理代行の確認方法

アカウントマネージャーにログインして[契約一覧]メニューから、ドメイン名左側の[詳細]ボタンをクリックすると[契約種別]の欄に記載されております。 ※下記手順の [STEP3](#) の画面にてご確認いただけます。

弊社 DNS 情報につきましては、移行先サーバー設定完了時に配信される以下件名のメールをご確認ください。

件名 : **【GMO クラウド】【お客さまドメイン名】新サーバー設定完了のお知らせ**

8-1. DNS の切り替え（弊社 DNS ご利用希望のお客さま）

移行先サーバーへのデータ移行が完了し、コンテンツ等の準備が整いましたら、[アカウントマネージャー](#)より DNS 切り替えをお申込みください。

※DNS を切り替える前にプレビューサーバーより、新サーバーのウェブ表示をご確認ください。

※ゾーン情報変更希望のお客さまは DNS 切り替え前にアカウントマネージャーよりお申込みください。

※ゾーン情報変更のお申込み、記述例については[こちら](#)をご参照ください。

※**ゾーン修正可能なレコードは「A レコード」「MX レコード」「TXT レコード」「CNAME」となります。**

※2017 年 3 月 1 日より、CNAME レコーの設定が可能となりました。

■ 弊社にてドメイン名を管理されているお客さまの場合(ドメイン名管理代行あり)

STEP1 [アカウントマネージャー](#)へログインし、左側メニューの「契約一覧」をクリックしてください。



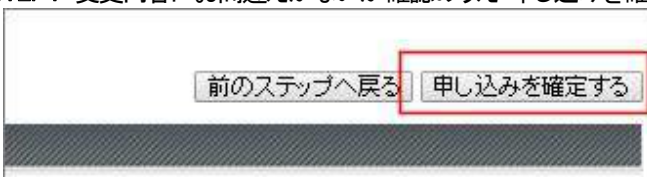
STEP2 「契約一覧」より旧サーバーから新サーバーへ移行したいドメイン名の「詳細」ボタンをクリックしてください。



STEP3 「■ドメイン名管理」の中にある「DNS 登録(移転用)」ボタンをクリックしてください。



STEP4 変更内容にお間違えがないか確認のうえ「申し込みを確定する」ボタンをクリックしてください。



DNS 切り替えまたはゾーン設定完了後、弊社よりメールにてお知らせいたします。

また、メールの内部配送を防ぐため、DNS 切り替え後に、[CONTROL PANEL](#)にて「外部 DNS サーバーへの変更設定」をお願いいたします。

■ 他社にてドメイン名を管理されているお客さまの場合(ドメイン名管理代行なし)

他社にてドメイン名を管理されている場合、弊社ではドメイン名の管理権限がないため、DNS の切り替え作業を行うことができません。

ドメイン名の管理者さまへ、弊社 DNS 情報への切り替え依頼を行ってくださいますよう、お願いいたします。

8-2. DNS の切り替え（他社 DNS をご利用希望のお客さま）

移行先サーバーへのデータ移行が完了し、コンテンツ等の準備が整いましたら、現在の DNS 管理者さまへ移行先サーバーのゾーン情報への変更をご依頼ください。

弊社にてドメイン名の管理されているお客さまも、他社にてドメイン名を管理されているお客さまも、他社 DNS サーバーをご利用希望の場合、弊社では他社 DNS の編集権限がございませんので、現在の DNS 管理者さまでの作業が必要になります。

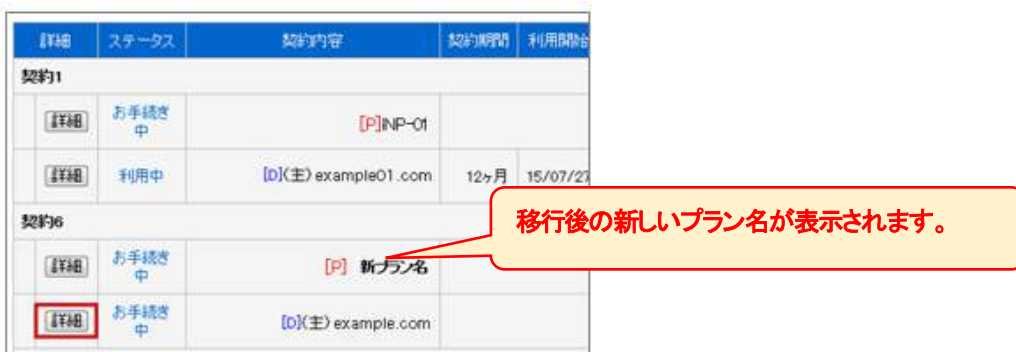
※DNS を切り替える前にプレビューサーバーより、新サーバーのウェブ表示をご確認ください。

移行先サーバーのゾーン情報は、以下手順にてアカウントマネージャーよりご確認ください。

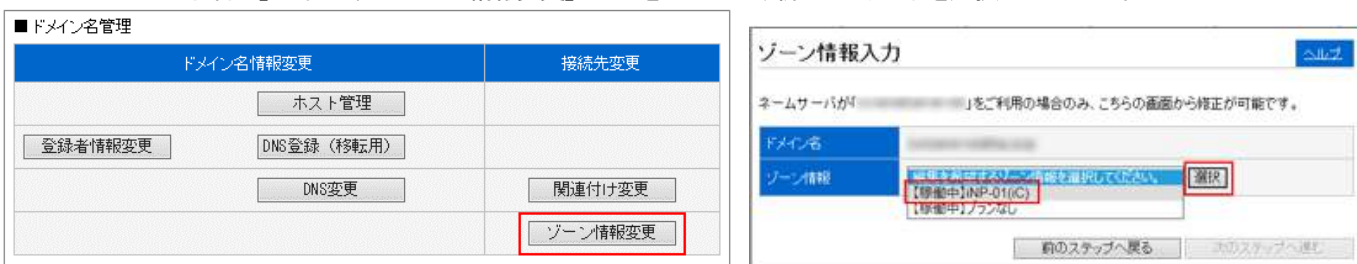
STEP1 [アカウントマネージャー](#)へログインし、左側メニューの「契約一覧」をクリックしてください。



STEP2 「契約一覧」より対象ドメイン名の「詳細」ボタンをクリックしてください。



STEP3 「■ドメイン名管理」の中にある「ゾーン情報変更」ボタンをクリックし、新しいプラン名を選択してください。



STEP4 弊社 DNS のレコード情報が表示されますので必要な情報をご確認ください。

選択	ホスト名	クラス	タイプ	Mx優先	値
<input type="checkbox"/>	www	IN	A		211.xxx.xxx.xxx
<input type="checkbox"/>	mail	IN	A		211.xxx.xxx.xxx
<input type="checkbox"/>	@	IN	A		211.xxx.xxx.xxx
<input type="checkbox"/>	@	IN	MX	100	mail.example.com
<input type="checkbox"/>	@	IN	MX	100	example.com
<input type="checkbox"/>	@	IN	NS		ns1.shvr.net
<input type="checkbox"/>	@	IN	NS		ns2.shvr.net
<input type="checkbox"/>		IN			

8-3. 現在ご利用の DNS サーバーの確認方法

現在ご利用の DNS サーバーがご不明な場合には[Whois]にてご確認いただくことが可能です。

お名前.com Whois 検索

<https://www.onamae.com/domain/whois/>

※検索できない場合は <http://whois.ansi.co.jp/> をお試しください。

STEP1 左側のランダムな番号を枠内に入力してから、検索したいドメイン名を入力し、[検索]ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Whois' search page. At the top, there is a search box containing the number '22979'. To the right of this box is another search box containing the domain 'gmocloud.com'. A blue button labeled '検索' (Search) is positioned to the right of the domain box. Red circles with numbers 1, 2, and 3 are overlaid on the interface: 1 points to the random number box, 2 points to the domain search box, and 3 points to the search button.

STEP2 検索結果が表示され、DNS サーバーは、[Name Server]※欄に表示されます。

The screenshot shows the 'Whois検索結果' (Whois Search Results) page. The text includes: 'Whois Server Version 2.0', a notice about domain registration, and the following details: 'Domain Name: GMOCLOUD.COM', 'Registrar: GMO INTERNET, INC. DBA ONAMAE.COM', 'Sponsoring Registrar IANA ID: 49', 'Whois Server: whois.discount-domain.com', 'Referral URL: http://www.onamae.com/'. The 'Name Server: NS.NAMESERVER.NET' and 'Name Server: NS2.NAMESERVER.NET' lines are highlighted with a red rectangular box.

※検索結果によっては、[ネームサーバ]と表示される場合もございます。

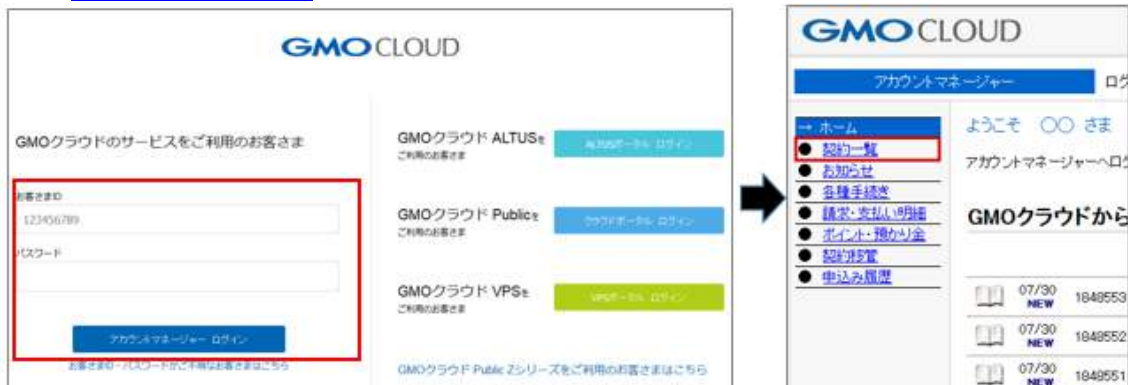
※弊社および[お名前.com]以外でドメイン名を取得されている場合には、

お名前.comWHOIS サイトでは表示されませんので、他の Whois サイトにてご確認ください。

8-4.TXTレコードの設定

新サーバーでは、初期の状態ではTXTレコードの設定がないため、必要に応じて設定ください。

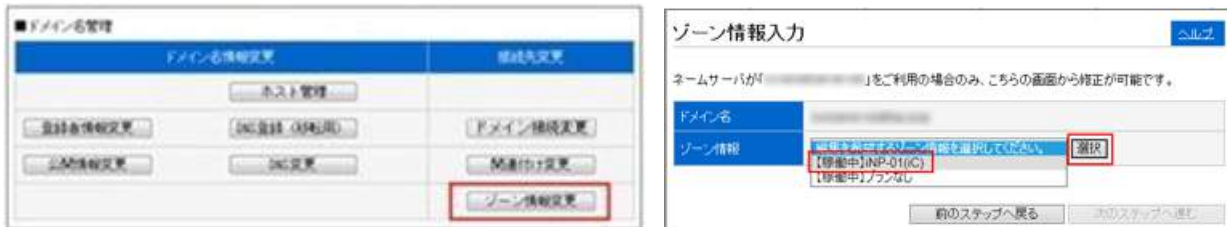
STEP1 [アカウントマネージャー](#)へログインし、左側メニューの「契約一覧」をクリックしてください。



STEP2 「契約一覧」より対象ドメイン名の「詳細」ボタンをクリックしてください。



STEP3 「■ドメイン名管理」の中にある「ゾーン情報変更」ボタンをクリックし、新しいプラン名を選択してください。



STEP4 左上の「行追加」ボタンをクリックし、必要な情報をご確認ください。



STEP5 入力が完了したら[次のステップへ進む]ボタンにて完了までお進みください。

8-5 DNS 切り替えが完了したお客さまの窓口

DNS 切り替え完了後、新サーバーでの運用に関するお問い合わせにつきましては、下記の窓口にてご案内しております。

DNS 切り替え完了後	技術に関するお問い合わせ	【電話】03-6415-6111 平日:10:00~18:00 音声案内の窓口番号:[2]	【メール】 お問い合わせフォーム
	お手続きに関するお問い合わせ	【電話】03-6415-6111 平日:10:00~18:00 音声案内の窓口番号:[1]	【メール】 お問い合わせフォーム
DNS 切り替え前	サーバー移行に関するお問い合わせ	【電話】03-6415-7605 平日:10:00~18:00	【メール】 お問い合わせフォーム

9. G120/G200 サーバー移行ガイド : ご利用プラン別スペック一覧表

旧サーバー		G120	G200	追加ドメイン(無料)
基本スペック				
OS		Windows 2003 R2 SP2		
ディスク容量(GB)	ディスク容量(全体)	120	200	メインプランに含まれます
	ディスク容量(WEB)	80	120	
	ディスク容量(メール)	40	80	

新サーバー		G120	G200	追加ドメイン(無料)
基本スペック				
OS		Linux		
ディスク容量(GB)	ディスク容量(全体)	200	250	メインプランに含まれます
	ディスク容量(WEB)	160	170	
	ディスク容量(メール)	40	80	

項目	旧サーバー		新サーバー	
	G120	G200		
マルチドメイン	無制限		無制限	
サブドメイン	無制限		無制限	
DNS 管理(レコード変更)	○		○ ※サーバー変更のため、 ゾーン情報変更および DNS 切り替えが必要	
root 権限/SSH	-		-	
IP アドレス	共有 IP アドレス		共有 IP アドレス	
追加グローバル IP アドレス	オプション:10	オプション:20	-	
データセンター	国内		国内	
コントロールパネル	CONTROL PANEL		PlanManager	
サーバー再起動	-		-	
データ転送量	無制限		無制限	
ユーザー制限 (ユーザー数)	契約者(システム管理者)	1		
	ドメイン管理者	-		
	サイト管理者(FTP)	8	12	無制限
	一般ユーザー	無制限		無制限
メール関連				
メールサーバー	qmail		Postfix	
メールアドレス数	無制限		無制限	
POP/IMAP	○		○	
POP /IMAP over SSL(暗号化受信機能)	○		○	
SMTP Auth(送信時認証機能)	○		○	
SMTP over SSL(暗号化送信機能)	○		○	
ウェブメール	○		○ ※アドレス帳の再登録が必要	
メール転送	無制限		50	
メール自動返信	○		○ ※再登録が必要	
キャッチオール	-		-	
迷惑メール対策	○		○ ※再登録が必要	

ウイルス対策/Symantec	○		○
メーリングリスト	無制限 ※配信先登録件数 300件 /1ML、送信上限 10MB		無制限 ※配信先登録件数 1,000件 /1ML、送信上限 1MB
ウェブ関連			
Web サーバー	IIS		Apache
FTP サーバー	IIS		ProFTPd
アクセスログ	○		○
アクセス解析	○		○ ※再設定が必要
アクセス制御(BASIC 認証)	○		○
カスタムページエラー	○		○ ※再設定が必要
プレビューサーバー	○		○
サーバーメールエイリアス	○		○
SEフレンドリーURL	-		-
FTP アカウント数	8	12	無制限 ※ユーザーに権限の割り当てが必要
FTP アクセス制御	○		○
SFTP	-		-
FTPS(FTP over SSL)	-		○
SCP	-		-
Anonymous FTP	-		-
同時アクセス数	150(最大 300)		200
データベース関連			
MySQL データベース数	無制限		無制限 ※新規追加の場合、別途(無償オプション)要申込
MySQL データベース容量(GB)	無制限		1 個あたり最大 10GB
MySQL 管理ツール	PhpMyAdmin		DBManager ※phpMyAdmin はインストールが必要
PostgreSQL	-		-
Ms-SQL	オプション 1GB ×		※検討中
Ms-SQL 管理ツール	myLittleAdmin		※検討中
セキュリティ関連			
共用認証 SSL	○		○ ※共用 SSL サーバー名変更
独自認証 SSL	オプション	オプション	オプション
スクリプト関連			
CGI	○		○
SSI	○		○
Perl	○		○
Ruby	○		○
PHP	○		○
Python	○		○
PodCast	○		-
gcc	○		-
Java	○		-
Perl モジュール検索	-		○
Perl 文法チェック	-		○
Active Server Page	○		-
ASP.NET(ver.2.0.1.0)	○		-
BASP21	○		-
アプリケーション関連			

ブログ構築、CMS	Movable Type 6	○ ※1 ライセンス付き		○ ※1 ライセンス付き
	WordPress	○		○
	Joomla!	-		-
	Pukiwiki	-		-
ネットショップ構築	EC-CUBE	○		○
ポータルサイト構築	XOOPS	-		-
サポート/保証				
技術サポート		電話: 平日 10:00-18:00 メール: 平日・土日祝 10:00-18:00		電話: 平日 10:00-18:00 メール: 平日・土日祝 10:00-18:00
セキュリティアップデート		○		○
セルフバックアップ		80GB	120GB	
データ復旧サービス		-		○ ※有償オプション
設定代行		○ ※有償オプション		○ ※有償オプション
SLA(品質保証制度)		99.9%保証		99.9%保証
30日返金保証		○		○
商用利用		○		○